

# 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事

図面リスト			
図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称
A- 00	表紙・図面リスト	A- 14	立面図(改修前)
T- 01	改修特記仕様書(1)	A- 15	立面図(改修後)
T- 02	改修特記仕様書(2)	A- 16	矩計図(改修前)
T- 03	改修特記仕様書(3)	A- 17	矩計図(改修後)
T- 04	改修特記仕様書(4)	A- 18	1階 管理諸室 平面詳細図・展開図(改修前)
T- 05	改修特記仕様書(5)	A- 19	1階 管理諸室 平面詳細図・展開図(改修後)
T- 06	改修特記仕様書(6)	A- 20	体育室 展開図1(改修前)
T- 07	改修特記仕様書(7)	A- 21	体育室 展開図1(改修後)
A- 01	案内図・配置図	A- 22	体育室 展開図2(改修前)
A- 02	工事概要(1)	A- 23	体育室 展開図2(改修後)
A- 03	工事概要(2)	A- 24	部分詳細図-01
A- 04	工事概要(3)	A- 25	部分詳細図-02
A- 05	外部・内部仕上表	A- 26	部分詳細図-03
A- 06	1階平面図(改修前)	A- 27	部分詳細図-04
A- 07	1階平面図(改修後)	A- 28	部分詳細図-05
A- 08	2階平面図(改修前)	A- 29	部分詳細図-06
A- 09	2階平面図(改修後)	A- 30	建具表(改修前)
A- 10	天井伏図(改修前)	A- 31	建具表(改修後)
A- 11	天井伏図(改修後)	A- 32	新設スロープ詳細図
A- 12	屋根伏図(改修前)	A- 33	工事区分表
A- 13	屋根伏図(改修後)		

東京学芸大学 (深沢小) 附属世田谷小学校体育館改修工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所

東京都世田谷区深沢4-10-1 東京学芸大学 (深沢小団地内)

2. 完成期限

令和7年 2月14日 (金)

3. 建物概要

建 物 名 称	体育館		
工 種	改修 (模様替)		
構 造	R		
階 数	1		
建築基準法による	建築面積 (㎡)	899.92	
	延べ面積 (㎡)	830.58	
消防法施行令別表第一の区分	(7) 項		
改 修 面 積 (㎡)	800		
備 考			

4. 工事種目 (○ 印の付いたものが対象工事種目)

建物別及び屋外	工 事 種 別		
工 事 種 目	体育館		
○ 2 仮設工事	○		
○ 3 防水改修工事	○		
○ 4 外壁改修工事	○		
○ 5 建具改修工事	○		
○ 6 内装改修工事	○		
○ 7 塗装改修工事	○		
・ 8 耐震改修工事			
○ 9 環境配慮改修工事	○		
・ プール改修工事			
・			

5. 指定部分

○ 無

有

対象部分 ( 指定部分工期 令和 年 月 日 ( 曜日 ) )

6. 概成工期

○ 無

有

令和 年 月 日 ( 曜日 ) ( 1. 2. 1 ) [ 1. 2. 1 ]

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1) 国立大学法人東京学芸大学工事請負等契約要項、別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 32 枚及び本特記仕様書 8 枚によるほか、○印の付いたものを適用する。

○ 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) (令和4年版) (以下「標準仕様書」という。)

○ 公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (令和4年版) (以下「改修標準仕様書」という。)

○ 建築工事標準詳細図 (令和4年版) (以下「標準詳細図」という。)

建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)

文部科学省建築工事標準仕様書 (特記基準) (建築工事編) (令和4年版) (以下「文科仕様書」という。)

文部科学省建築改修工事標準仕様書 (特記基準) (建築工事編) (令和4年版) (以下「文科改修仕様書」という。)

○ 工事写真撮影要領 (令和5年版)

2. 特記仕様

(1) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、○ 印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。

○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。

○ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の ( ) 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の [ ] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の ( [ ] ) 内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の [ [ ] ] 内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) [ ⊗ ] 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (平成31年2月8日変更閣議決定)」に定める特定調達物品における判断の基準 (特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準) を満たすものを示す。

章

1

各章共通事項

・ 適用区分

○ 電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者

○ 施工条件

○ 発生材の処理等

○ 環境への配慮

○ 材料の品質等

・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

・ 風圧力  
風速 (V0= 34 m/s)  
地面粗度区分 ( ・ I ・ II ・ III ・ IV )  
・ 積雪荷重  
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 ( 24 )

( 1. 3. 3~4 ) [ 1. 3. 3~4 ]

この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項 目 名	電気保安技術者
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に關する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○
4 旧電気工事技術者検定規則による高压電気工事技術者の検定に合格した者	○
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高压試験に合格した者	○
6 第1種電気工事士の資格を有する者	○
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	○
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に關する学科において一般電気工学 (実験を含む) に關する科目を修めて卒業した者	○

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

( 1. 3. 5 ) [ 1. 3. 5 ]

この工事現場では、次の施工条件による。  
仮設の指定は現場説明書による

( 1. 3. 11 ) [ 1. 3. 12 ]

(1) 引渡しを要するもの

1) 品名

2) 引渡し先

3) 集積場所

(2) 特別管理産業廃棄物

1) 品名

石綿含有建材

2) 処理方法

埋立処分

(3) 現場において再利用を図るもの

1) 品名

2) 使用箇所

(4) 再資源化を図るもの

1) 品名

コンクリート塊、廃石膏ボード、金属くず

(5) その他発生材については、改修標準仕様書に従い、適切に処理する。

( 1. 4. 1 ) [ 1. 4. 1 ]

(1) 建築物内部に使用する材料等とは、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板複層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑性 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除外) が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド放散建築材料以外の材料

②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド放散建築材料

④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

( 1. 4. 2 ) [ 1. 4. 2 ]

(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。

(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、その証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

①品質及び性能に關する試験データを整備していること。

②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

③安定的な供給が可能であること。

④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。

(5) 製造業者等に關する資料の提出を求める材料

○ 技能士

( 1. 5. 2 ) [ 1. 5. 2 ]

通用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	
鉄筋工事	
コンクリート工事	
鉄骨工事	
ブロック・ALCパネル工事	
PCカーテンウォール工事	
防水工事	○
石工事	
タイル工事	
木工事	
屋根、とい工事	
金属工事	
左官工事	
建具工事	○
塗装工事	○
内装工事	○
植栽工事	

( 1. 5. 5 ) [ 1. 5. 5 ]

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次について監督職員の検査を受ける。  
内外部足場解体前

○ 施工の検査等

○ 施工の立会い

( 1. 5. 7 ) [ 1. 5. 7 ]

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。

施工の立会いを行う工程	備考
床フローリング撤去時	
断熱材敷設時	

( 1. 5. 9 ) [ 1. 5. 9 ]

○ 化学物質の濃度測定

(1) 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

測定対象化学物質	指針値 (両単位の変換は、25℃の場合による。)
ホルムアルデヒド	100 μg/m <sup>3</sup> (0.08ppm) 以下
トルエン	260 μg/m <sup>3</sup> (0.07ppm) 以下
キシレン	200 μg/m <sup>3</sup> (0.05ppm) 以下
エチルベンゼン	3800 μg/m <sup>3</sup> (0.88ppm) 以下
スチレン	220 μg/m <sup>3</sup> (0.08ppm) 以下

( 1. 7. 1~3 ) [ 1. 8. 1~3 ]

○ 完成時の提出図書

次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事事務に關し使用するための権利については、発注者に委譲する。

○ 完成図 (施工図、施工計画書を除く。)

CADデータ (電子納品) 1 部

A3版原図 部

A1版原図 部

A3複写図 (製本) 1 部

A1複写図 (製本) 部

○ 施工計画書

A4ファイル綴じ 1 部

○ 保全に關する資料

A4ファイル綴じ 2 部

・ 施工図 (次に示すものを標準とし、提出部数等は監督職員と協議による。)

鉄筋配筋図 (納まり図含む) 一式

コンクリート躯体図 一式

鉄骨製作図 一式

カーテンウォール製作図 一式

機器製作図 一式

制御システム図 一式

試験成績書 一式

機器・配管固定の施工図 一式

○ 工事写真 (「工事写真撮影要領」による。)

原本 (電子媒体) 1 部

アルバム (紙又は電子媒体) 部

○ 完成写真

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面1箇所	カラー印刷紙キャビネ判 カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム綴じ ※ 電子データ (JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度) カラー木製パネル平切 (324×400mm)		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
上記と異なる外部: 2箇所内部: 2箇所	カラー印刷紙キャビネ判 カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム綴じ ※ 電子データ (JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)			
外部: ○箇所内部: ○箇所	カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム綴じ 電子データ (JPEGフルカラー)	1	1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意

注: ※ のアルバムは併せて作成する。

電子納品は次の規定に従うものとする。

1) 貸与する設計図のCADデータは以下による。

・ 著作権名: \_\_\_\_\_

・ ファイル形式: 「JWW」

・ 貸与条件: 貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。

2) 完成写真の撮影に關する著作権者の権利等については次のi) 及びii) によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。

i) 提出された写真は、国が行う事務及び国が認めた用途に關して、無償で利用することができるものとする。この際、著作権名を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。

ii) 受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真 (提出していないものを含む。) 及びその改変物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。

3) 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。

4) 電子成果品は、提出前に電子成果品作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。

5) 提出方法及びファイル形式は以下による。

・ 電子媒体: CD-R又はDVD-R

・ CADデータ: JWW、DXF及びPDF

・ 上記の他、監督職員が認めた形式

工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。

あと施工アンカー工事  
6章および8章による

コア抜き、はつり工事等  
※ 既存資料調査

・ 探査機 (電磁波レーダー法又は電磁波誘導法) による探査

・ 配管・配線等の位置の墨出を行う範囲 ※ 図示

・ 放射線透過試験

労働安全衛生法、「電磁放射線障害防止規制」(昭和47年労働省令第41号)等に定めるところによるほか、次による。

(1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。

(2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。

(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。

(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。

(5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。

撮影枚数 枚

フィルムサイズ \_\_\_\_\_

コンクリート厚さ \_\_\_\_\_cm

・ 既存躯体に穿孔する場合に、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いる。

記事

東京学芸大学  
財務・研究推進部  
施設課

業務名称  
東京学芸大学 (深沢小) 附属世田谷小学校体育館改修設計業務  
株式会社 矢ヶ崎総合計画

工事名称  
東京学芸大学 (深沢小) 附属世田谷小学校体育館改修工事  
図面名称  
改修特記仕様書 (1)

縮尺  
(A1) -  
(A3) -

設計年月  
令和 6年 6月  
図面番号  
T-01

2 仮設工事	騒音・粉じん等の対策	[2.1.3]	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上	改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 個 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 屋根露出防水水絶縁断熱工法の防湿用シート（・設置する ・設置しない） 押入金物の材質、形状及び寸法 ・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度	塗膜防水	[3.6.2.3] 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反射率防水の適用G 備考 ・POX ※X-1 X-2 ・製造所の仕様による ※製造所の仕様による 脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない ・LAX X-1 ※X-2 ・製造所の仕様による ※製造所の仕様による 脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																	
	足場等	[2.2.1] [表 2.2.1] 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ○設置する（設置範囲 ○工事に必要な範囲 ・ ） ・設置しない 防護シート ○設置する（設置範囲 ○工事に必要な範囲 ・ ） ・設置しない 内部足場 ○設置する（※脚立、足場板等 ・ ） ・設置しない ・材料、撤去材等の運搬方法 種別（・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ・E種） C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ）	[2.3.1] 1）養生方法等 ○既存部分 養生方法（・ ※ビニルシート、合板） ・既存家具、既存設備等 養生方法（・ ※ビニルシート等） ・既存ブラインド、カーテン等 養生方法（・ビニルシート等 ・ ） 保管場所（・図示 ・ ） ・固定された備品、机、ロッカー等の移動（・図示 ・ ） 2）既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。	乾式保護材 窯業系パネル：無石棉の繊維強化原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。	ウレタンゴム系塗膜防水 X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様による 設置数量 個 ※主材料の製造所の仕様による	[3.1.4] [3.7.2.3.7.8] シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレイカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない																																																																																	
	仮設間仕切り	[2.3.2] [表 2.3.1] 1）仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 ・各階廊下（工事範囲境界） 2）仮設間仕切りの種別と材質等 <table><tr><th>種 別</th><th>仕 上 げ（厚さmm）</th><th>塗 装</th><th>充 填</th></tr><tr><td>・ A 種</td><td>・ セットボード 種類（ ） 厚さ（12.5mm+9.5mm）</td><td>・ なし ・ 片面</td><td>グラスウール 厚さ（mm）</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>・ 合板 材種（ ） 厚さ（ mm ）</td><td></td><td></td></tr></table> ※ C 種 防災シート	種 別	仕 上 げ（厚さmm）	塗 装	充 填	・ A 種	・ セットボード 種類（ ） 厚さ（12.5mm+9.5mm）	・ なし ・ 片面	グラスウール 厚さ（mm）	・ B 種	・ 合板 材種（ ） 厚さ（ mm ）			屋根露出防水 防水層の種類 <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>断 熱 材 G</th><th>仕 上 塗 料</th><th>高 日 射 反 射 率 防 水 の 適 用 G</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ M4C</td><td>・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4</td><td></td><td></td><td>・ アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による</td><td>※アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による</td><td></td></tr><tr><td>・ M3D ・ P0D</td><td>・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4</td><td></td><td></td><td>・ アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による</td><td>※アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・ P0D1 ・ M3D1 ・ M4D1</td><td>・ D1-1 ・ D1-2</td><td>改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)</td><td></td><td>・ アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による</td><td>※アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr></table>	工 法	種 別	施 工 箇 所	断 熱 材 G	仕 上 塗 料	高 日 射 反 射 率 防 水 の 適 用 G	備 考	・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4			・ アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による		・ M3D ・ P0D	・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4			・ アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・ P0D1 ・ M3D1 ・ M4D1	・ D1-1 ・ D1-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・ アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	シーリング [3.5.2~4] [表 3.5.1~3] 防水層の種類 <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>断 熱 材 G</th><th>仕 上 塗 料</th><th>高 日 射 反 射 率 防 水 の 適 用 G</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ POS ・ SAS</td><td>・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-M3</td><td></td><td></td><td>・ ルーフィング シートの製造所の仕様による</td><td>※ルーフィング シートの製造所の仕様による</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない ドレン更新 ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・ S3S</td><td>・ S-F1 ・ S-F2</td><td>プレキャスト コンクリート下地 プレキャスト コンクリート下地</td><td></td><td>・ ルーフィング シートの製造所の仕様による</td><td>※ルーフィング シートの製造所の仕様による</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・ MAS</td><td>・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-M3</td><td></td><td></td><td>・ ルーフィング シートの製造所の仕様による</td><td>※ルーフィング シートの製造所の仕様による</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・ POS1 ・ S3S1 ・ SAS1 ・ MAS1</td><td>・ SI-F1 ・ SI-F2 ・ SI-M1 ○SI-M2</td><td>プレキャスト コンクリート下地 プレキャスト コンクリート下地</td><td>改修標準仕様書 3.5.2(3)(I)(a) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm</td><td>○ルーフィング シートの製造所の仕様による</td><td>※ルーフィング シートの製造所の仕様による</td><td>脱気装置 ・設ける ○設けない 改修用ドレン ・設ける ○設けない</td></tr><tr><td></td><td>・ SI-M1 ○SI-M2</td><td></td><td>改修標準仕様書 3.5.2(3)(I)(a) (種類) (厚さ) ・25mm ○50mm</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	工 法	種 別	施 工 箇 所	断 熱 材 G	仕 上 塗 料	高 日 射 反 射 率 防 水 の 適 用 G	備 考	・ POS ・ SAS	・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-M3			・ ルーフィング シートの製造所の仕様による	※ルーフィング シートの製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない ドレン更新 ・設ける ・設けない	・ S3S	・ S-F1 ・ S-F2	プレキャスト コンクリート下地 プレキャスト コンクリート下地		・ ルーフィング シートの製造所の仕様による	※ルーフィング シートの製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない	・ MAS	・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-M3			・ ルーフィング シートの製造所の仕様による	※ルーフィング シートの製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない	・ POS1 ・ S3S1 ・ SAS1 ・ MAS1	・ SI-F1 ・ SI-F2 ・ SI-M1 ○SI-M2	プレキャスト コンクリート下地 プレキャスト コンクリート下地	改修標準仕様書 3.5.2(3)(I)(a) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	○ルーフィング シートの製造所の仕様による	※ルーフィング シートの製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ○設けない 改修用ドレン ・設ける ○設けない		・ SI-M1 ○SI-M2		改修標準仕様書 3.5.2(3)(I)(a) (種類) (厚さ) ・25mm ○50mm				工名 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修設計業務
	種 別	仕 上 げ（厚さmm）	塗 装	充 填																																																																																			
	・ A 種	・ セットボード 種類（ ） 厚さ（12.5mm+9.5mm）	・ なし ・ 片面	グラスウール 厚さ（mm）																																																																																			
	・ B 種	・ 合板 材種（ ） 厚さ（ mm ）																																																																																					
	工 法	種 別	施 工 箇 所	断 熱 材 G	仕 上 塗 料	高 日 射 反 射 率 防 水 の 適 用 G	備 考																																																																																
・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4			・ アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による																																																																																		
・ M3D ・ P0D	・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4			・ アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																	
・ P0D1 ・ M3D1 ・ M4D1	・ D1-1 ・ D1-2	改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類)		・ アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング 種類の製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																	
工 法	種 別	施 工 箇 所	断 熱 材 G	仕 上 塗 料	高 日 射 反 射 率 防 水 の 適 用 G	備 考																																																																																	
・ POS ・ SAS	・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-M3			・ ルーフィング シートの製造所の仕様による	※ルーフィング シートの製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない ドレン更新 ・設ける ・設けない																																																																																	
・ S3S	・ S-F1 ・ S-F2	プレキャスト コンクリート下地 プレキャスト コンクリート下地		・ ルーフィング シートの製造所の仕様による	※ルーフィング シートの製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																	
・ MAS	・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-M3			・ ルーフィング シートの製造所の仕様による	※ルーフィング シートの製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																	
・ POS1 ・ S3S1 ・ SAS1 ・ MAS1	・ SI-F1 ・ SI-F2 ・ SI-M1 ○SI-M2	プレキャスト コンクリート下地 プレキャスト コンクリート下地	改修標準仕様書 3.5.2(3)(I)(a) (種類) (厚さ) ・25mm ・50mm	○ルーフィング シートの製造所の仕様による	※ルーフィング シートの製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ○設けない 改修用ドレン ・設ける ○設けない																																																																																	
	・ SI-M1 ○SI-M2		改修標準仕様書 3.5.2(3)(I)(a) (種類) (厚さ) ・25mm ○50mm																																																																																				
防水改修工事	[1.5.2.3] 調査範囲 ・図示 ・屋上 調査方法 ・図示 ・水洗い、目視 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・ 調査報告書 提出部数：・2部 [3.1.3] ※改修標準仕様書3.1.3(5)⑦～⑨による。 [3.1.4] 防水改修工法の種類（・S4S ）工法 シーリング改修工法の種類（・再充填 ）工法 [3.2.3.4.6] 既存保護層の除去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ） ・行わない 既存防水層の除去 ・行う（範囲 ・図示 ・シート防水立上り） ・行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（・MAAS ・MAAS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X） ・行わない [3.2.6] 既存下地の処理 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示 POS工法及びPOS1工法（機械的固定方法）の既存保護層を除去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※改修標準仕様書3.2.6(4)④⑤⑥①～③による 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ・図示 ※監督員と協議する [3.3.2~5] アスファルト防水 屋根保護防水 防水層の種類 <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>断 熱 材 G</th><th>絶 縁 用 シ ー ト</th><th>立 上 り 部 の 保 護</th></tr><tr><td>・ P2A</td><td>・ A-1 ・ A-2 ・ A-3</td><td></td><td></td><td>※ルーフィングフィルム 厚さ0.15mm以上</td><td>・乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え ※JIS R1250</td></tr><tr><td>・ P1B</td><td>・ B-1 ・ B-2 ・ B-3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ P2A1</td><td>・ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3</td><td></td><td>(種類) JISA9521に基づく 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキン層付き) (厚さ) ・25mm ・50mm</td><td>※フラッシュンク 70g/m程度</td><td></td></tr><tr><td>・ P1B1 ・ T1B1</td><td>・ B1-1 ・ B1-2 ・ B1-3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	工 法	種 別	施 工 箇 所	断 熱 材 G	絶 縁 用 シ ー ト	立 上 り 部 の 保 護	・ P2A	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3			※ルーフィングフィルム 厚さ0.15mm以上	・乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え ※JIS R1250	・ P1B	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3					・ P2A1	・ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3		(種類) JISA9521に基づく 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキン層付き) (厚さ) ・25mm ・50mm	※フラッシュンク 70g/m程度		・ P1B1 ・ T1B1	・ B1-1 ・ B1-2 ・ B1-3					改質アスファルト シート防水 [3.4.2.3] 防水層の種類 <table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>断 熱 材 G</th><th>仕 上 塗 料</th><th>高 日 射 反 射 率 防 水 の 適 用 G</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ MAAS</td><td>・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3</td><td></td><td></td><td>・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による</td><td>・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による</td><td></td></tr><tr><td>・ M3AS</td><td>・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2</td><td></td><td></td><td>・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による</td><td>・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・ POAS</td><td>・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J4</td><td></td><td></td><td>・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による</td><td>・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・ M3AS1 ・ M4AS1 ・ POAS1</td><td>・ AS1-T1 ・ AS1-J1</td><td>改修標準仕様書 3.4.2(3)②</td></tr></table>	工 法	種 別	施 工 箇 所	断 熱 材 G	仕 上 塗 料	高 日 射 反 射 率 防 水 の 適 用 G	備 考	・ MAAS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3			・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による	・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による		・ M3AS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2			・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による	・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・ POAS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J4			・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による	・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・ M3AS1 ・ M4AS1 ・ POAS1	・ AS1-T1 ・ AS1-J1	改修標準仕様書 3.4.2(3)②																								
工 法	種 別	施 工 箇 所	断 熱 材 G	絶 縁 用 シ ー ト	立 上 り 部 の 保 護																																																																																		
・ P2A	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3			※ルーフィングフィルム 厚さ0.15mm以上	・乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え ※JIS R1250																																																																																		
・ P1B	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3																																																																																						
・ P2A1	・ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3		(種類) JISA9521に基づく 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキン層付き) (厚さ) ・25mm ・50mm	※フラッシュンク 70g/m程度																																																																																			
・ P1B1 ・ T1B1	・ B1-1 ・ B1-2 ・ B1-3																																																																																						
工 法	種 別	施 工 箇 所	断 熱 材 G	仕 上 塗 料	高 日 射 反 射 率 防 水 の 適 用 G	備 考																																																																																	
・ MAAS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3			・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による	・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による																																																																																		
・ M3AS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2			・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による	・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																	
・ POAS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J4			・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による	・ 改質アスファルトシート 製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																	
・ M3AS1 ・ M4AS1 ・ POAS1	・ AS1-T1 ・ AS1-J1	改修標準仕様書 3.4.2(3)②																																																																																					

記事		東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修設計業務  株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事	縮尺 (A1) — (A3) —	設計年月 令和 6年 6月 図面番号 T-02
	図面名称 改修特記仕様書（2）					

4	外壁改修工事 (共通事項)	施工数量調査	<p>調査範囲 ・ 外壁改修範囲 ・ 図示の範囲</p> <p>調査内容</p> <p>ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。</p> <p>モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。</p> <p>コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。</p> <p>塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・ 調査報告書の部数 ・ 2部</p>	<p>○欠損部改修工法</p> <p>[4.1.4] [4.4.2] [4.4.9]</p> <p>○浮き部改修工法</p> <p>[4.1.4] [4.2.2] [4.4.10～15]</p>	<p>・ シール工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バテ状エポキシ樹脂</li> <li>・ 可とう性エポキシ樹脂</li> </ul> <p>・ 充填工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</li> </ul> <p>・ モルタル塗替え工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)</li> <li>・ 既調合材料 ( )</li> </ul> <p>既製目地材 ・ 使用する (形状 ・ 図示 ・ )</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示 ・</p> <p>・ モルタルピンネット工法</p> <p>[4.1.4] [4.2.2] [4.4.10～15]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)</th><th colspan="2">7か-Bの本体 (本/㎡)</th><th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/㎡)</th><th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th></tr> <tr> <th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 16</td><td>※ 25</td><td>—</td><td>—</td><td>※ 25</td></tr> <tr> <td>・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 13</td><td>※ 20</td><td>※ 12</td><td>※ 20</td><td>※ 25</td></tr> <tr> <td>・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※ 13</td><td>※ 20</td><td>※ 12</td><td>※ 20</td><td>※ 50</td></tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>—</td><td>—</td><td>※ 25</td></tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 25</td></tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 50</td></tr> <tr> <td>・ 充填工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr> <td>・ モルタル塗替え工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>アンカーピンの材質</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度 ・</p> <p>充填工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</li> </ul> <p>モルタル塗替え工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)</li> <li>・ 既調合材料 ( )</li> </ul> <p>既製目地材 ・ 使用する (形状 ・ 図示 ・ )</p> <p>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示 ・</p>	工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	7か-Bの本体 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25	・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 25	・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 50	・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25	・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 50	・ 充填工法	—	—	—	—	—	・ モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	<p>・ 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示</li> </ul> <p>※改修標準仕様書表4.5.1による ・</p> <p>外装タイル張り下地等モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う ・ 行わない</li> </ul> <p>・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目荒らし工法 (改修標準仕様書4.4.9 (3) による)</li> </ul> <p>タイル張りの工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外装タイル ( ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り)</li> <li>・ ユニットタイル ( ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り)</li> </ul> <p>シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目荒らし工法 (改修標準仕様書4.4.9 (3) による)</li> </ul> <p>シーリング材の種類</p> <p>打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ・ ※ポリウレタン系</p> <p>伸縮調整目地その他の目地 ・ ※変成シリコーン系</p> <p>シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>タイルピンネット工法</p> <p>[4.1.4] [4.2.2] [4.5.9～15]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類 (タイルを撤去しない場合)</th><th colspan="2">7か-Bの本体 (本/㎡)</th><th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/㎡)</th><th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th></tr> <tr> <th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 16</td><td>※ 25</td><td>—</td><td>—</td><td>※ 25</td></tr> <tr> <td>・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 13</td><td>※ 20</td><td>※ 12</td><td>※ 20</td><td>※ 25</td></tr> <tr> <td>・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※ 13</td><td>※ 20</td><td>※ 12</td><td>※ 20</td><td>※ 50</td></tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>—</td><td>—</td><td>※ 25</td></tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 25</td></tr> <tr> <td>・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 50</td></tr> <tr> <td>・ 充填工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr> <td>・ モルタル塗替え工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>アンカーピンの材質</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度 ・</p> <p>・ タイル部分張替え工法</p> <p>接着剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポリマーセメントモルタル</li> <li>・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成成シリコーン樹脂系</li> </ul> <p>・ タイル張替え工法</p> <p>張替え用材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成成シリコーン樹脂系</li> <li>・ 張付けモルタル ( ・ 現場調査材料 ・ 既調合モルタル)</li> </ul> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示</li> </ul> <p>※改修標準仕様書表4.5.1による ・</p> <p>外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う ・ 行わない</li> </ul> <p>・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目荒らし工法 (改修標準仕様書4.4.9 (3) による)</li> </ul> <p>タイル張りの工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外装タイル ( ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り)</li> <li>・ ユニットタイル ( ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り)</li> </ul> <p>シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目荒らし工法 (改修標準仕様書4.4.9 (3) による)</li> </ul> <p>シーリング材の種類</p> <p>打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ・ ※ポリウレタン系</p> <p>伸縮調整目地その他の目地 ・ ※変成シリコーン系</p> <p>シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>目地改修工法</p> <p>[4.1.4] [4.2.2] [4.5.16]</p> <p>タイルの形状、寸法等</p> <p>[4.2.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>形状寸法 (mm)</th><th>地表面による区分</th><th>うわぐすり役物</th><th>色</th><th>再生材の耐凍害性</th><th>備考</th></tr> <tr> <th></th><th></th><th>I類II類III類</th><th>有</th><th>無</th><th>標準特注適用</th><th>G有無</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外壁</td><td>227×60×9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>内壁</td><td>床 600×600×10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>地流し</td><td>50×50×6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>試験張り ・ 行う ・ 行わない</p> <p>見本焼き ・ 行う ・ 行わない</p>	工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	7か-Bの本体 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25	・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 25	・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 50	・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25	・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25	・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 50	・ 充填工法	—	—	—	—	—	・ モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	施工箇所	形状寸法 (mm)	地表面による区分	うわぐすり役物	色	再生材の耐凍害性	備考			I類II類III類	有	無	標準特注適用	G有無	外壁	227×60×9						内壁	床 600×600×10						地流し	50×50×6						<p>・ 浮き部改修工法</p> <p>[4.1.4] [4.2.2] [4.4.10～15]</p>	<p>・ 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示</li> </ul> <p>※改修標準仕様書表4.5.1による ・</p> <p>外装タイル張り下地等モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う ・ 行わない</li> </ul> <p>・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目荒らし工法 (</li></ul>
工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	7か-Bの本体 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																										
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																											
・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25																																																																																																																																																										
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 25																																																																																																																																																										
・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 50																																																																																																																																																										
・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25																																																																																																																																																										
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25																																																																																																																																																										
・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 50																																																																																																																																																										
・ 充填工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																										
・ モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																										
工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	7か-Bの本体 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																										
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																											
・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25																																																																																																																																																										
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 25																																																																																																																																																										
・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 50																																																																																																																																																										
・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25																																																																																																																																																										
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25																																																																																																																																																										
・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 50																																																																																																																																																										
・ 充填工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																										
・ モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																										
施工箇所	形状寸法 (mm)	地表面による区分	うわぐすり役物	色	再生材の耐凍害性	備考																																																																																																																																																									
		I類II類III類	有	無	標準特注適用	G有無																																																																																																																																																									
外壁	227×60×9																																																																																																																																																														
内壁	床 600×600×10																																																																																																																																																														
地流し	50×50×6																																																																																																																																																														

5

建具改修工事

○改修工法

○アルミニウム製建具

・樹脂製建具

・鋼製建具・外部

・内部

・鋼製軽量建具

・ステンレス製建具

新規に建具を設ける場合

壁部分の開口の開け方 ※図示

新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示

建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

防火戸

・指定する 通用箇所 ( ・建具表による )

・指定しない

ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動

・運動させる ( ・建具表による )

・運動させない

見本の製作等

建具見本の製作

・行う (建具符号： )

○行わない

建具見本の程度

・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する

・納まり等がわかる程度のもの

特殊な建具の仮組

・行う (建具符号： )

・行わない

防犯建物部品

・適用する ( )

通用箇所 ( ・建具表による )

・適用しない

アルミニウム製建具

性能値等

耐風圧性の等級 ( S-4 )

気密性の等級 ( A-3 )

水密性の等級 ( W-4 )

外部に面する建具の種別

○A種 (建具符号： ・建具表による )

・B種 (建具符号： ・建具表による )

・C種 (建具符号： ・建具表による )

枠の見込み寸法 ・建具表による

防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ・ )

断熱ドア、断熱サッシ G 断熱性の等級 ( ・ )

耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( ・ )

表面処理

外部に面する建具 ・BB-1 ・BB-2

着色 ○標準色 ( ) ・特注色 ( )

屋内の建具 ・BC-1 ・BC-2

着色 ○標準色 ( ) ・特注色 ( )

ステンレス鋼板 ・ ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

結露水の処理方法 ・図示

水切り板、ぜん板 ・図示

網戸等

種類

材質

縦径

網目

・防虫網 ※合成樹脂製

・ガラス繊維入り合成樹脂製

・ステンレス (SUS316) 製

・防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材

1.5mm

網目寸法15mm

樹脂製建具

性能値等

耐風圧性の等級 ( )

気密性の等級 ( )

水密性の等級 ( )

外部に面する建具の種別

・A種 (建具符号： ・建具表による )

・B種 (建具符号： ・建具表による )

・C種 (建具符号： ・建具表による )

枠の見込み寸法 ・建具表による

防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級 ( ・T-1 ・T-2 )

断熱ドア ・断熱サッシ G 断熱性の等級 ( ・H-4 ・H-5 ・H-6 )

表面色 ・標準色 ・特注色

水切り板、ぜん板 ※図示

ガラス ※複層ガラス

鋼製建具

性能等級

簡易気密型ドアセット

・適用する (建具符号： ・建具表による )

○適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

・S-4 (建具符号： ・建具表による )

・S-5 (建具符号： ・建具表による )

・S-6 (建具符号： ・建具表による )

防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級 ( )

断熱ドア ・断熱サッシ G 断熱性の等級 ( )

耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( )

鋼板の厚さ mm

※改修標準仕様書表5.4.2による

ステンレス鋼板 ・ ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

鋼製軽量建具

性能等級

簡易気密型ドアセット

・適用する

・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

・S-4 (建具符号： ・建具表による )

・S-5 (建具符号： ・建具表による )

・S-6 (建具符号： ・建具表による )

防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級 ( )

断熱ドア ・断熱サッシ G 断熱性の等級 ( )

耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( )

鋼板の厚さ mm

※改修標準仕様書表5.5.1による

ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

召合せ、縦小口包み板の材質

※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出成形材

ステンレス製建具

性能等級

簡易気密型ドアセット

・適用する

・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

○S-4

・S-5

・S-6

防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級 ( )

断熱ドア ・断熱サッシ G 断熱性の等級 ( )

耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( )

ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

表面仕上げ ・H・L ・鏡面仕上げ

ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

建具用金物

金物の種類及び見え振り部の材質等

※改修標準仕様書表5.7.1により適用は建具表による。

金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ・建具表による

※改修標準仕様書表5.7.2による

樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ・建具表による

※改修標準仕様書表5.7.3による

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による

○錠前類 (シリンドラ錠及びシリンドラ本締まり錠)

○錠前類 (レバーハンドル)

○クローザ類

マスターキー ・製作する ・製作しない

○既存のマスターキーに合わせる

その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組

鍵箱 ・無 ○有

※同室、同一鍵とする。

・引き戸用駆動装置

性能値 ※改修標準仕様書表5.8.5による

・種類・開閉方式 ( )

・耐電圧 ( )

・温度上昇 ( )

・耐久性 (サイクル) ( )

・防錆 ( )

・電源 ( )

・多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置

性能値 ※改修標準仕様書表5.8.6による

・耐電圧 ( )

・温度上昇 ( )

・耐久性 (サイクル) ( )

・防錆 ( )

・電源 ( )

・引き戸用検出装置

性能値 ※改修標準仕様書表5.8.3による

・耐電圧 ( )

・防錆 ( )

・防滴 ( )

・電源 ( )

戸の開閉方式

・建具表による

引き戸用検出装置の種類 改修標準仕様書表5.8.4による

・建具表による

凍結防止措置

・適用する

・適用しない

自動ドア開閉装置

性能等級

簡易気密型ドアセット

・適用する

・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

・S-4 (建具符号： ・建具表による )

・S-5 (建具符号： ・建具表による )

・S-6 (建具符号： ・建具表による )

防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級 ( )

断熱ドア ・断熱サッシ G 断熱性の等級 ( )

耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( )

鋼板の厚さ mm

※改修標準仕様書表5.4.2による

ステンレス鋼板 ・ ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

自閉式上吊り引戸設置

性能値等

※改修標準仕様書表 5.9.1 による

・手動開き力 ( )

・手動閉じ力 ( )

・閉じ速度の調整 ( )

・制動区間 ( )

・開閉繰返し ( )

・耐衝撃性 ( )

重量シャッター

シャッターの種類

耐風圧強度

・管理用シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup>

・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup>

・屋内用防火シャッター

・防煙シャッター

開閉方式の種類

※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式

二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所

・図示

障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所

・図示

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構

・設ける (設置箇所 ・図示 ・ )

「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」 (昭和48年12月28日建設省告示第2563号) に定める基準に適合するもの

※障害物感知装置 (自動閉鎖型) ・可動板板式

・設けない

管理用一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板

鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)

・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)

めっきの付着量 ※Z12又はF12

ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類などの材質

ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

軽量シャッター

開閉方式の種類

※手動式 ・上部電動式 (手動併用)

耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup>

障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示

スラットの材質

・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)

めっき付着量 (※Z06又はF06 ・ )

・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板)

めっき付着量 (※AZ90 ・ )

スラットの形状 ・インターロックング形 ・オーバーラッピング形

オーバーヘッドドア

セクション材料

耐風圧性能の区分 (Pa)

開閉方式による区分

収納形式による区分

ガイドレールの材質

※スチールタイプ ・125

※アルミニウムタイプ ・100

※ファイバーグラスタイプ ・75

・50

※バランス式

・チェーン式

・電動式

・スタンダード形

・ローヘッド形

・ハイルフト形

・パーチカル形

※溶融亜鉛めっき鋼板

・ステンレス鋼板 ( )

(※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1)

障害物感知装置を設けた電動タイプの設置箇所

・図示

ガラス

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類

・建具表による

・型板ガラスの厚さによる種類

・建具表による

・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類

・建具表による

・合わせガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類

・建具表による

形状による種類

・平面合わせガラス

・曲面合わせガラス

落球衝撃又は耐特性並びにショットバック衝撃特性による種類

・I類

・II-1類

・II-2類

・III類

・強化ガラス

形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称

・建具表による

破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類

・I類

・III類

・熱線吸収ガラス

板ガラスによる種類及び厚さによる種類

・建具表による

性能による種類

・1種

・2種

○複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ

○建具表による

断熱性による区分

・T1 ・T2 ○T3 ・T4 ・T5 ・T6

日射取得性、日射遮蔽性による区分

○G ・S

乾燥気体の種類

・空気 ○アルゴン

・熱線反射ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

・建具表による

日射熱減へ性による区分

・1種 ・2種 ・3種

耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)

・A種 ・B種

映像調整 ・行わない ・行う

・倍強度ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類

ガラス留め材

ガラス溝の大きさ (mm)

アルミニウム製

○シーリング材

・ガasket

・グレイジングチャンネル形

・図示

※建具製造所の仕様による

鋼製及び鋼製軽量

・シーリング材

・図示

※建具製造所の仕様による

ステンレス製

・シーリング材

・図示

※建具製造所の仕様による

ガラスブロック

表面形状

呼び寸法 (mm)

厚さ (mm)

目地幅 (mm)

平積み

曲面積み

伸縮調整目地 (mm)

・正方形

・125×125

80

※8~15

外側 ※15以下

※6mm以下ごとに幅10~25

・図示

・200×200

・95

・125

・図示

・320×320

95

・図示

・長方形

・250×125

80

・図示

・320×160

95

・図示

壁用金属枠及び補強材・形状

・図示

カ骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)

寸法 ※径5.5mm

形状 ※はしご形状接合及び単筋

化粧目地モルタルの色 ( )

金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製

寸法 ・図示

形状 ・図示

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ・1 ・1.15 ・1.3 ) 値の風圧力に対応した工法

目地部の横カ骨の納まり

※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示

ガラス用フィルム

種類

記号

その他性能等

・日射調整フィルム G

・S C-1

・S C-2

・低放射フィルム

・L E

・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム

・G I-1

・G I-2

・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム

・G D-1

・G D-1

・ガラス貫通防止フィルム

・S F

品質 JIS A 5759による

6

内装改修工事

改修範囲

既存開口壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

※ 壁厚程度とし、既存仕上に準じた仕上を行う ・図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上に準じた仕上を行う ・図示

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

※ 既存のまま ・図示

既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去

※ 仕上材のみ (接着剤とも)

・下地モルタルとも ( ・図示の範囲 ・除去範囲全て )

合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・自壊し工法

既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。

改修後の床の清掃範囲

※ 図示 ○改修箇所の室内

既存壁の撤去及び下地補修

開口壁撤去に伴う他の構造体の補修

※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示)

[illegible]

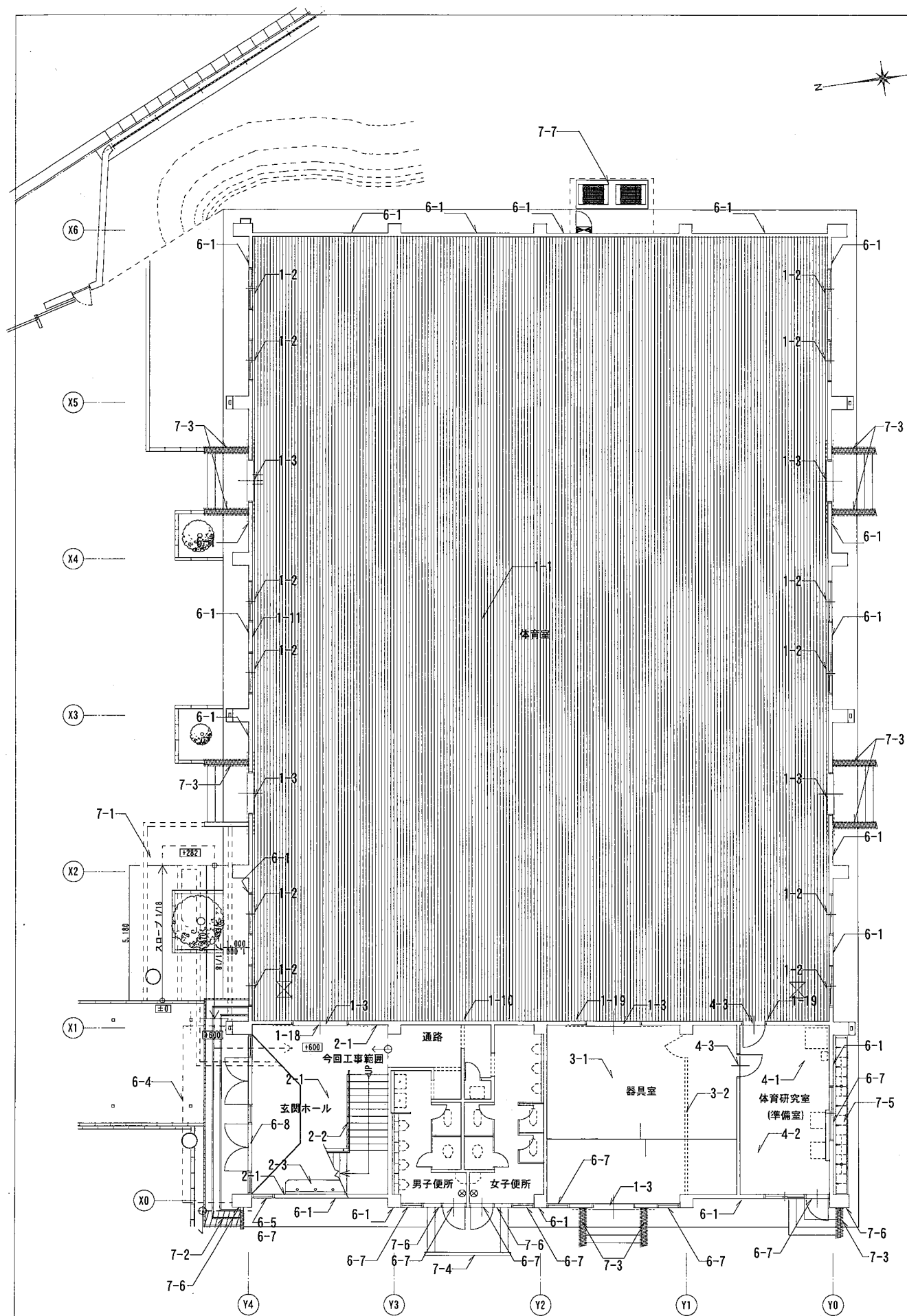
記 事	東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学(深沢小)附属世田谷小学校体育館改修設計業務	工事名称 東京学芸大学(深沢小)附属世田谷小学校体育館改修工事	縮尺 (A1) —	設計年月 令和6年6月
		株式会社 矢ヶ崎総合計画	図面名称 改修特記仕様書(5)	(A3) —	図面番号 T-05





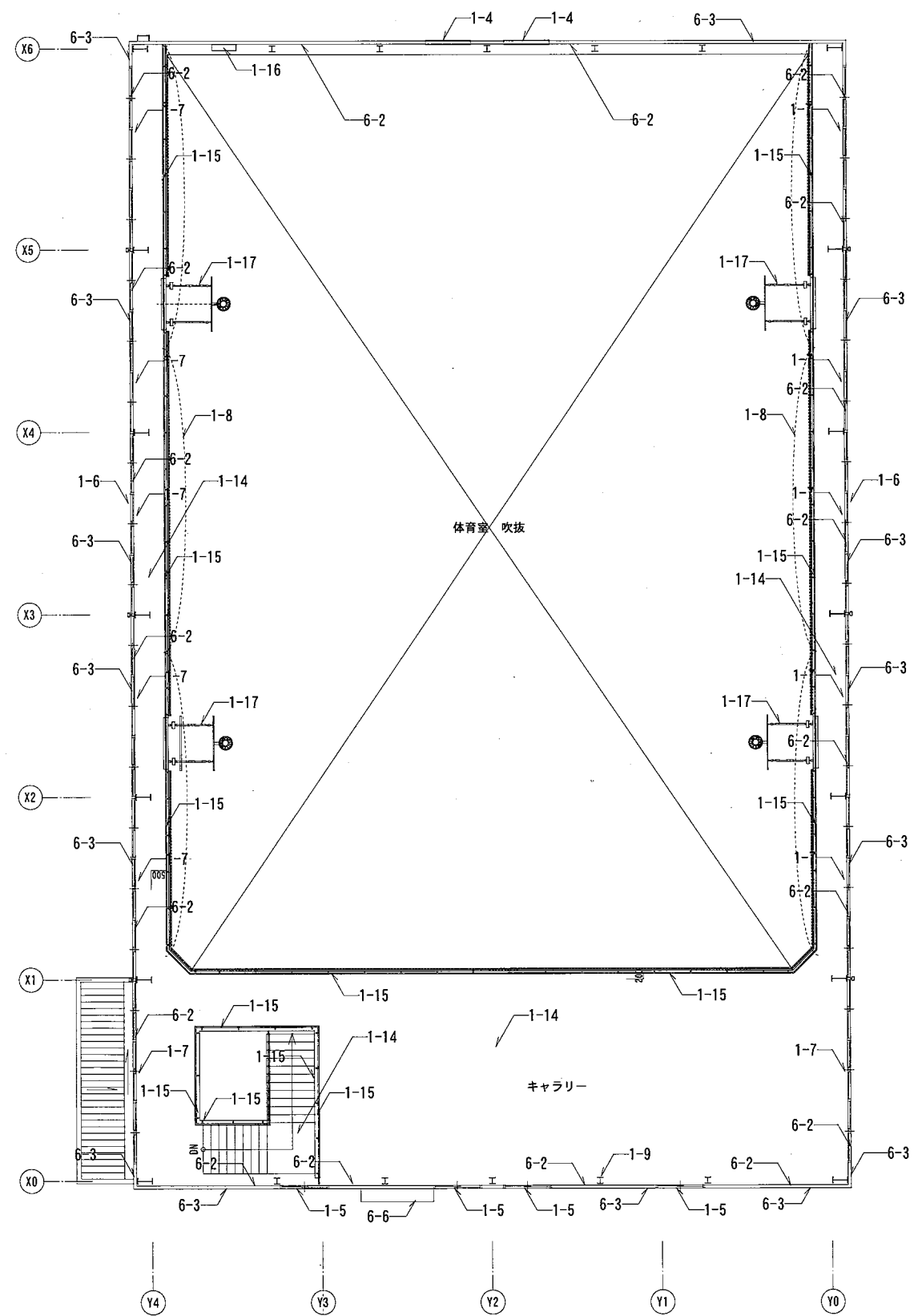






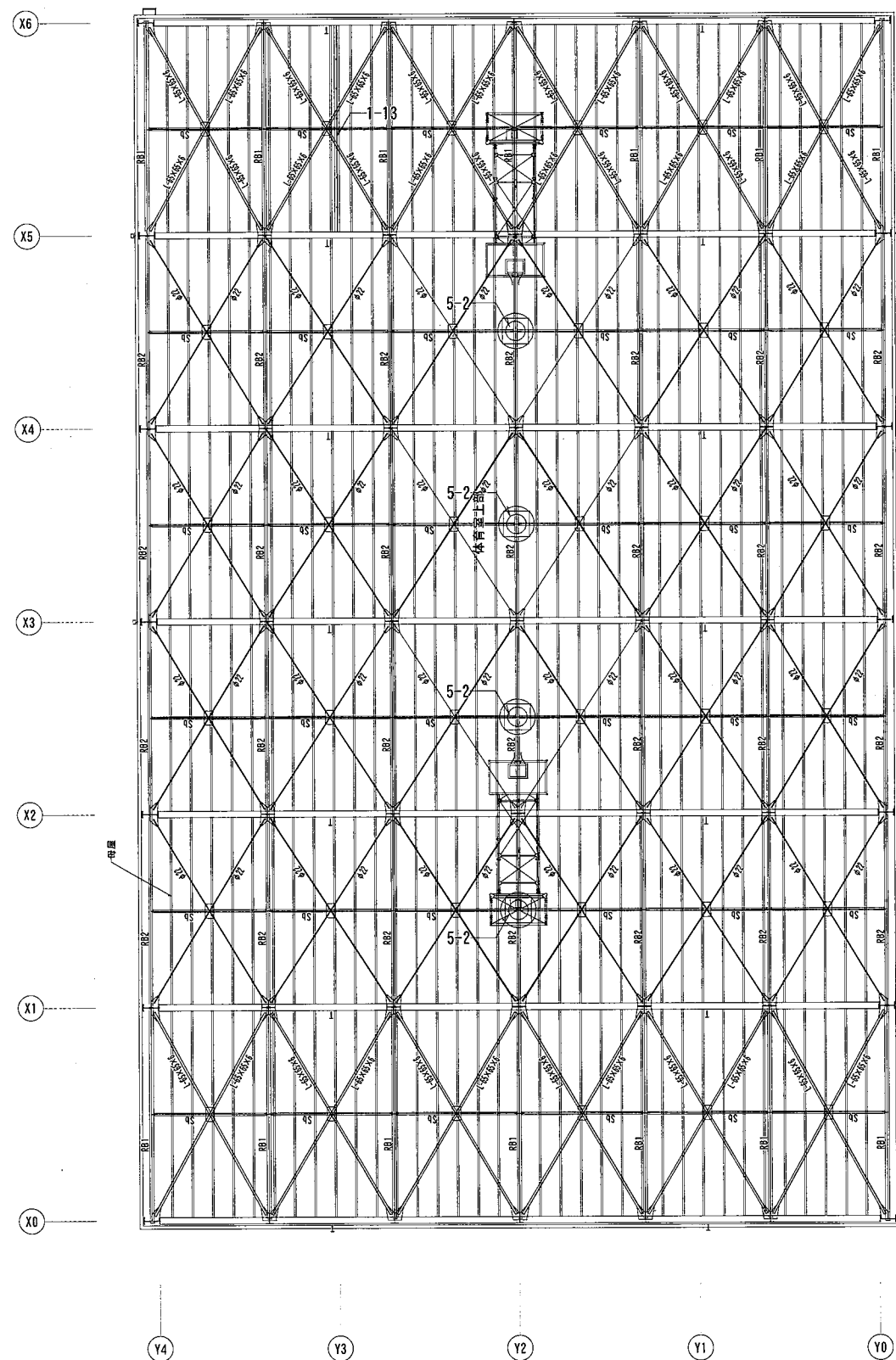
1階工事キープラン 1/100

※図中の各キー番号は、工事概要の表番号を示す。



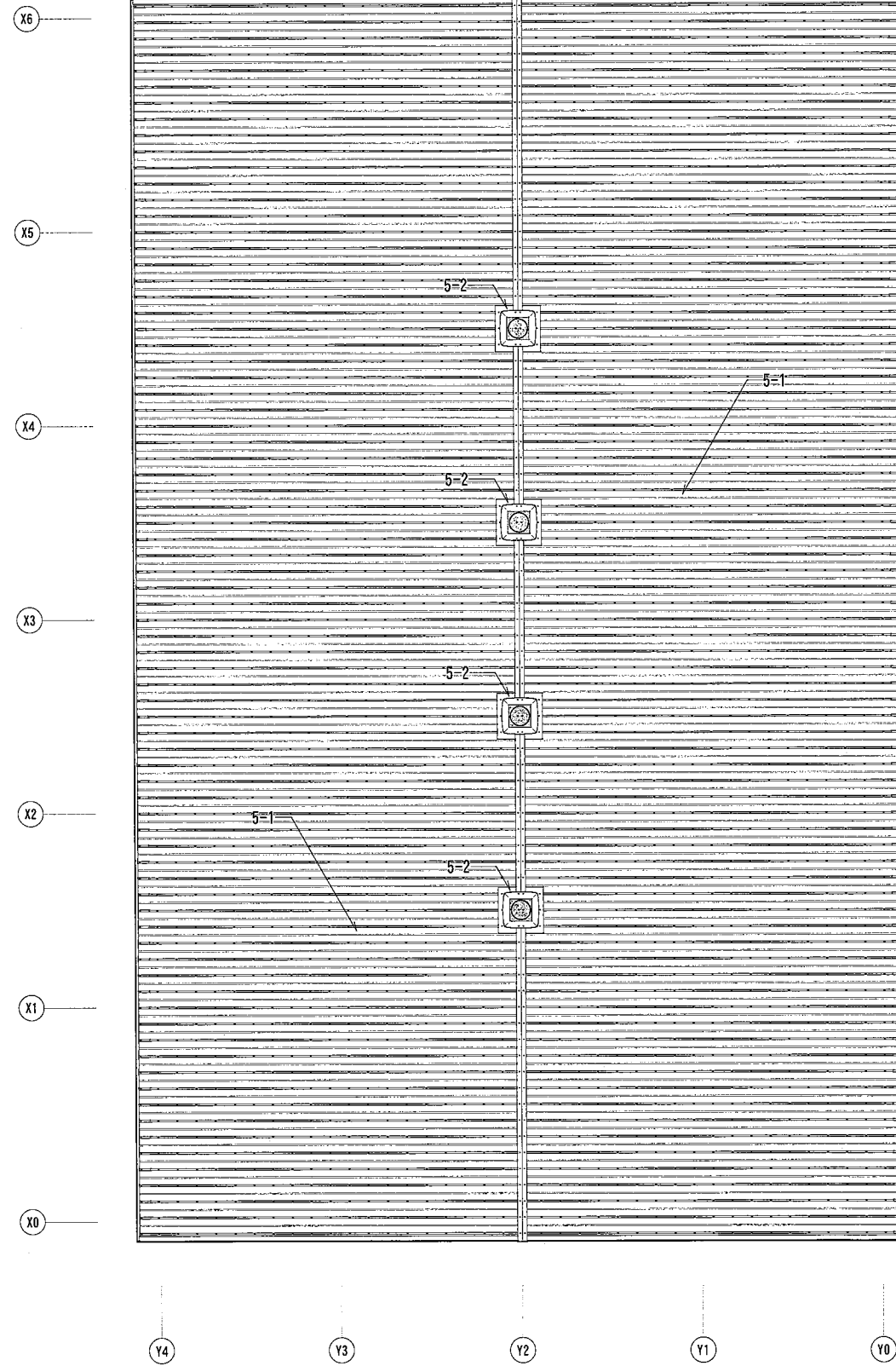
2階工事キープラン 1/100

<p>記事</p>	<p>東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課</p>	<p>業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務 株式会社 矢ヶ崎総合計画</p>	<p>工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 工事概要（1）</p>	<p>縮尺 (A1) 1/100 (A3) 1/200</p>	<p>設計年月 令和 6年 6月 図面番号 A-02</p>
-----------	------------------------------------	---	---	---	--



天井 工事キープラン 1/100

※図中の各キー番号は、工事概要の表番号を示す。



屋根 工事キープラン 1/100

記事	東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事 株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 工事概要（2）	縮尺 (A1) 1/100 (A3) 1/200	設計年月 令和 6年 6月 図面番号 A-03

工事概要

※ 工事概要（１）（２）の「1-1」等の記号数は、下表の番号を示す。

1 アリーナ（体育室）		
番 号	既存・改修	工 事 概 要
1	既存	既存床フローリング全撤去、捨張合板、鋼製根太撤去（大引き・束は残し）
	改修	束補強（全面積の3割程度）、鋼製根太新設、捨張合板新設、成形断熱材敷設、体育用70-リング張、UC塗装 競技ライン引
2	既存	地窓 全12箇所 引違窓アルミサッシ 障子部ガラス撤去
	改修	地窓 全12箇所 引違窓アルミサッシ 障子部 アルミ製パネルt3.0新設、室内側鋼製横面格子 塗装改修
3	既存	S D-1・2・4 既存シリンダー錠撤去
	改修	ディンプルキーシリンダー錠新設 既存マスターキー合わせ、鉄部塗装改修改修 枠とも
4	既存	東妻側 高所部アルミ製ガラリ ルーバー、スチール防球面格子 撤去
	改修	既存アルミ枠内にアルミパネルt3.0新設、有圧換気扇用下地骨組鉄骨新設
5	既存	西妻側のサッシ A W-2・3 閉塞、A W-2 高所部アルミ製ガラリ ルーバー、固定網戸 撤去
	改修	室内側 既存ガラス面非透過性フィルム貼、LGS下地、ケイ酸カルシウム板張、断熱材張、石膏ボード貼、塗装仕上
		外壁側 既存のまま A W-2高所部引撤去部 既存7mm枠内に7mm枠t3.0新設、給気バルコ用下地骨組鉄骨新設
6	既存	南北連窓AW-1 既存アルミサッシ全撤去 枠とも
	改修	高断熱性能アルミサッシ新設 複層ガラス（遮熱型Low-Eガラス）
7	改修	既存木製カーテンボックス塗装改修
8	既存	防球ネットワイヤー撤去
	改修	防球ネットワイヤー新設
10	既存	X1通-Y2・3間 既存壁緑甲板張撤去
	改修	ダンス用窓見 大型鏡 W3m×H1.8m新設 飛散防止フィルム 木製両引分戸収納部新設
11	既存	Y4通-X3・4間 既存壁緑甲板張撤去
	改修	大型モニター新設箇所 壁面両開戸 扉内隠板 小物附属品置棚 新設（※大型モニターは別途）
13	改修	<del>Y3通-Y5・6間 追加壁付鏡 6本 梁渡し横連鉄骨新設</del>
	既存	<del>2階ギャラリー床（階段寄付）長尺塩ビシート（アスベスト含有）石綿処理 レベル3工法</del>
14	改修	既設 塩ビシート 既存のまま
	改修	2階コンクリート手すり壁、階段コンクリート壁 塗装改修
16	改修	東妻面 大型時計取付箇所下地 構造用合板張補強 （大型時計の取外し再取付は電気設備工事）
17	既存	バスケットゴール小 4箇所 全撤去
	改修	バスケットゴール小 4箇所 新設
18	既存	サイン撤去 「体育室」・「器具室」・「準備室」
	改修	サイン新設 「体育室」・「器具室」・「体育研究室」

2 1階 玄関・ホール		
番 号	既存・改修	工 事 概 要
1	既存	床 玄関一廊下 長尺塩ビシート（アスベスト含有）撤去 石綿処理 レベル3工法
		天井 既存化粧石膏ボード撤去 LGS下地とも
	改修	床 コンクリート増打ち +50mm、金ゴテ、玄関一廊下 長尺塩ビシート張
		壁 塗装改修（既存アスベスト含有付じ込め） 天井 化粧石膏ボード新設 LGS下地とも 建具 S D-3 塗装改修
2	改修	階段手摺下のササラ幅木 石張り欠落部はモルタル成形、塗装
3	既存	<del>玄関ホール コンクリート ステンレス製シンク渡し 撤去</del>
	改修	<del>新設流し レット（木製 ステンレス製シンク） 水栓数5箇所</del>

3 1階 器 具 室		
番 号	既存・改修	工 事 概 要
1	既存	コンポジションビニル床タイル（アスベスト含有）300口撤去 石綿処理 レベル3工法
	改修	床 コンクリート増打ち +50mm、金ゴテ、防塵塗装
2	改修	建具 S D-3 塗装改修

4 体育研究室（準備室）		
番 号	既存・改修	工 事 概 要
1	既存	天井 石綿ケイ酸カルシウム板（アスベスト含有）撤去 石綿処理 レベル3工法 LGS下地とも
	改修	天井 化粧石膏ボード新設 LGS下地とも 空調機用点検口 新設
2	既存	床 タイルカーベット 撤去
	改修	壁 塗装改修 幅木 塗装改修 床 タイルカーベット 新設
3	既存	W D-1・2 金物・ノブ・シリンダー錠・丁番・ドアチェック 撤去
	改修	W D-1・2 金物・ノブ・シリンダー錠・丁番・ドアチェック 新設、塗装改修 枠とも

5 屋根 断熱防水改修		
番 号	既存・改修	工 事 概 要
1	改修	50mm厚 ウレタンフォーム断熱材敷設、塩ビ防水シート貼
	既存	棟部 自然換気塔 4機 撤去
2	改修	開口部閉塞 ガルバリウム鋼板 板金、ビス止め 周囲シールの上断熱防水シート貼
	改修	角型スチールパイプ製 壁樋 清掃 塗装改修 既存化粧鋼板製軒樋清掃 塗装改修

6 外壁改修・断熱新設 （1階R C外壁 外断熱・2階鉄骨造パネル外壁 内断熱）		
番 号	既存・改修	工 事 概 要
1	既存	1階 コンクリート外壁 仕上塗材はアスベスト含有のため湿潤の上、搾孔等作業（石綿則遵守）
	改修	外断熱改修 35mm厚スタイロフォーム断熱材張り、ガルバリウム鋼板張り仕上
2	既存	2階 鉄骨造パネル壁 室内側 有孔合板t5.5 仕上材のみ撤去
	改修	内断熱 50mm厚グラスウール断熱材張込み、有孔合板t5.5張り仕上
3	改修	2階外壁カラー鋼板 塗装改修
4	改修	<del>玄関前大庇見上げ面 アルミハンドレール 清掃</del>
5	既存	<del>アルミ面格子 既存全撤去 玄関ホールのAW-6屋外側面格子 既存木製格子 撤去</del>
	改修	<del>アルミ面格子 新設</del>
6	既存	<del>トイレ外部出入口上のコンクリート小庇 撤去（既存仕上塗材アスベスト含有）湿潤化の上撤去</del>
	改修	<del>既存外壁鉄骨体平滑化補修 アルミ製庇新設 出幅900mm</del>
7	既存	A W-5×1箇所、A W-6×5箇所、A D-1×2箇所、A D-2×1箇所 枠残し撤去
	改修	カバー工法にてアルミサッシ新設 複層ガラス
8	既存	玄関S T D-1 撤去
	改修	車いす利用者対応の引戸（有効開口幅1,000mm）付きアルミ製両開連窓框戸 新設

7 外周部・外構部		
番 号	既存・改修	工 事 概 要
1	既存	玄関横 X1・2間 植栽花壇撤去（C=25cm H=5m 伐根まで） <del>既存壁緑撤去</del> アスファルト舗装 カッター入れ、撤去 7.0m×4.0m
	改修	スロープ新設 X1・2側にUターンスロープ・1/18勾配確保 GL±0→+600 既存φ600マンホール はスロープ路面にもう一つ蓋を設置 周囲アスファルト舗装 復旧
2	既存	玄関前外部アプローチ階段 X0通より西側1.5mはカッター入れ、撤去
	改修	立上面はつり痕モルタル金ゴテ、土間コンクリート打ち、はけ引き仕上
3	既存	<del>外部階段の両袖立上げカッター入れ撤去（Y2柱部1箇所は残置）</del>
	改修	<del>立上面はつり痕モルタル金ゴテ、土間のコンクリート打ち、はけ引き仕上</del>
4	改修	<del>トイレ屋外出入口上のコンクリート壁面 塗装改修 既存厚さ部たたき落し、モルタル成形</del>
5	既存	<del>Y0通大庇見上げ面 全撤去</del>
	改修	<del>撤去跡モルタル金ゴテ補修 W500×H500mmのシリング新設 足洗い兼用水飲み場新設 水栓2ヶ箇所</del>
6	既存	サイン撤去 A E D案内×2、トイレ男女×各1
	改修	サイン新設 A E D案内×2、トイレ男女×各1
7	改修	東妻側 空調室外機置場新設 基礎コンクリート打設、遮音フェンス（H2,000程度）3方向囲障
8	既存	東妻側 スチールタラップ <del>撤去</del>
	改修	背かご付きスチールタラップ新設

記事		東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務  株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事  図面名称 工事概要（3）	縮尺 （A1） — （A3） —	設計年月 令和 6年 6月  図面番号 A-04

## □ 外部・内部仕上表

外 部			
部 位	既 存		改 修
屋 根	着色木毛マグネシウムセメント板 t20 下地 長尺瓦棒葺きカラー鋼板 t0.6 発泡ポリエチレン裏張り ・棟部換気塔 撤去		・棟部換気塔 4 機撤去跡孔 閉塞→ガルバリウム鋼板張り、ビス留め、周囲シール ・既存鋼板洗浄、断熱材硬質ウレタンフォーム t50 敷設 ・合成高分子系ルーフィングシート t1.5 敷設 固定ディスク ・端部、出隅、入隅各取合い部 シール ・鋼板製軒葺、壁樋 清掃・塗装改修(下記2階外壁か・鋼板塗装改修と同仕様)
2 階外壁	S 造 カラー鋼板 t0.4、ロックウールボード t20 裏張り		・既存外壁面 洗浄 ・鋼板面 下地調整 R B 種、錆止め塗料 E 種(変性Eポ 樹脂脂アプライマ JASS18 M-109) 錆止め塗装 B 種(公共建築改修工事仕様書R4版 表7.4.3) ・耐候性塗料(DP JIS K 5659) 3 級 2 回塗り
1 階外壁	R C 造 コンクリート打放し 増打ち t25 砂壁状吹付 前回改修仕上塗材 複層塗材E (推定) ※7A' 仕含有 5%以下		・既存洗浄、湿潤化 ・湿潤化した外壁仕上塗材面に軽量鉄骨壁下地65形設置 6300 ・既存外壁面 断熱材スタイロフォーム t35 ビス止め ・カラーガルバリウム鋼板 t0.35 敷設仕上 ・軒天取合い部 押縁カラーガルバリウム鋼板製 周囲シール ・下地 水切板 カラーガルバリウム鋼板製 周囲シール ※各作業は石綿則等による規制を遵守する事。
軒 天	石綿ケイ酸カルシウム板 t5.0 目透貼 AEP ・既存ボード、下地LGSとも撤去 ※レベル 3 対象		・軽量鉄骨天井下地25形 設置 ・ケイ酸カルシウム板 t5.0 目透貼 E P - G 塗装仕上

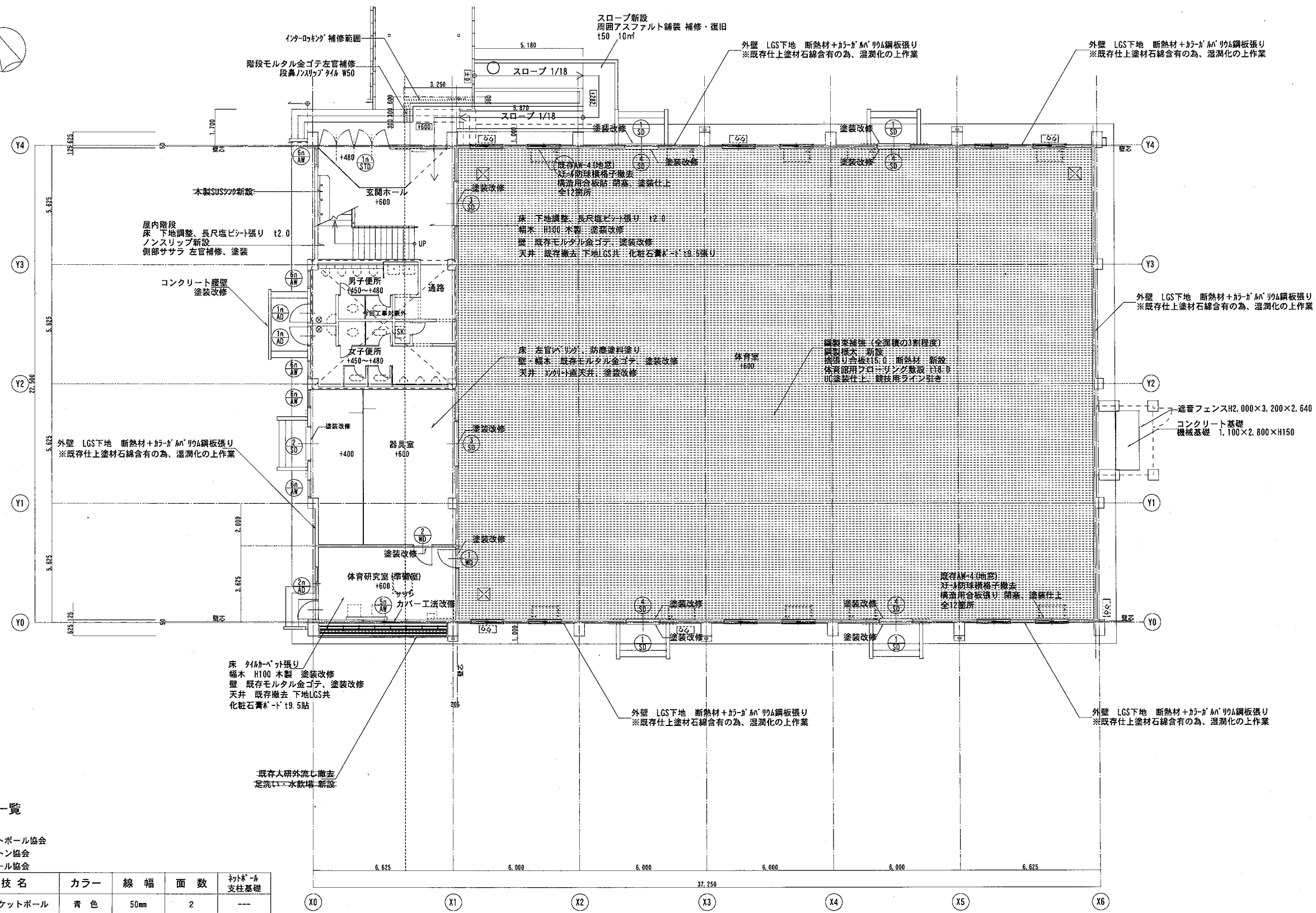
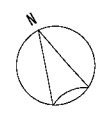
内 部			
室 名	部 位	既 存	改 修
1 階 玄関・ホール 階段	床	土 間 ― モルタル金ゴテ下地、150□磁器質タイル張り ホール ― <del>モルタル金ゴテ下地、ビニル床シート張り</del> t2.0 撤去 ※バ※3 対象 階 段 ― <del>モルタル金ゴテ下地、ビニル床シート貼、SUSノリッパ</del> 撤去 ※バ※3 対象	土 間 ― 既存のまま ホール ― 下地調整、ビニル床シート張り 体育室入口前 新規段差50mm 硬質ゴム製スロープ新設 階 段 ― 下地調整、ビニル床シート張り、SUSノリッパ 新設
	幅木	木製幅木 H=100 S O P	・既存塗装改修 下地調整 R B 種 S O P B 種
	壁	モルタル金ゴテ下地、E P ※7㎡未満含有 5%以下 調査報告あり	・既存洗浄、湿潤化 ・下地調整は、汚れ・付着物除去のみ ・E P - G 塗装 C 種
	天井	軽量鉄骨下地、化粧石膏ボード t9.0貼 撤去 下地共 C. H. =2,500	・軽量鉄骨天井下地19形、化粧石膏ボード t9.5 張り ・C. H. =2,500
	建具	・既存7㎡未満、SUS玄関ドア 障子・ガラス部、可動部のみ撤去	・ステンレス両開ドア ガラス工法改修 断熱機能高度化 一部ガラス引戸(車いす利用者対応) ・アルミサッシカバー工法改修 断熱機能高度化 ・S D - 3 塗装改修
	ユニット	<del>水飲み手洗いシンク――水栓×3 コックリット製、大研キズカスシヤW2,300×D600×H550――解体撤去 ※周囲壁面塗料、灰サス含有 5%以下 調査報告あり ――既存湿潤化、カッター入れ ――保護(飛散防止)しながら、大研・コックリット部分のハンダ作業 ――既存鉄部切断の上、シンク部分撤去 ・室名札「体育室」撤去</del>	<del>木製組み、化粧パネル貼――ステンレスシンク流し台新設――水栓×5 W2,800×D550×H550 ・室名札「体育室」新設</del>
1 階 器具室	床	土 間 ― モルタル金ゴテ 室 内 ― モルタル金ゴテ下地、ビニル床タイル貼 撤去 ※レベル3 対象	土 間 ― 既存のまま 室 内 ― 下地調整、防塵塗料塗り 体育室入口前 新規段差50mm 硬質ゴム製スロープ新設
	幅木	モルタル幅木 H=100 E P	・既存塗装改修 下地調整 R B 種 E P - G B 種
	壁	コンクリート打放しの上、前回改修塗装	・既存塗装改修 下地調整 R B 種 E P - G B 種
	天井	コンクリート打放しの上、前回改修塗装 梁形共 直天C. H. =2,925	・既存塗装改修 下地調整 R B 種 E P - G B 種 梁形共 ・直天C. H. =2,925
	建具	・既存7㎡未満、障子・ガラス部、可動部のみ撤去 ・S D - 2 シリンダー錠撤去	・アルミサッシカバー工法改修 断熱機能高度化 ・外壁面S D - 2 シリンダー錠錠交換、鉄部塗装改修 ・S D - 3 塗装改修

内 部

		既 存	改 修
1 階 体育研究室 (準備室)	床	モルタル金ゴテ下地、ビニル床タイル張り t1.5の上 タイルカーペット張り t5.0 撤去 ↑ ※レベル3 対象	・下地調整 (既存接着剤等の残存不陸因の除去、平滑化)、タイルカーペット張り
	幅木	木製幅木 H=100 SOP	・既存塗装改修 下地調整 R B 種 SOP B 種
	壁	モルタル金ゴテ下地、E P	・既存塗装改修 下地調整 R B 種 E P-G B 種
	天井	・軽量鉄骨天井下地、石綿ケイ酸カルシウム板 t5.0 目透張り 撤去下地共 ※レベル3 対象 C.H.=2,350	・軽量鉄骨天井下地19形、化粧石膏ボード t9.5 張り ・C.H.=2,350 天井点検口 450□×1箇所
	建具	・既存7段サッシ、ドア 障子・ガラス部、可動部のみ撤去	・アルミサッシカバー工法改修 断熱機能高度化 ・WD-1、2 塗装改修、ドアノブ、シリンダー錠、ドアチェック、丁番交換
1 階 アリーナ (体育室)	床	・フローリングボード (ナラ) t18.0 UP塗装 全撤去 ・鋼製根太、捨張り合板 t15.0 撤去 ・アルミ製床点検口 600□×4箇所 撤去	・鋼製根太、捨張り合板 t15.0、成形発泡断熱材 t70.0敷設 フローリングボード t18.0、素地拵え A 種、UC 塗装 A 種 ・アルミ製床点検口 600□×4箇所 新設 ・各競技ライン引き・各球技用ネット支柱基礎、金物 新設
	幅木	木製幅木 H=100 SOP	・既存塗装改修 下地調整 R B 種 クリアラッカー (CL) B 種 (材質・施工による着色無し)
	壁	木製銅緑、難燃処理緑甲板張り t12.0 本実目透張り OSCL	・下地調整 R B 種 元の木目露出まで ・クリアラッカー (CL) B 種 (材質・施工による着色無し)
	天井	・自然換気塔 開口×4箇所 (700×700)	・換気塔開口跡 閉塞 軽量鉄骨天井下地25形、木毛セメント板張り
	建具	・SD-1、3、4 シリンダー錠 (撤去)、SOP 塗装 ・AW-4 既存ガラス撤去	・SD-1、3、4 シリンダー錠錠 (交換)、下地調整 R B 種、SOP 塗装 B 種 ・AW-4 アルミパネル新設、室内側鋼製横格子 塗装改修
	ユニット その他	・鋼管製ウォールジム 撤去 ・バスケットゴール小 (ミニバスケット用) ×4箇所 撤去  ・2階ギャラリー上部 防球ネット吊ワイヤー撤去 ・サイン「器具室」「準備室」撤去	・バスケットゴール小 (ミニバスケット用) ×4箇所 新設  ・2階ギャラリー上部 防球ネット吊ワイヤー新設 ・サイン「器具室」「体育研究室」新設
2 階 ギャラリー	床	モルタル金ゴテ下地、ビニル床シート張り ※レベル3 対象	・既存のまま
	幅木	木製幅木 H=100 SOP	・既存塗装改修 下地調整 R B 種 SOP B 種
	壁	・軽量鉄骨下地、難燃有孔合板 t5.5 目透張り OSCL 撤去 ボードのみ ・カーテンボックス内カーテンレール撤去	・50mm厚グラスウール断熱材張込、有孔合板 t5.5張り仕上 ・木製カーテンボックス 塗装改修 ・カーテンレール シングル 新設
	天井	1階 アリーナ参照	
	建具	・既存7段サッシ AW-1 障子・ガラス部、可動部のみ撤去 ・既存7段サッシ AW-2、3 既存のまま ・アルミガラリ AG-1 アルミルーバー撤去	・AW-1 アルミサッシカバー工法改修 断熱機能高度化 ・AW-2、3、既存ガラス面フィルム張り、LGS下地組、化粧合板 t6.0張り、 断熱材張り込み、有孔合板 t5.5張り ・AG-1 7段ガラリ t3.0新設、室内側 枠、鉄骨部に換気設備新設のための下地鉄骨組み
	その他	・2階ギャラリー コンクリート手摺壁 既存 E P  (ミニサッシ設置箇所背面壁)	・コンクリート手摺壁 塗装改修 下地調整 R B 種 E P-G B 種

記 事	東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事	縮尺 (A1) ー	設計年月 令和 6年 6月
		株式会社 矢ヶ崎総合計画	図面名称 外部・内部仕上表	(A3) ー	図面番号 A-05





新規競技用ライン引き一覧

- 各競技ライン規格準拠の出典
- ・公益財団法人日本バスケットボール協会
- ・公益財団法人日本バドミントン協会
- ・公益財団法人日本バレーボール協会

競技名	競技用ライン引き一覧					
	ライン	競技名	カラー	線幅	面数	ネットボール
	1	ミニバスケットボール	青色	50mm	2	---
	2	バドミントン	緑色	40mm	6	12
	3	フルバスケットボール	ベージュ	50mm	1	---
	4	9人制バレーボール	赤色	50mm	1	2
	5	6人制バレーボール	黄色	50mm	2	4

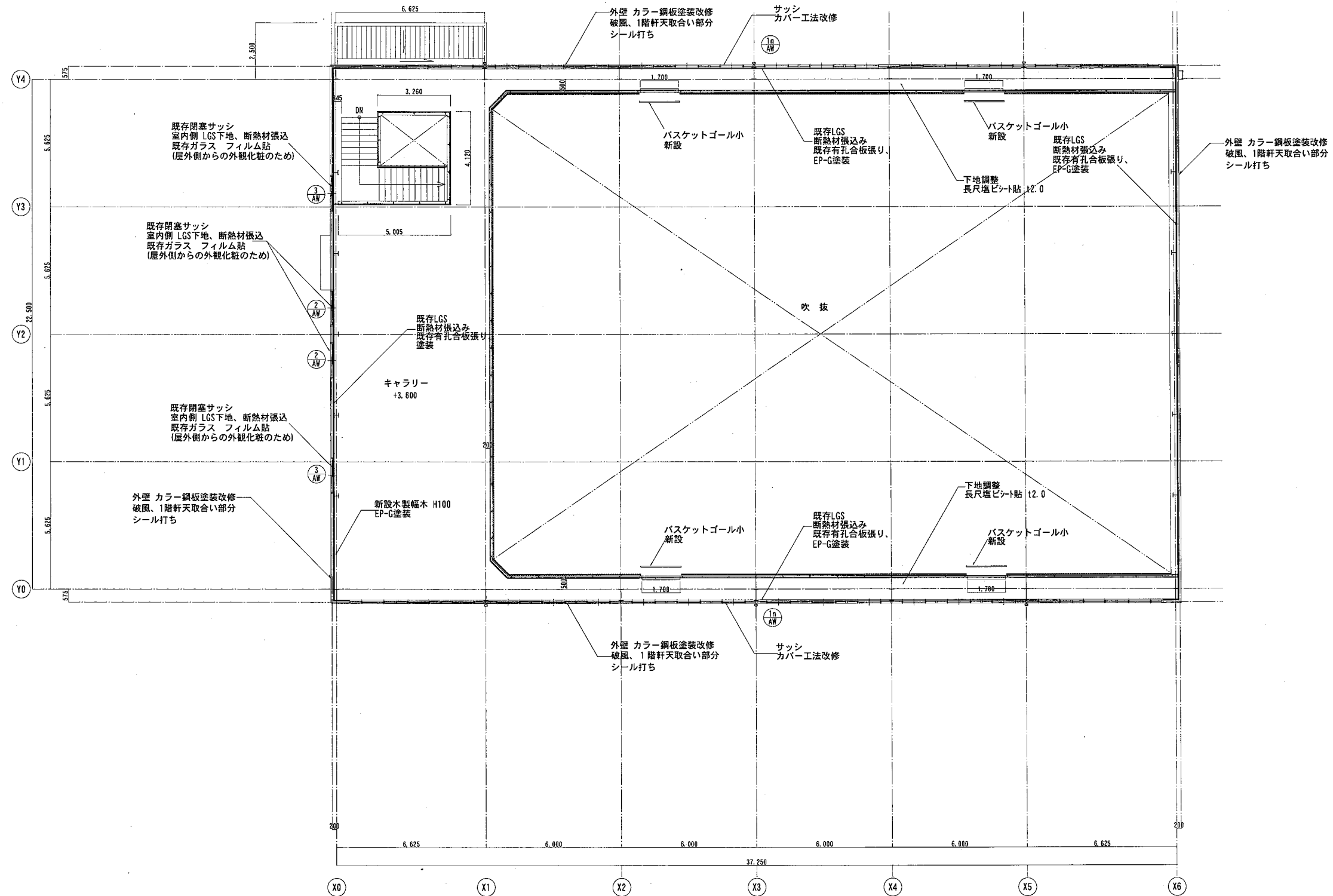
※W50: 7.26m、W40: 6.17m ※ネットボール支柱基礎は詳細図参照

※ 建具類改修の詳細は改修建具表参照のこと。  
※ 鋼製束補強は、調査の上行うこと。

1階平面図(改修後) 1/100



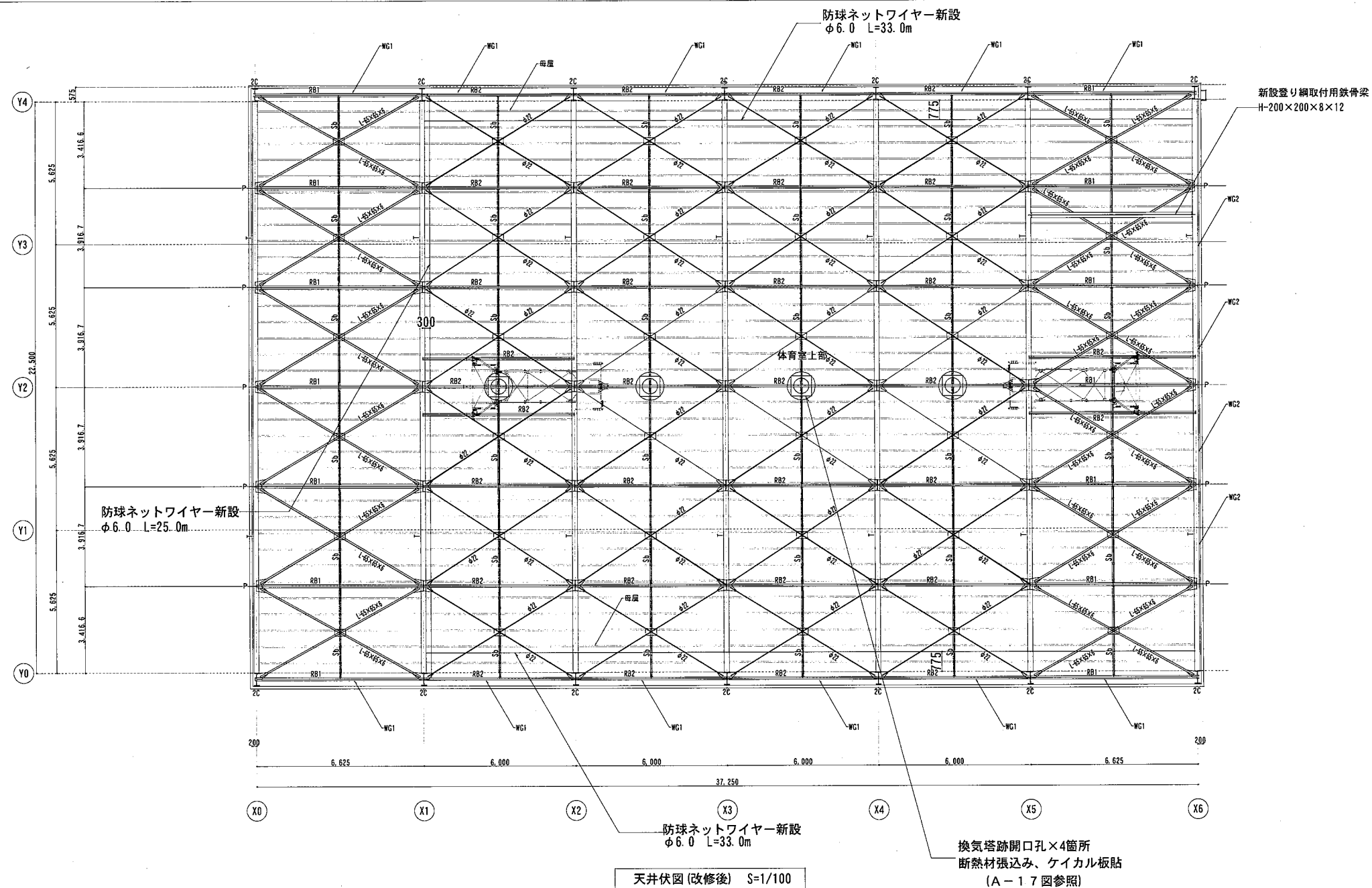




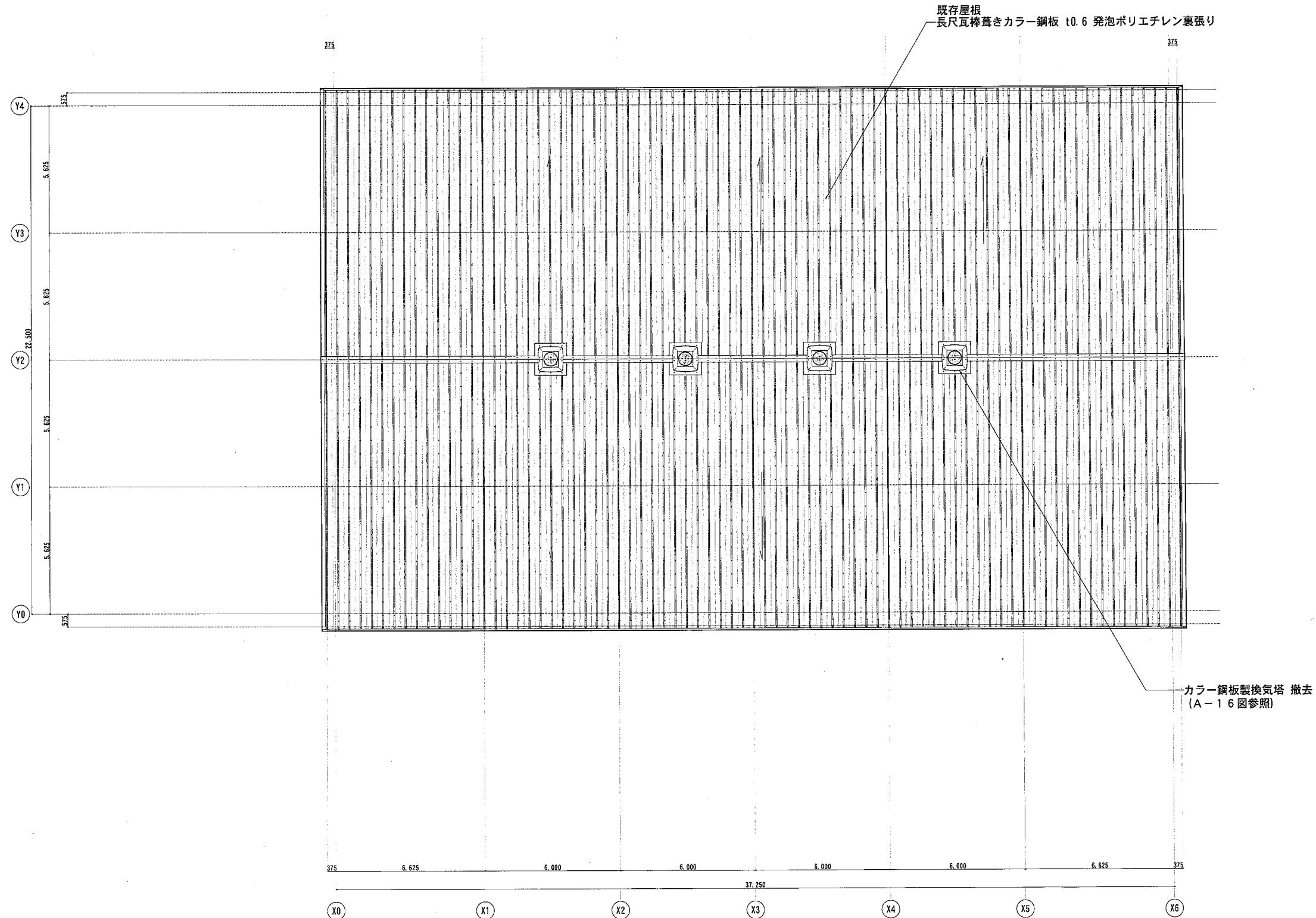
改修2階平面図 1/100

記事		東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務 株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 2階平面図(改修後)	縮尺 (A1) 1/100 (A3) 1/200	設計年月 令和 6年 6月
						図面番号 A-09



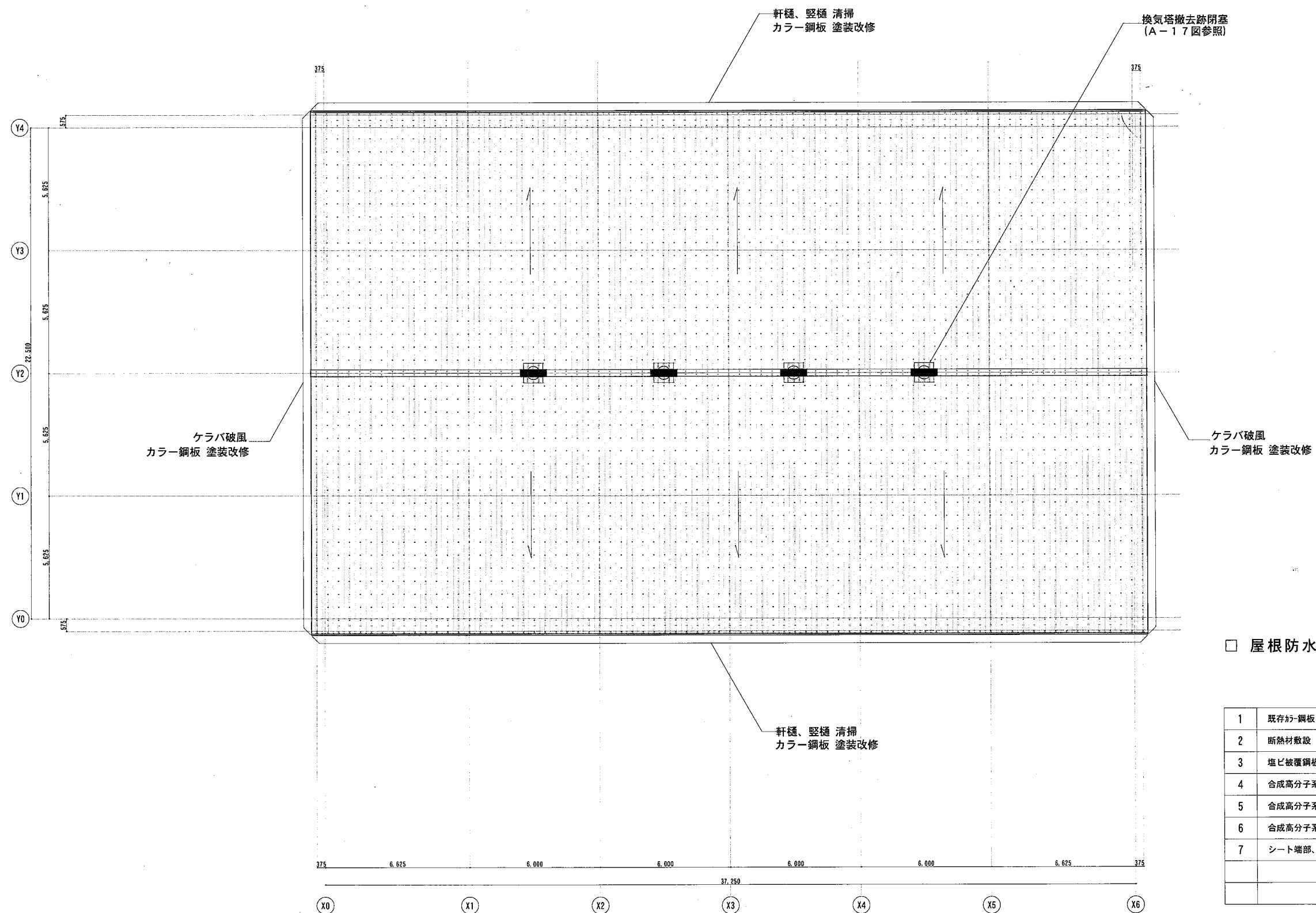
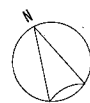


記事		東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学(深沢小)附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務 株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学(深沢小)附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 天井伏図(改修後)	縮尺 (A1) 1/100 (A3) 1/200	設計年月 令和 6年 6月 図面番号 A-11



屋根伏図 (改修前) 1/100

記事		東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務 株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 屋根伏図 (改修前)	縮尺 (A1) 1/100 (A3) 1/200	設計年月 令和 6年 6月 図面番号 A-12



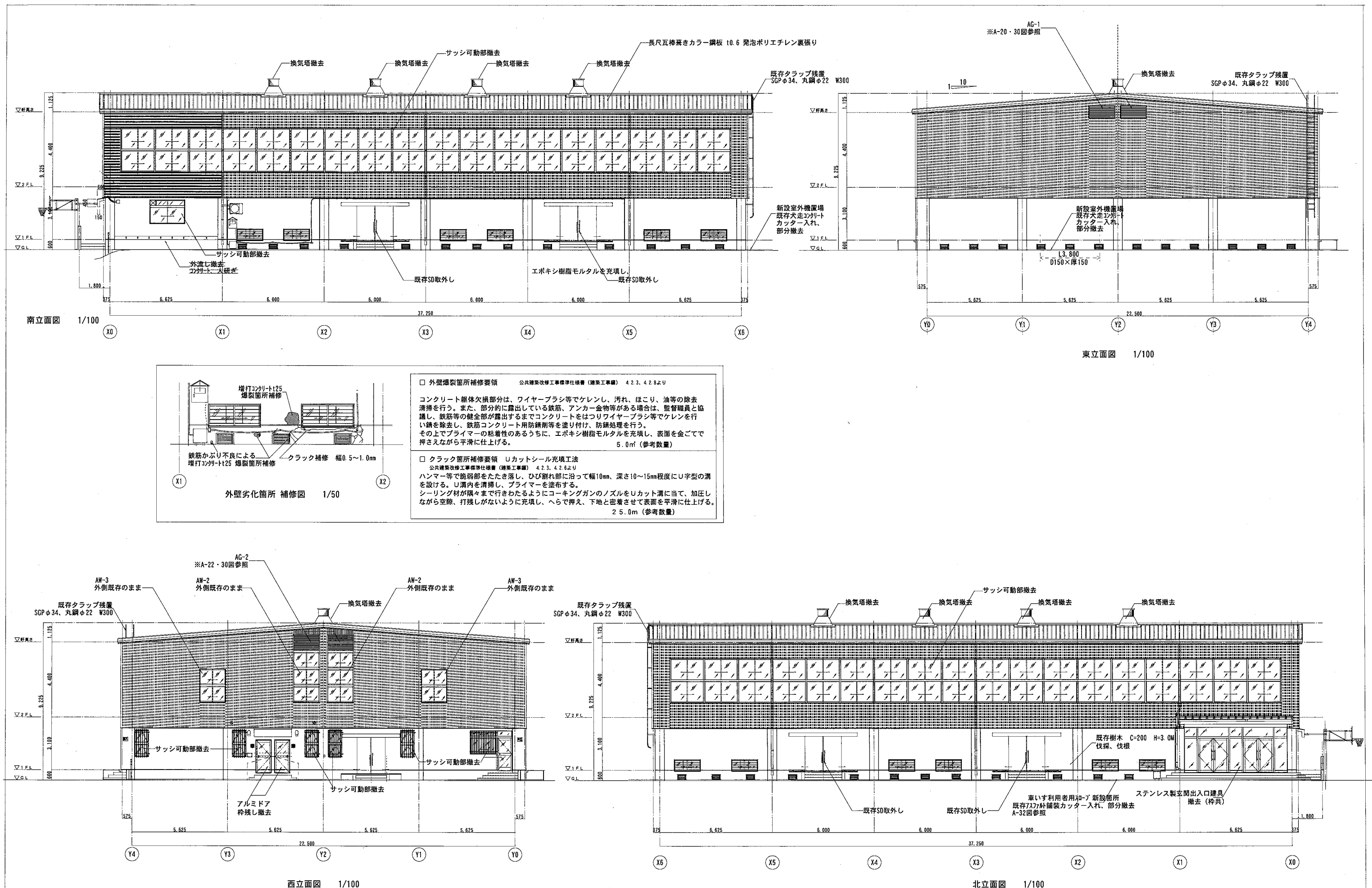
□ 屋根防水改修要領

1	既存カラー鋼板 t0.6 瓦棒葺き はげ高 大73・小48 既存洗浄、清掃
2	断熱材敷設 成形発泡断熱材 t50 目地テープ張り
3	塩ビ被覆鋼板 (F.B)、固定ディスク設置 各ボルト止め
4	合成高分子系ルーフィングシート t1.5 敷設
5	合成高分子系ルーフィングシートと塩ビ被覆鋼板の溶融着
6	合成高分子系ルーフィングシートとディスクの加熱接合
7	シート端部、接合部の処理

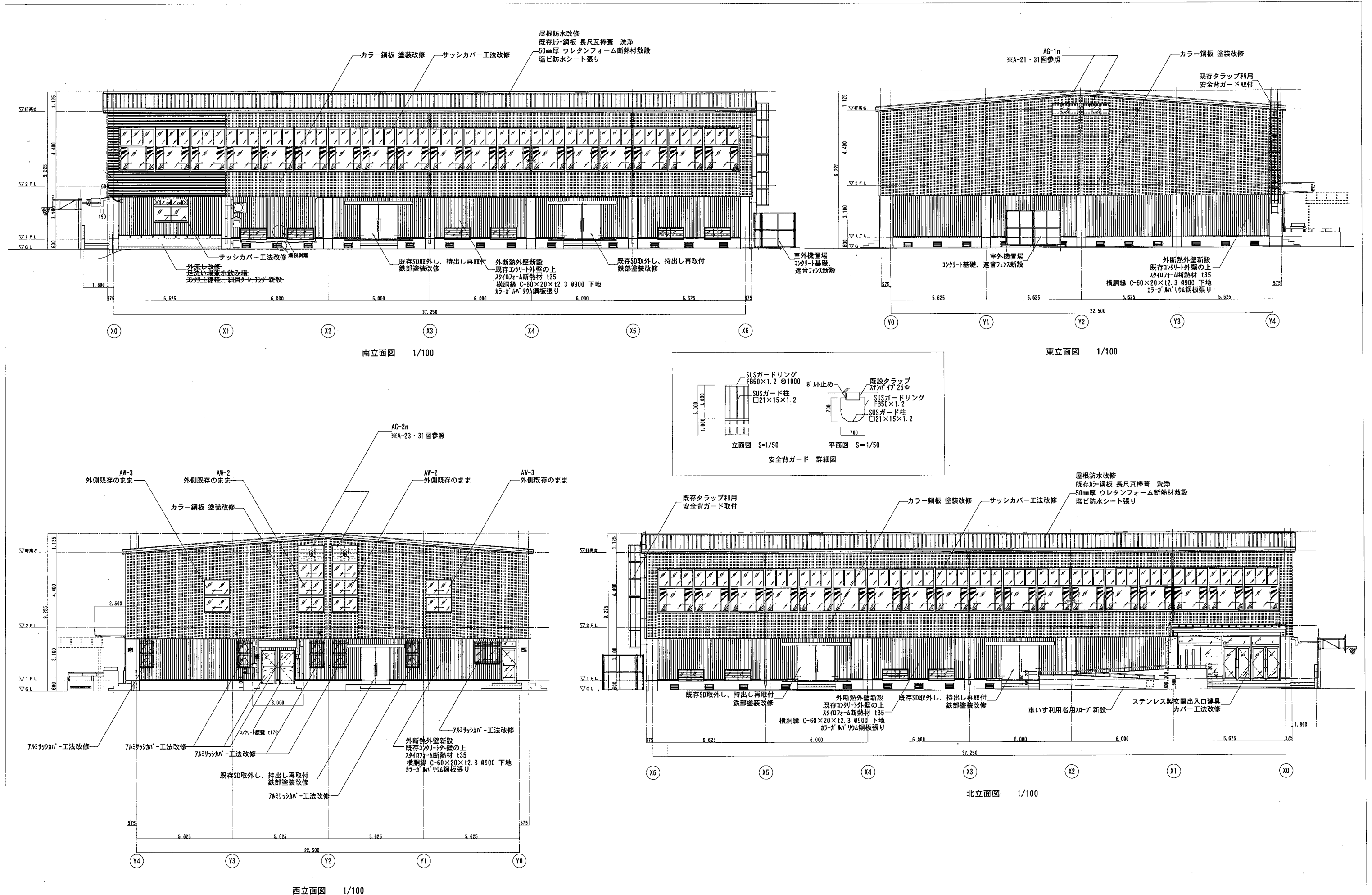
屋根伏図 (改修後) 1/100

記事		東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学 (深沢小) 附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務 株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学 (深沢小) 附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 屋根伏図 (改修後)	縮尺 (A1) 1/100 (A3) 1/200	設計年月 令和 6年 6月 図面番号 A-13

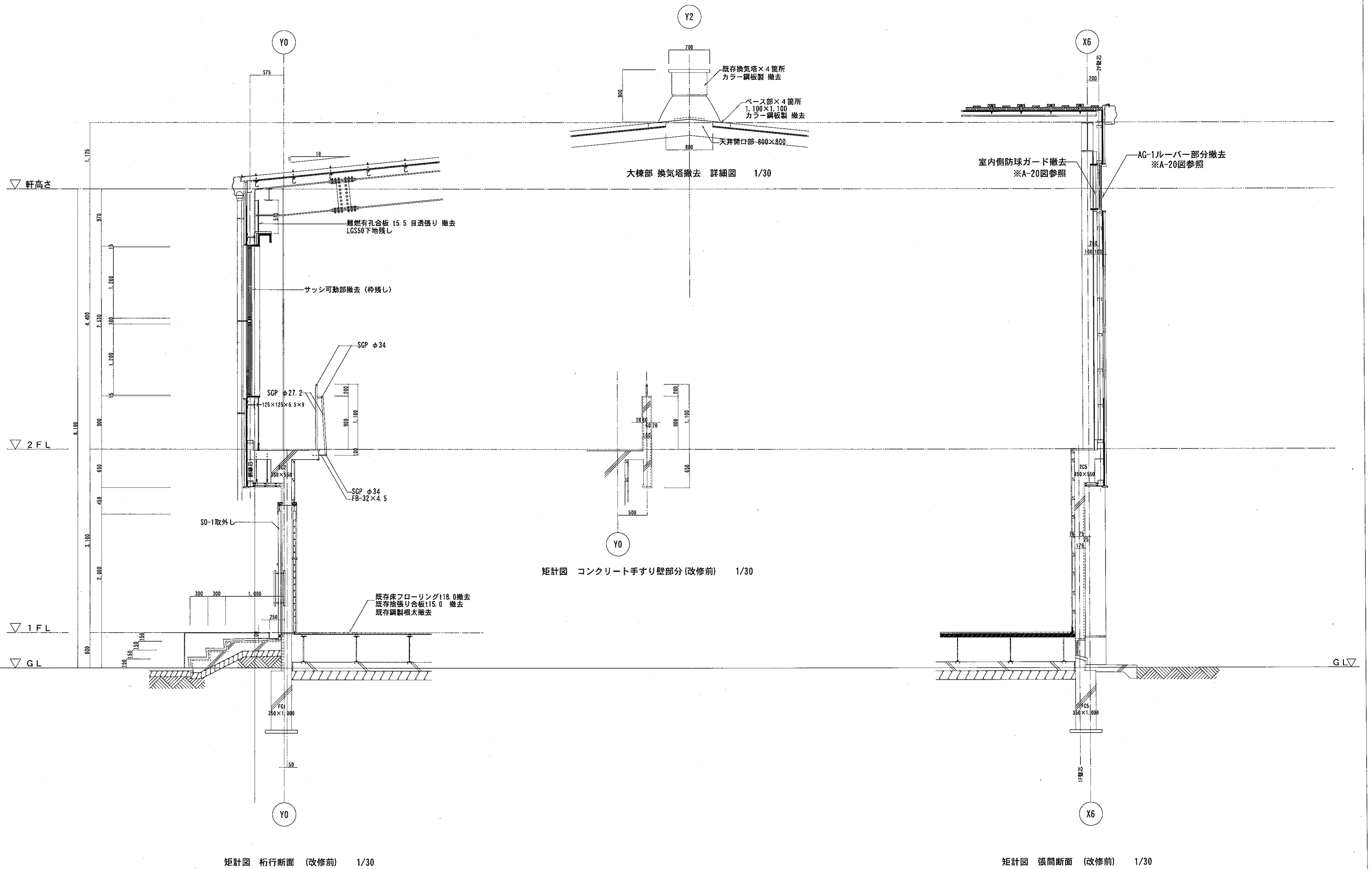


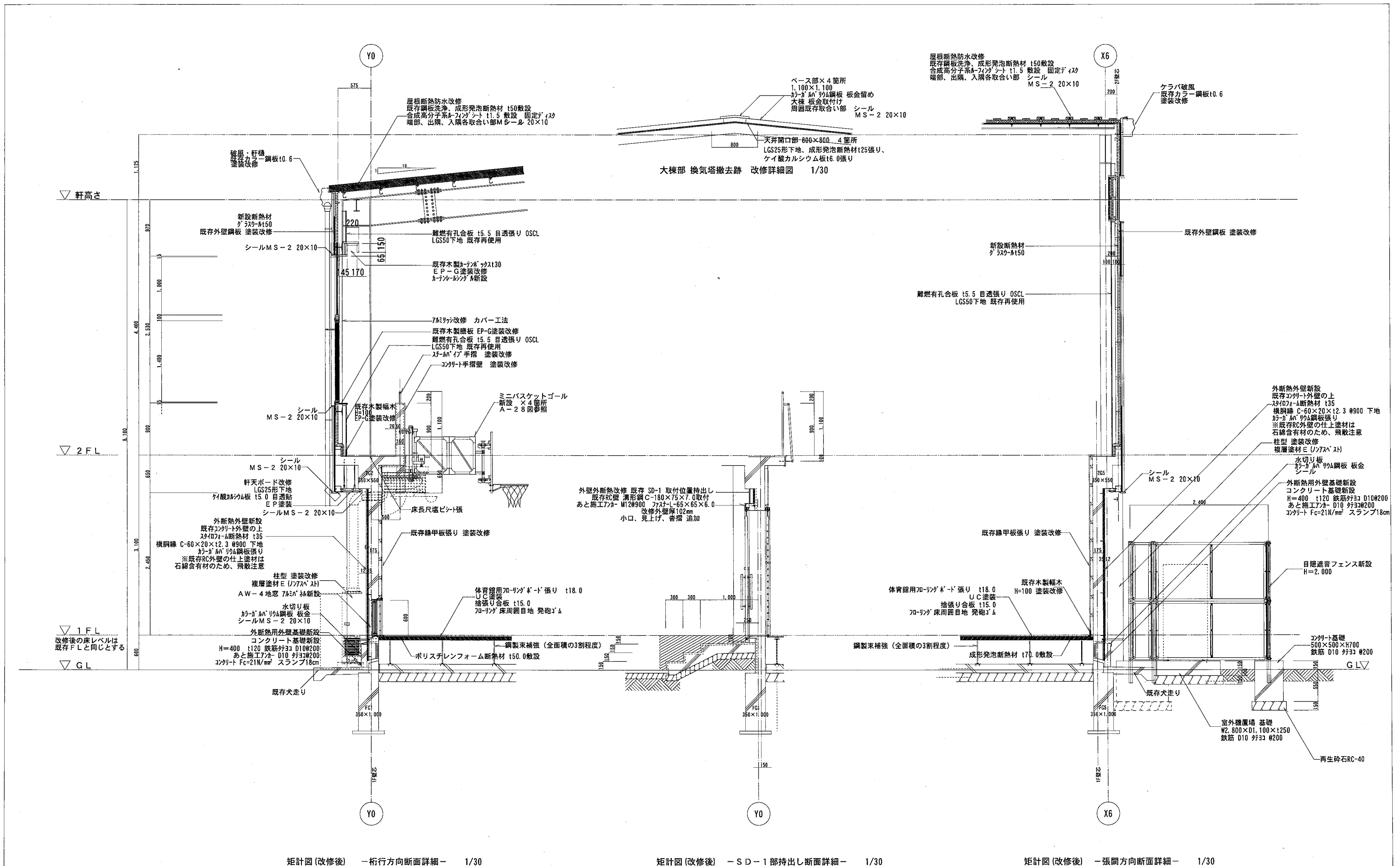


記事		東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事	縮尺 (A1) 1/100 (A3) 1/200	設計年月 令和 6年 6月
			株式会社 矢ヶ崎総合計画	図面名称 立面図 (改修前)		図面番号 A-14

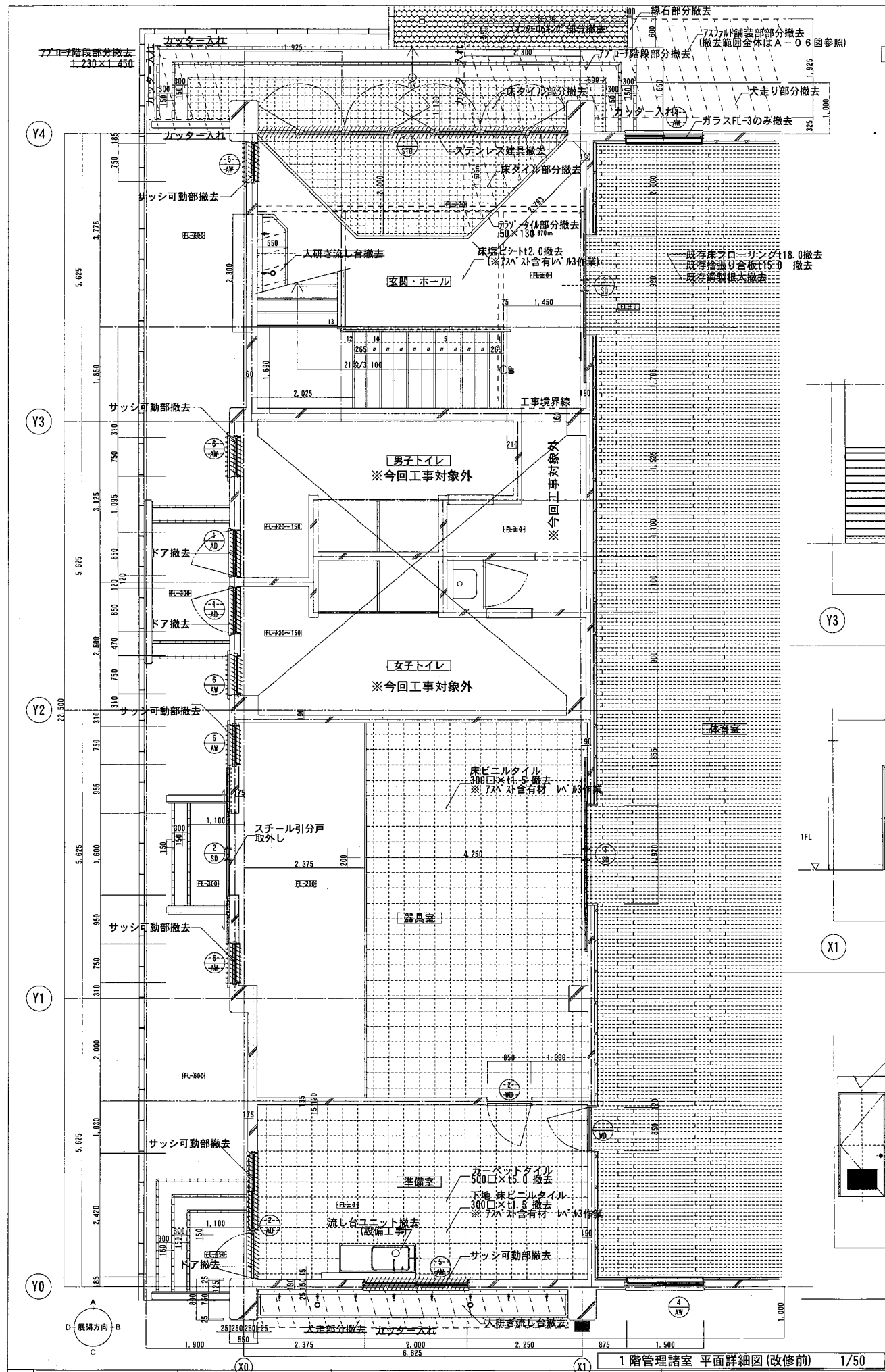


記事	東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務 株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 立面図(改修後)	縮尺 (A1) 1/100	設計年月 令和 6年 6月 図面番号 A-15
				(A3) 1/200	

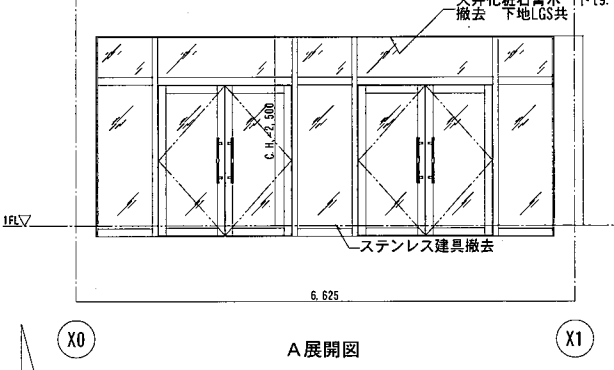




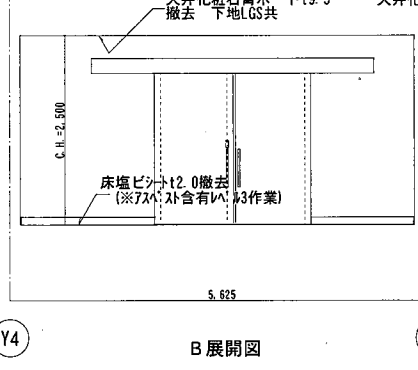
記事	東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務 株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 矩計図（改修後）	縮尺 (A1) 1/30 (A3) 1/60	設計年月 令和 6年 6月 図面番号 A-17



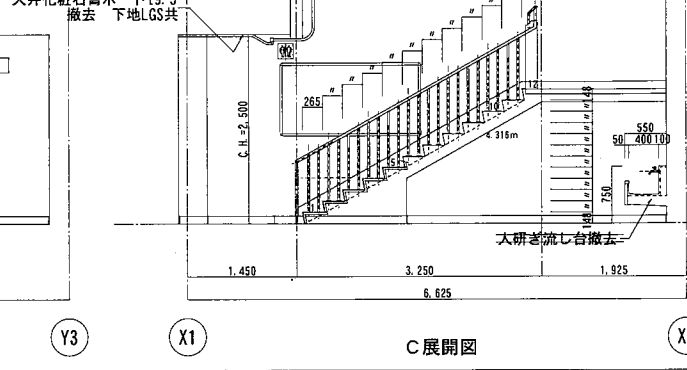
玄関・ホール 展開図 (改修前) 1/50



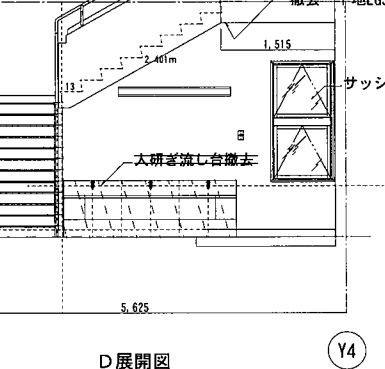
天井化粧石膏ボードt9.5 撤去 下地LGS共



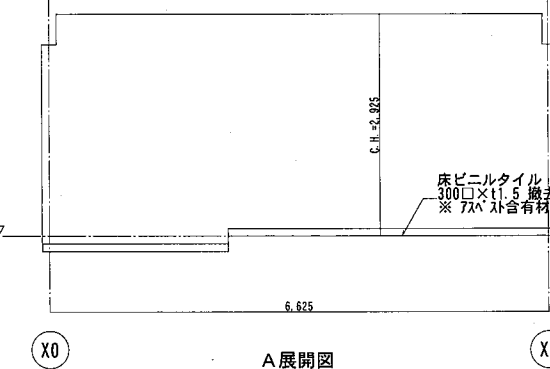
天井化粧石膏ボードt9.5 撤去 下地LGS共



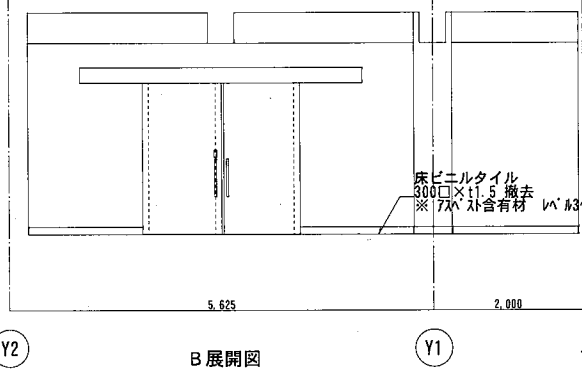
天井化粧石膏ボードt9.5 撤去 下地LGS共



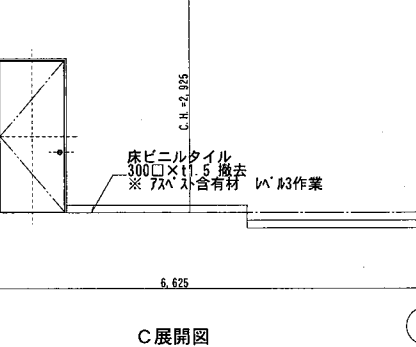
器具室 展開図 (改修前) 1/50



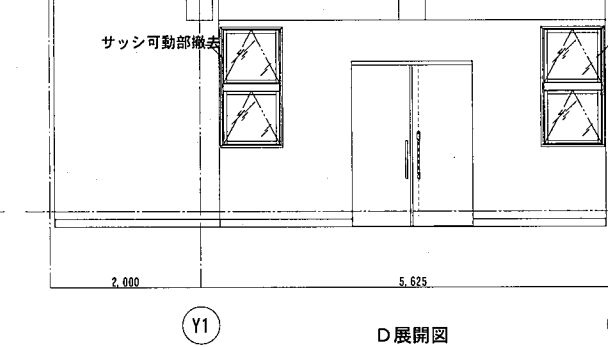
天井化粧石膏ボードt9.5 撤去 下地LGS共



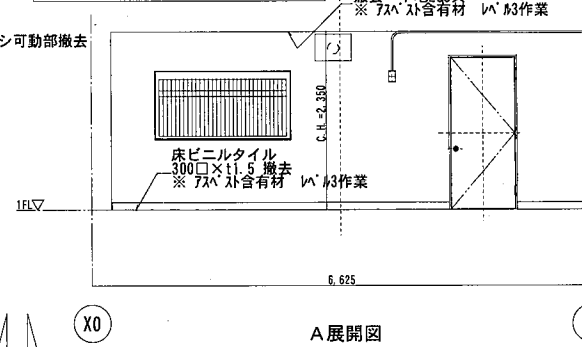
天井化粧石膏ボードt9.5 撤去 下地LGS共



天井化粧石膏ボードt9.5 撤去 下地LGS共



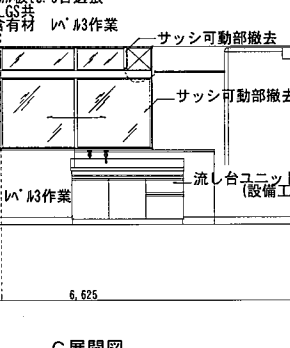
準備室 展開図 (改修前) 1/50



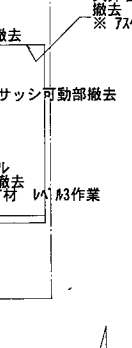
天井化粧石膏ボードt9.5 撤去 下地LGS共



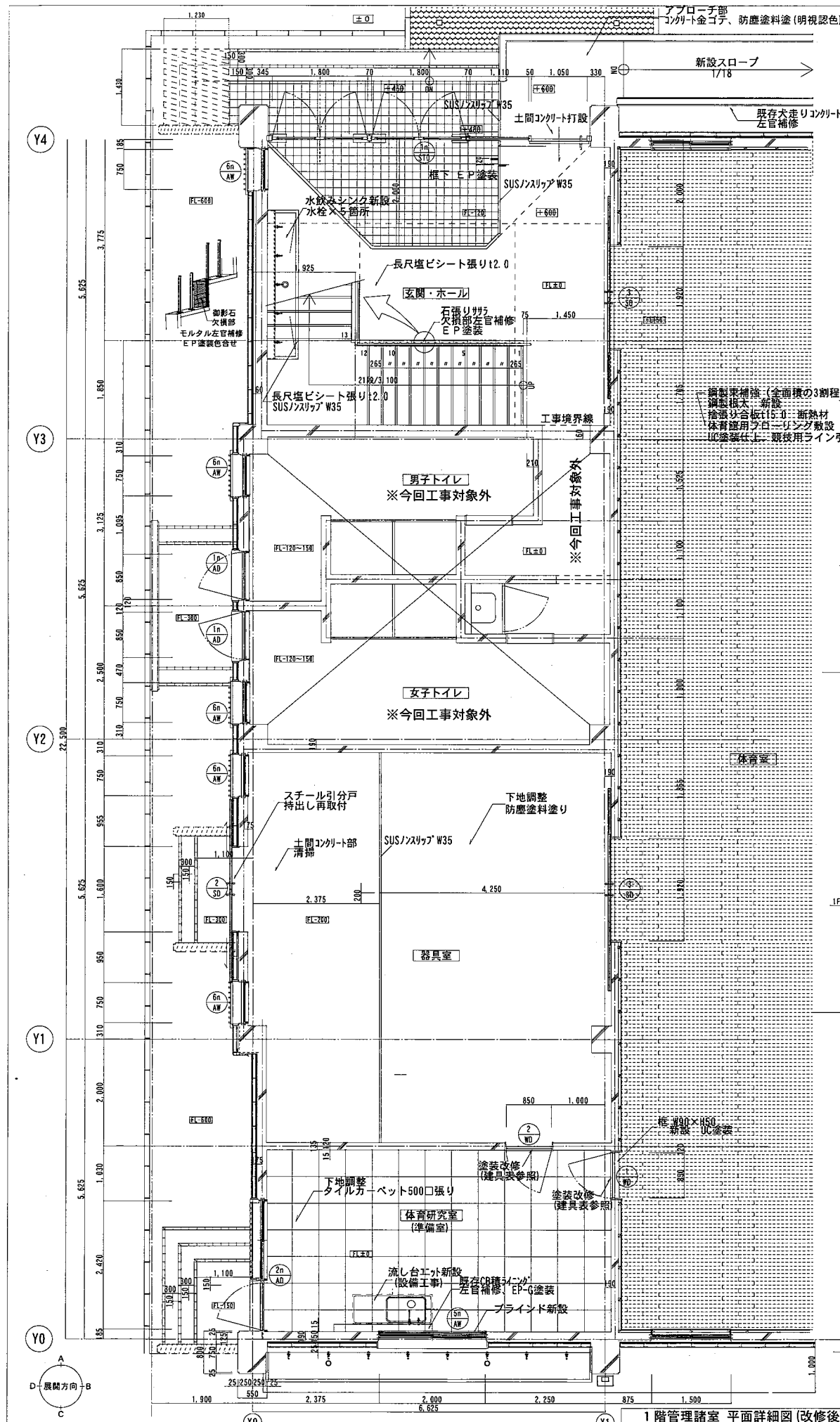
天井化粧石膏ボードt9.5 撤去 下地LGS共



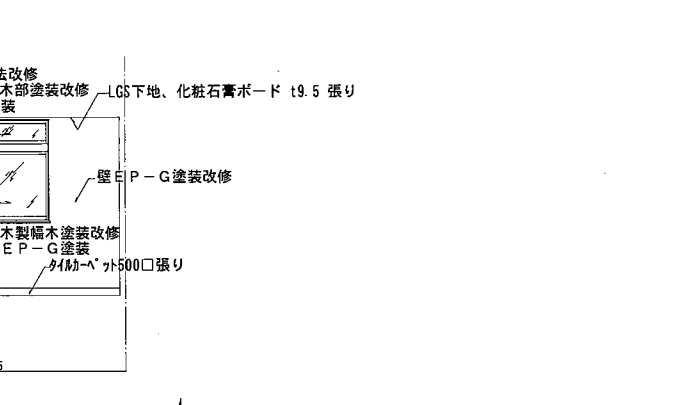
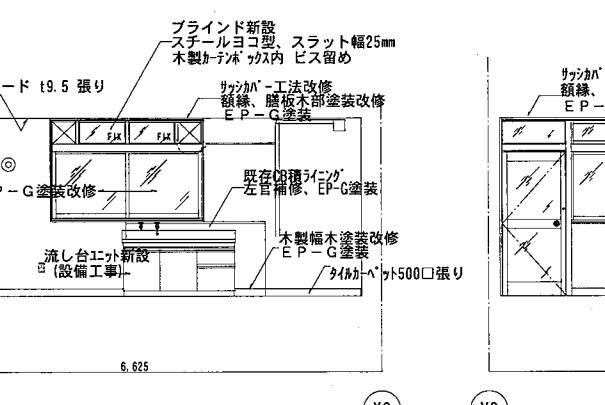
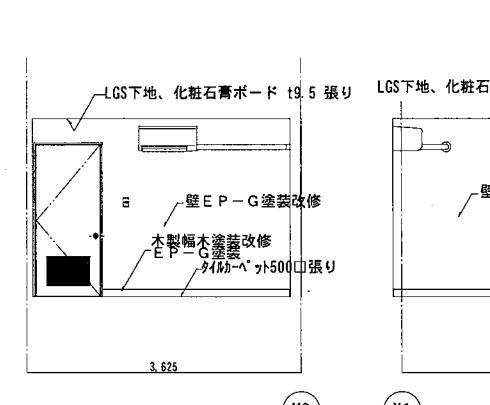
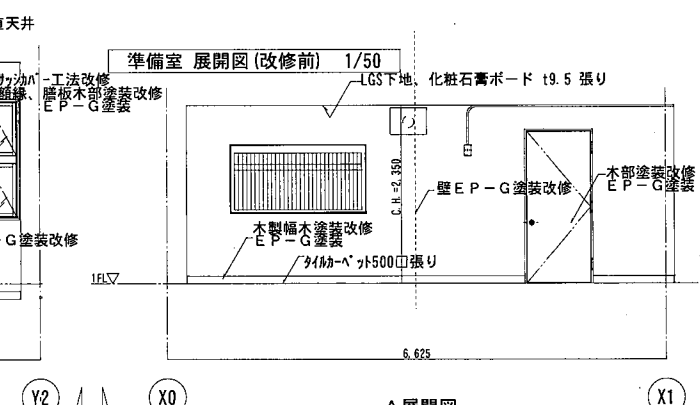
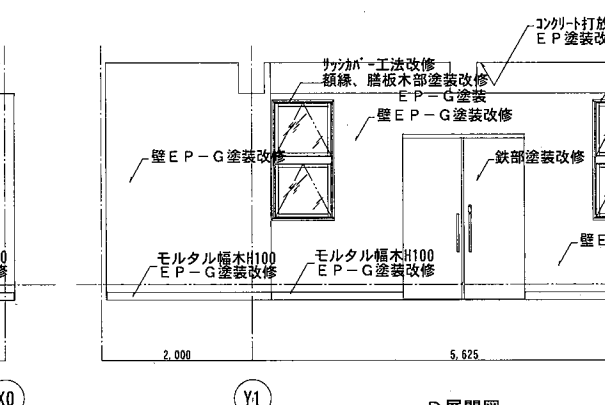
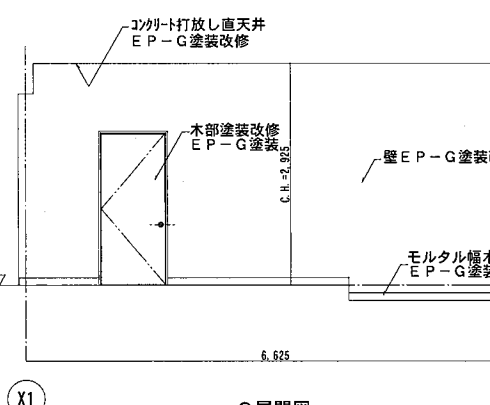
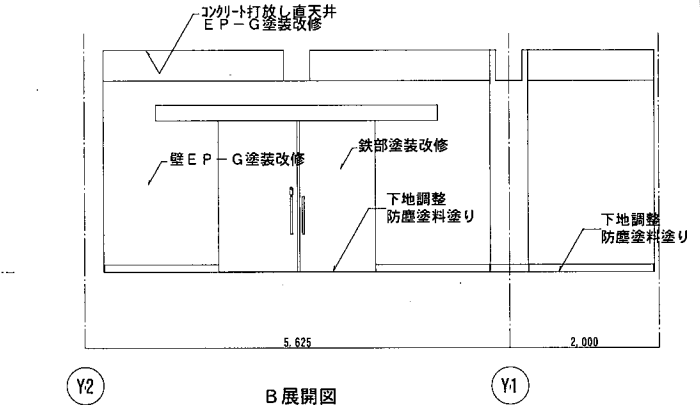
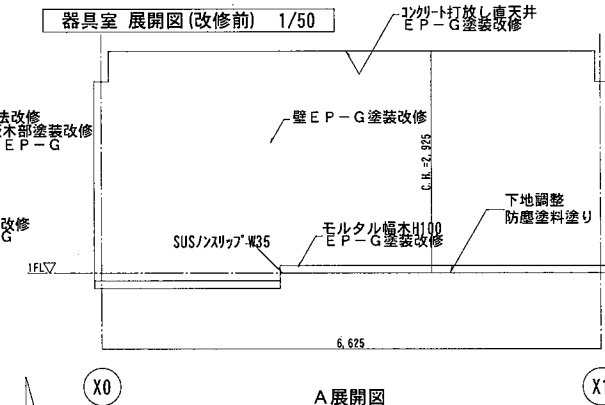
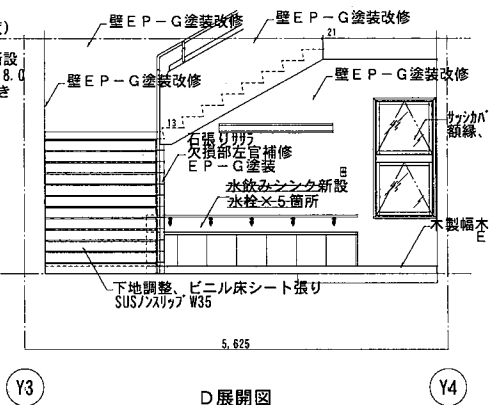
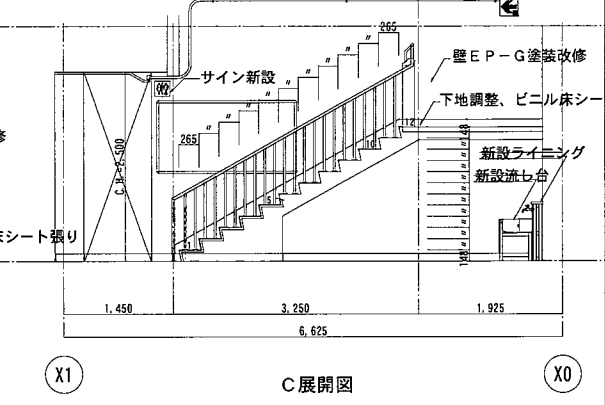
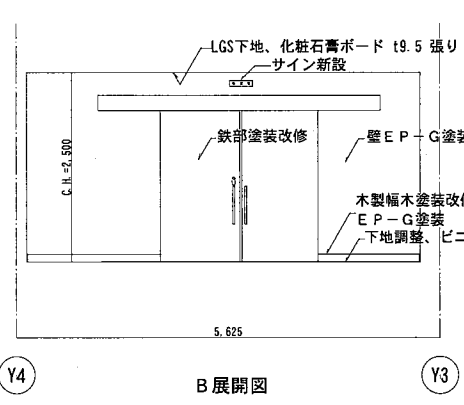
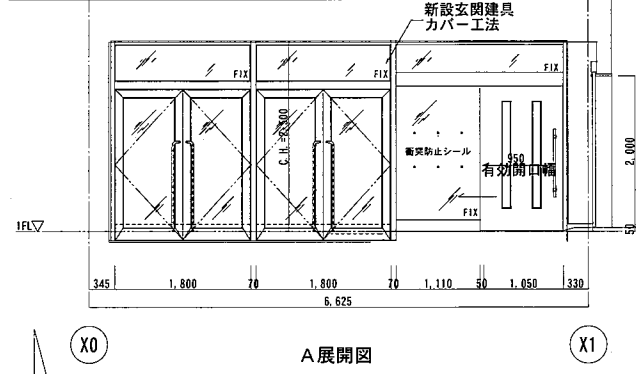
天井化粧石膏ボードt9.5 撤去 下地LGS共







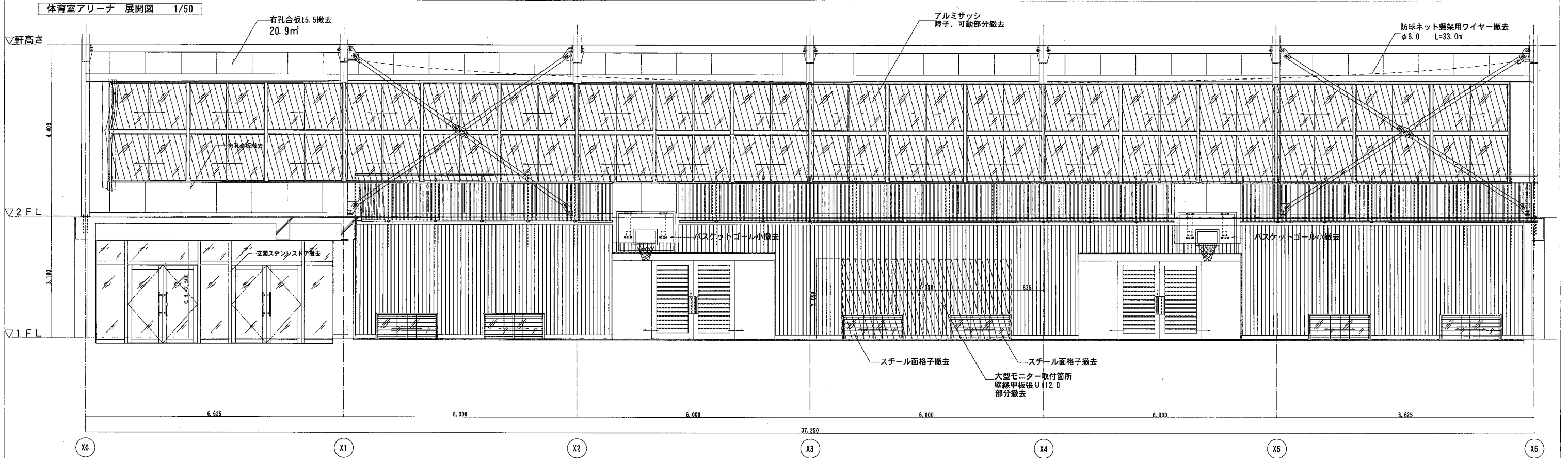
玄関・ホール 展開図 (改修前) 1/50



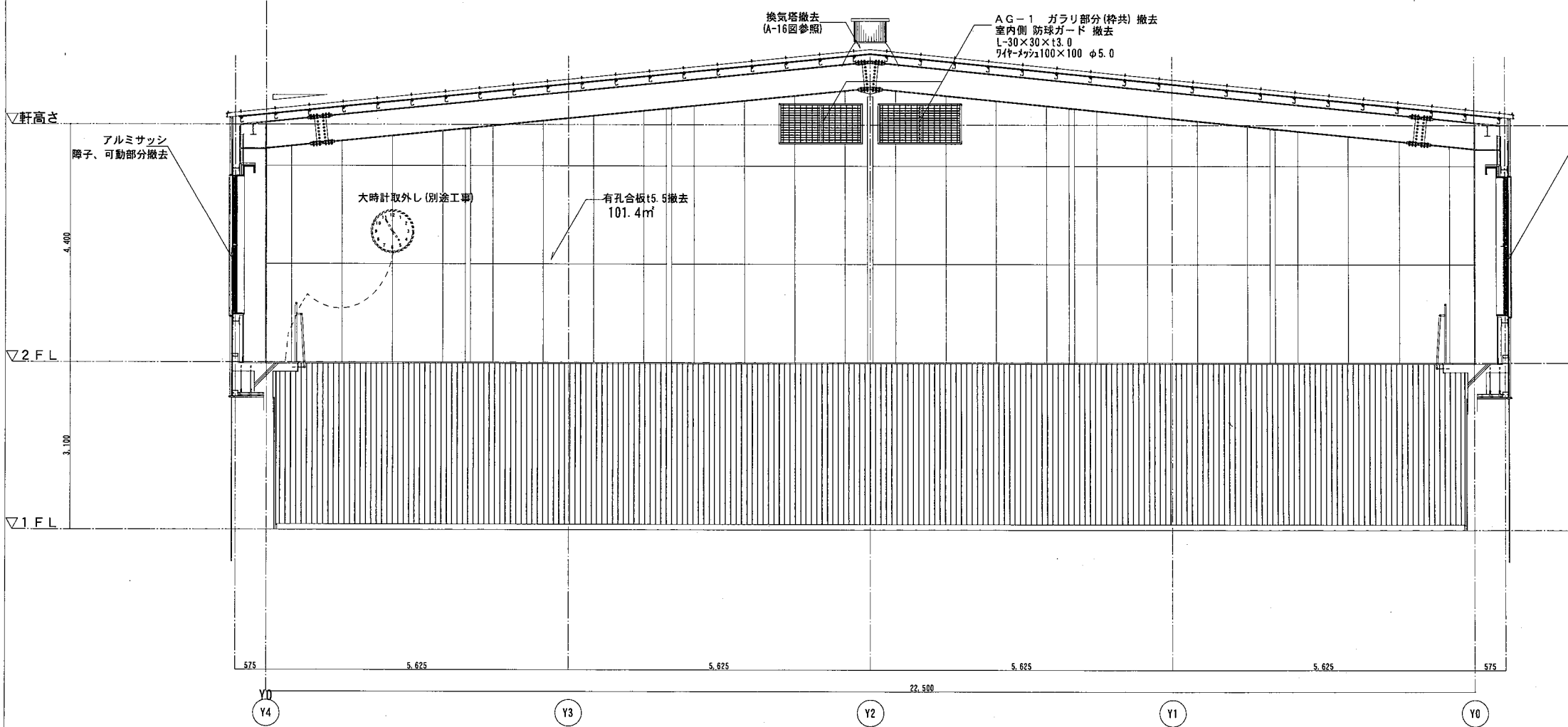
1階管理諸室 平面詳細図 (改修後) 1/50

記事	東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務 株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 1階管理諸室 平面詳細図・展開図 (改修後)	縮尺 (A1) 1/50 (A3) 1/100	設計年月 令和 6年 6月
					図面番号 A-19



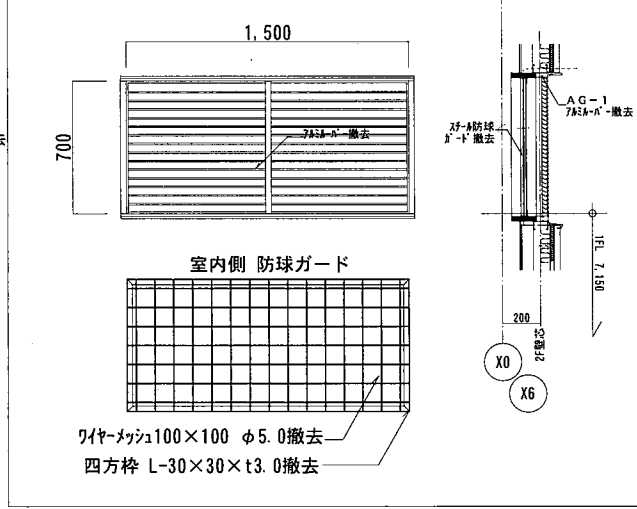


A 展開図

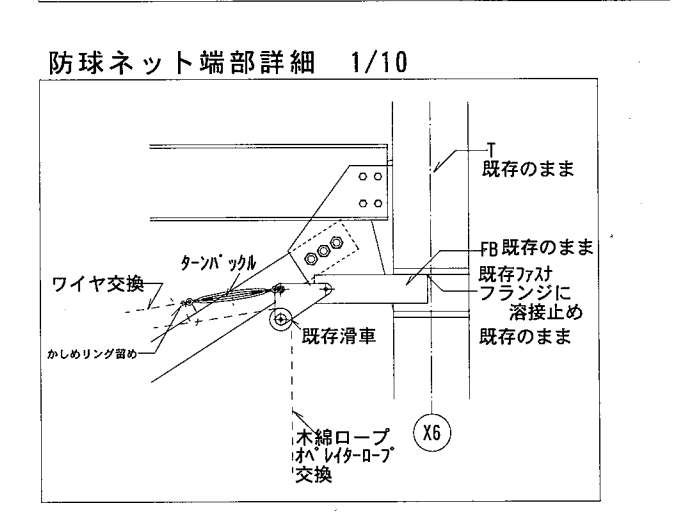
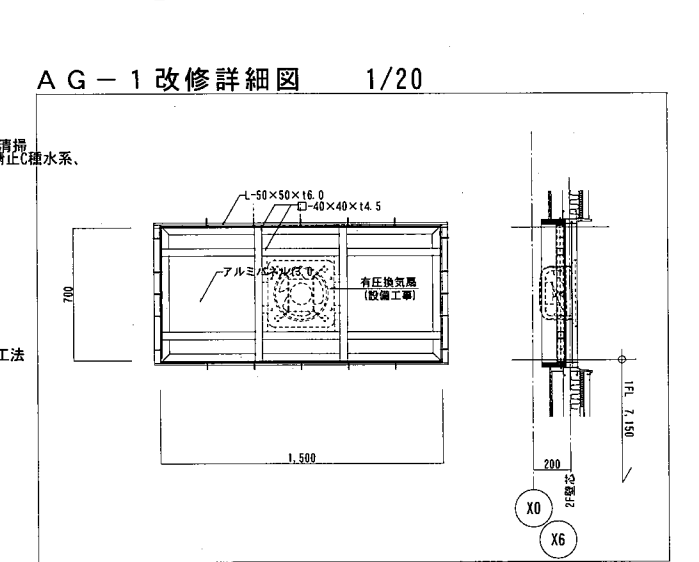
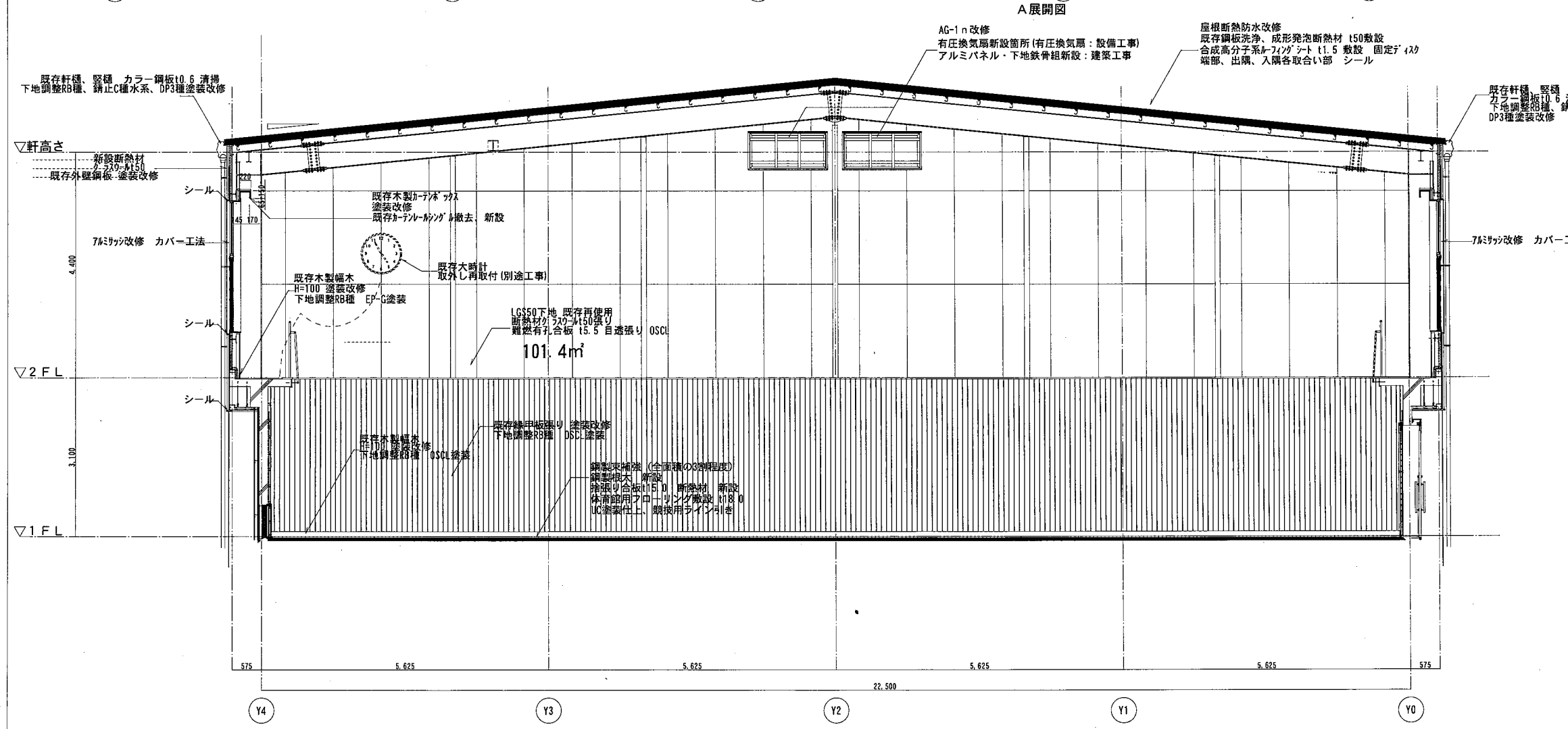
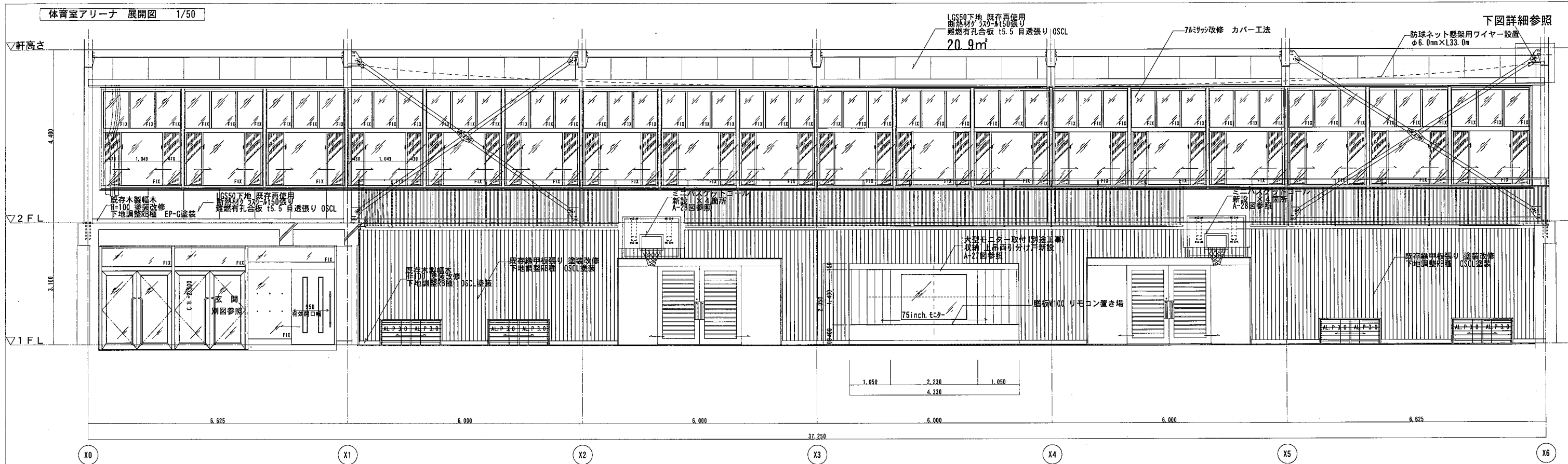


B 展開図

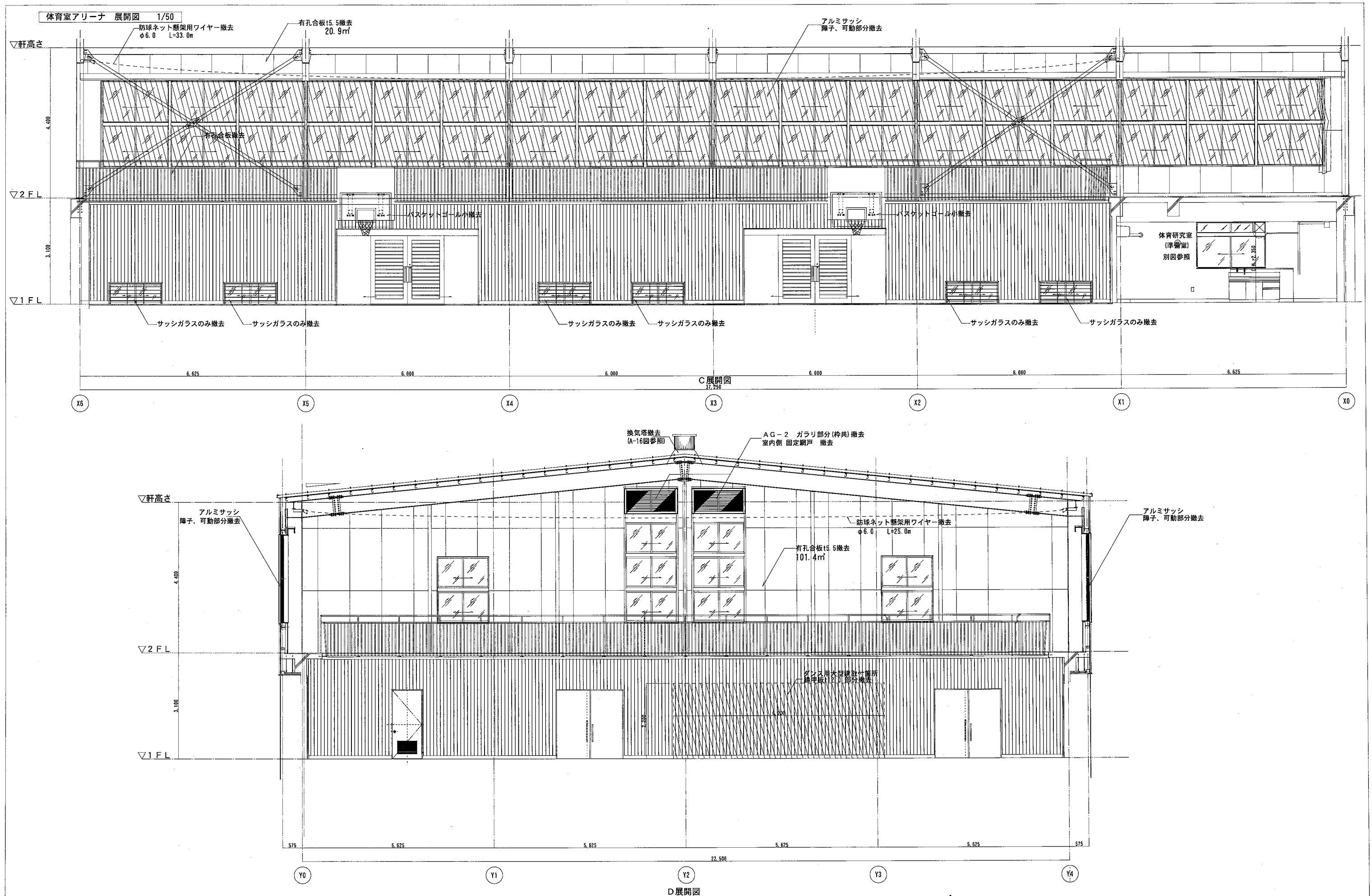
AG-1 撤去詳細図 1/20



記事	東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務 株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 体育室 展開図 1 (改修前)	縮尺 (A1) 1/50 (A3) 1/100	設計年月 令和 6年 6月 図面番号 A-20

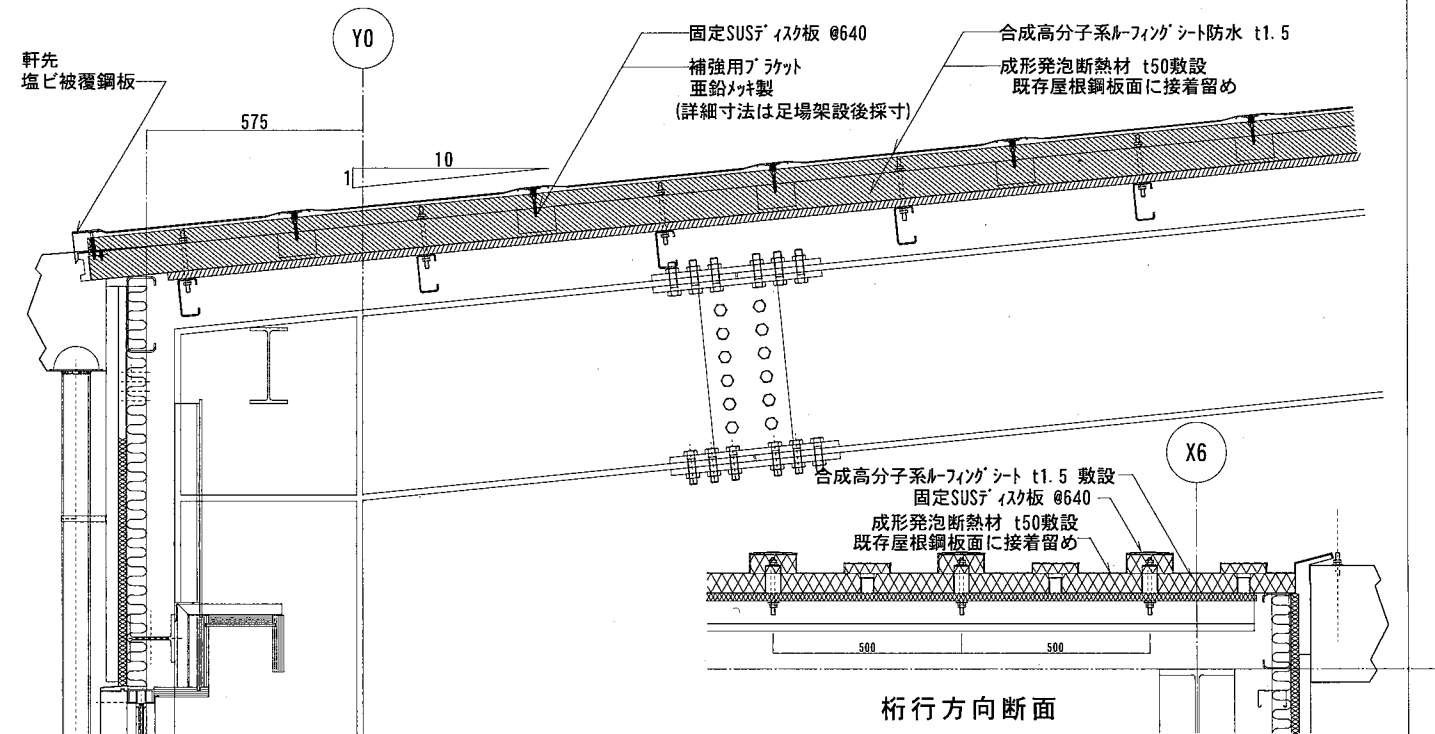


記事	東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務 株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 体育室 展開図 1 (改修後)	縮尺 1/10・1/20 (A1) 1/50 (A3) 1/20・1/40 1/100	設計年月 令和 6年 6月 図面番号 A-21

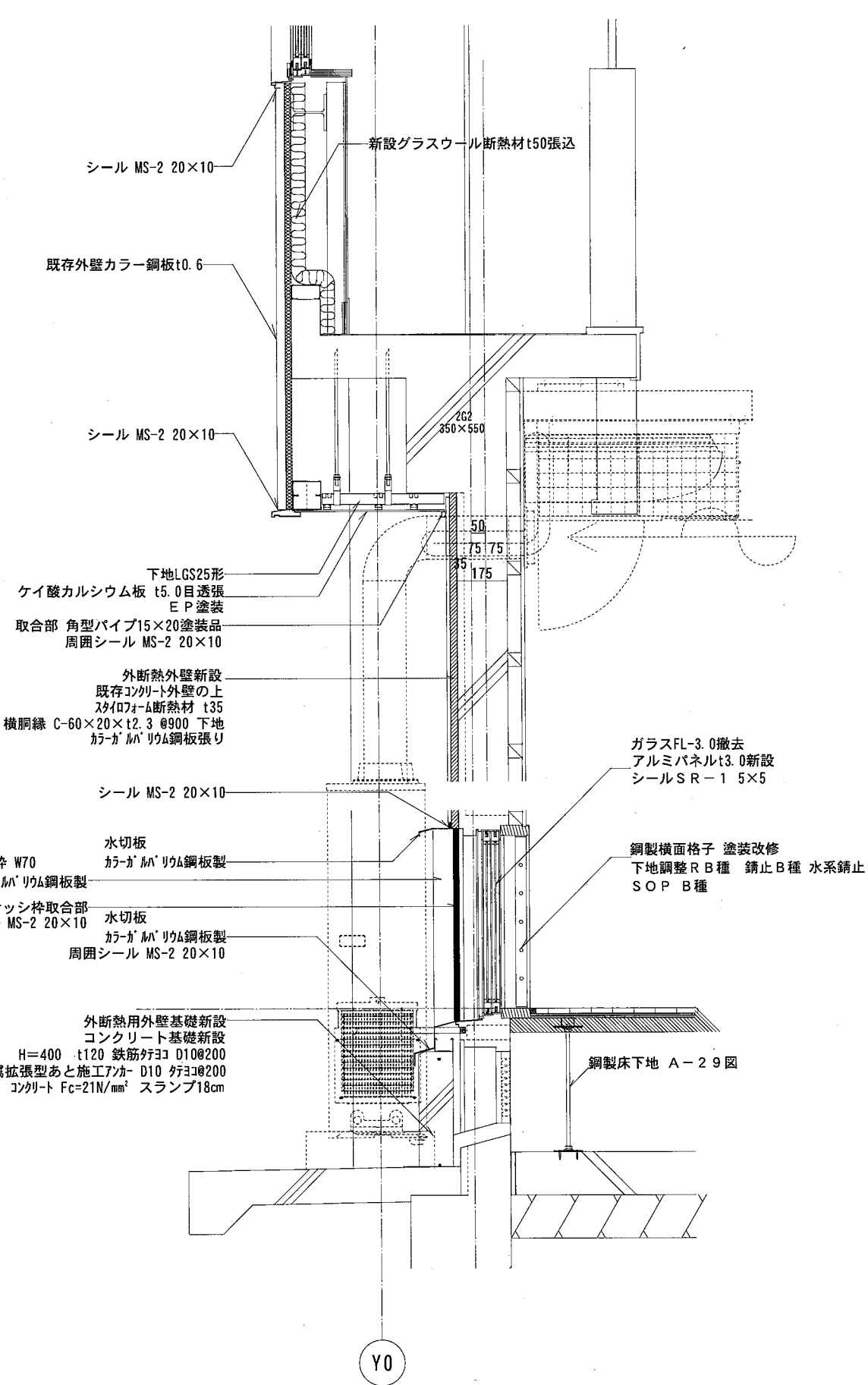
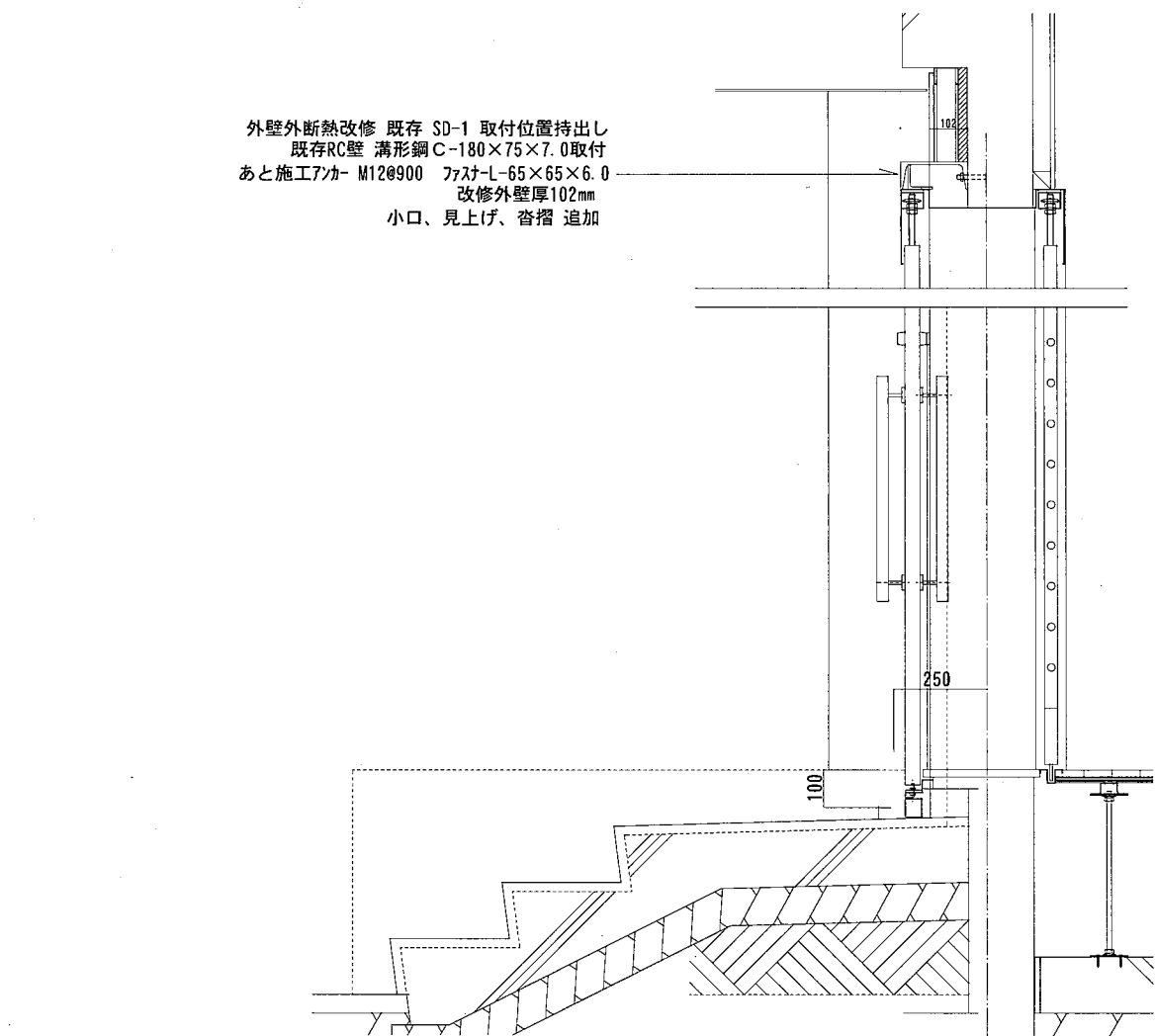


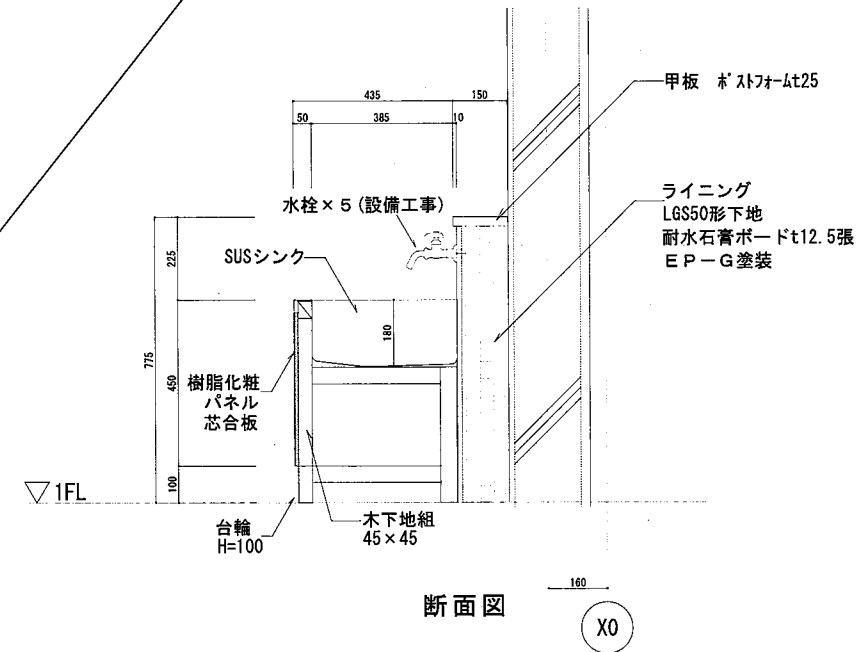
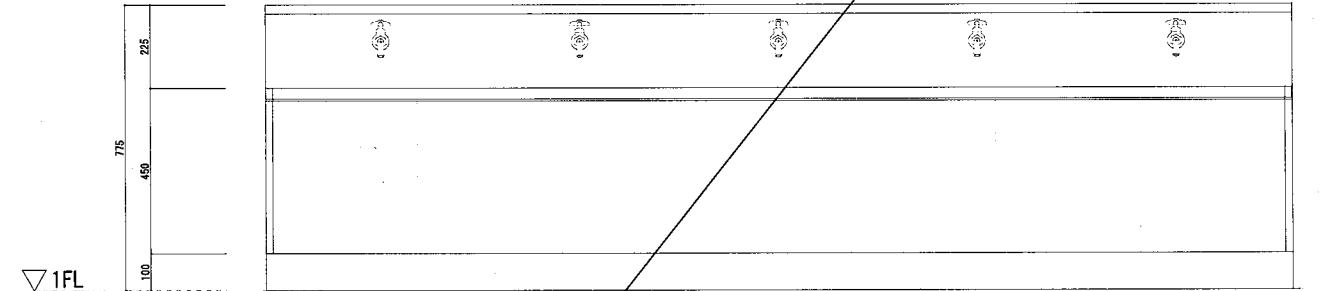
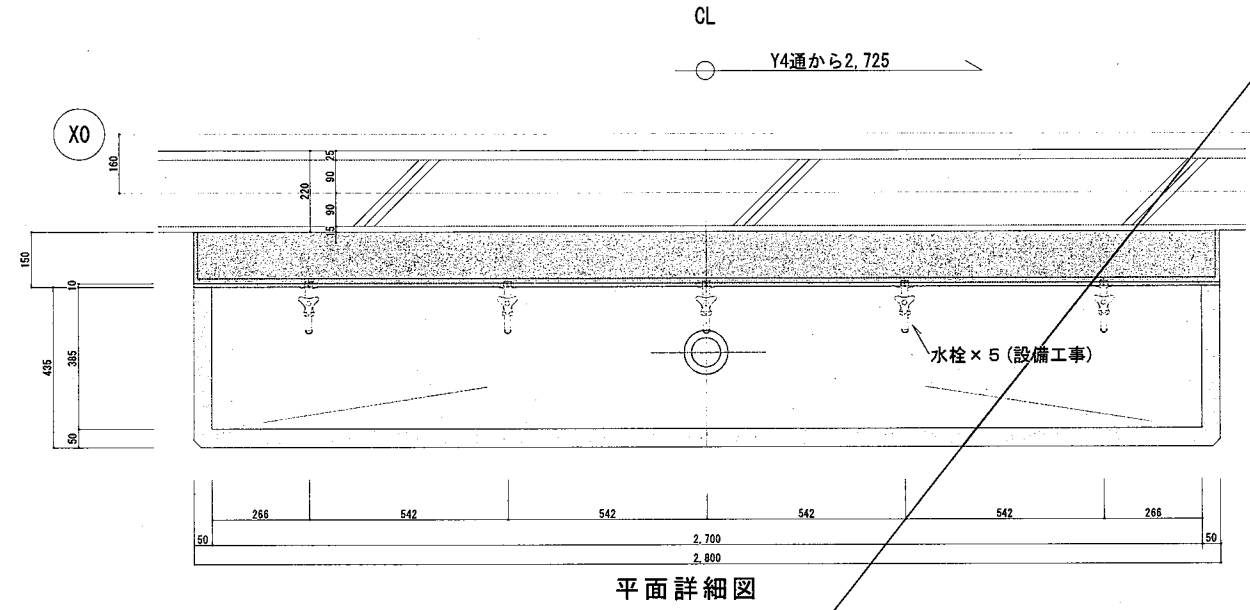
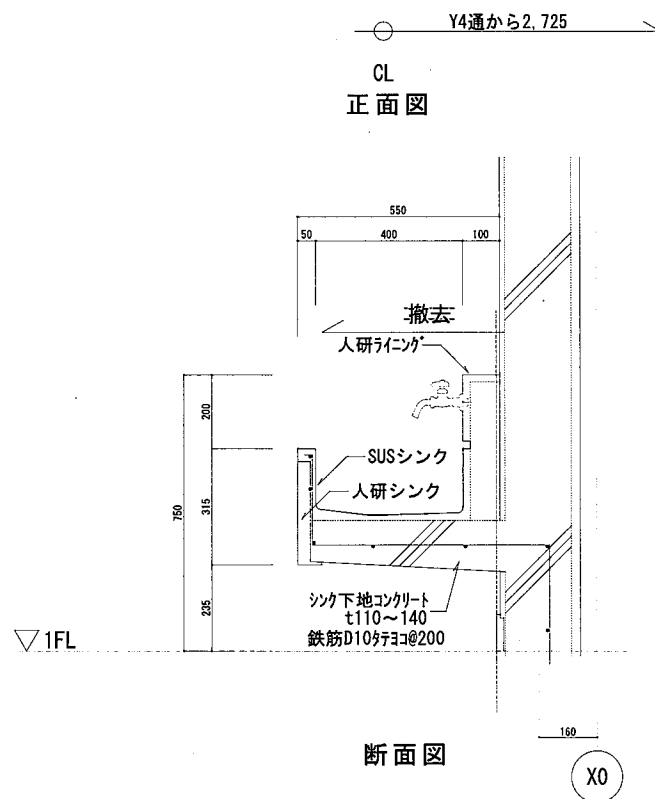
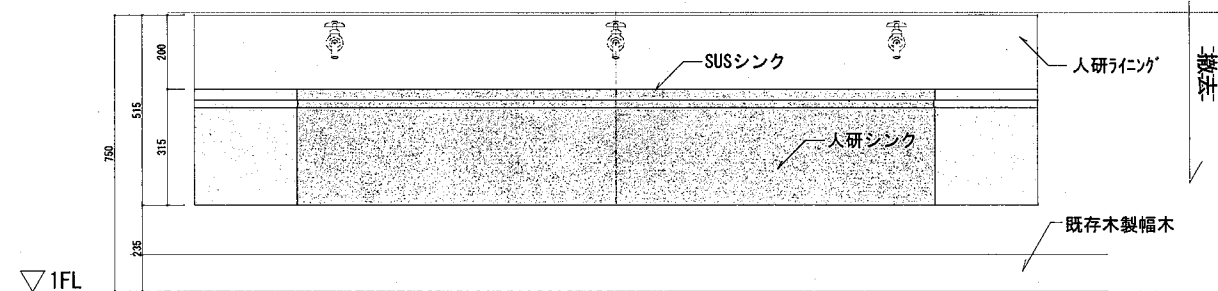
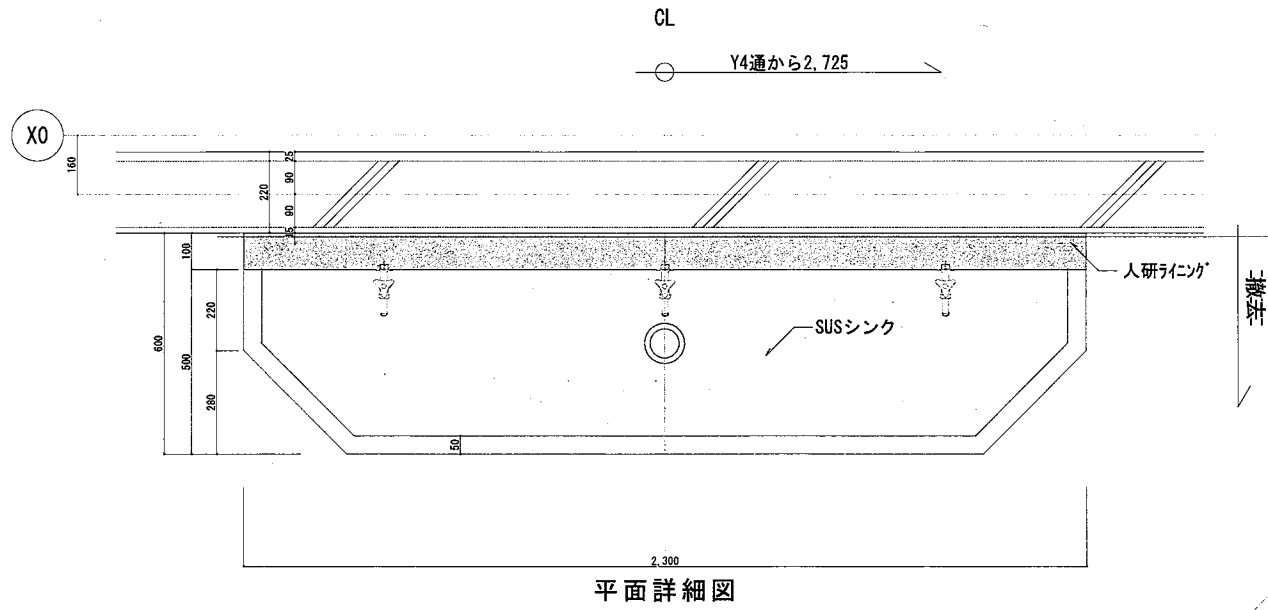
記事		東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務 株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 体育室 展開図2 (改修前)	縮尺 (A1) 1/50 (A3) 1/100	設計年月 令和 6年 6月
						図面番号 A-22



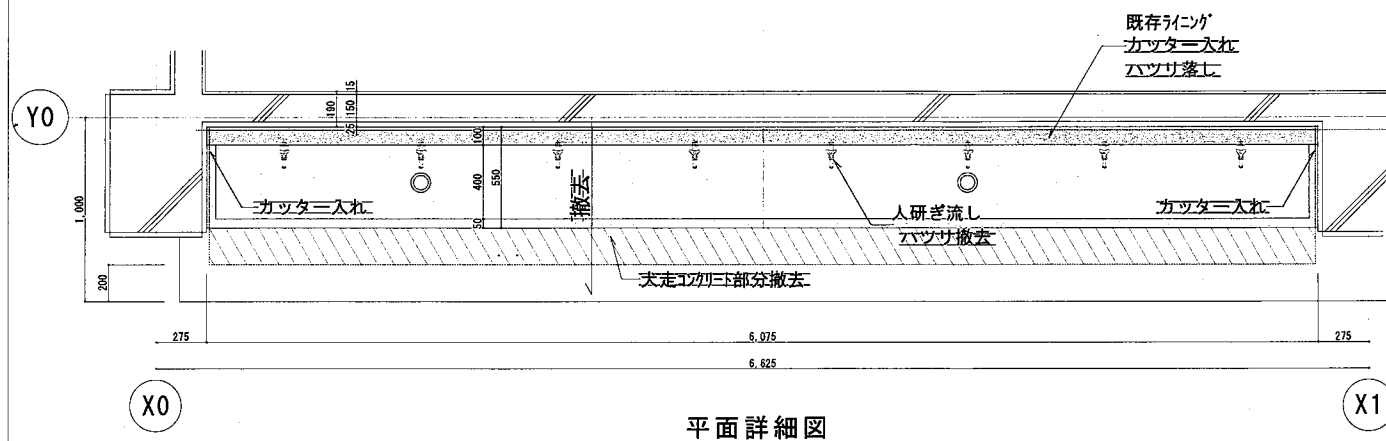


外壁外断熱改修 S D - 1 持出し詳細図 1/10

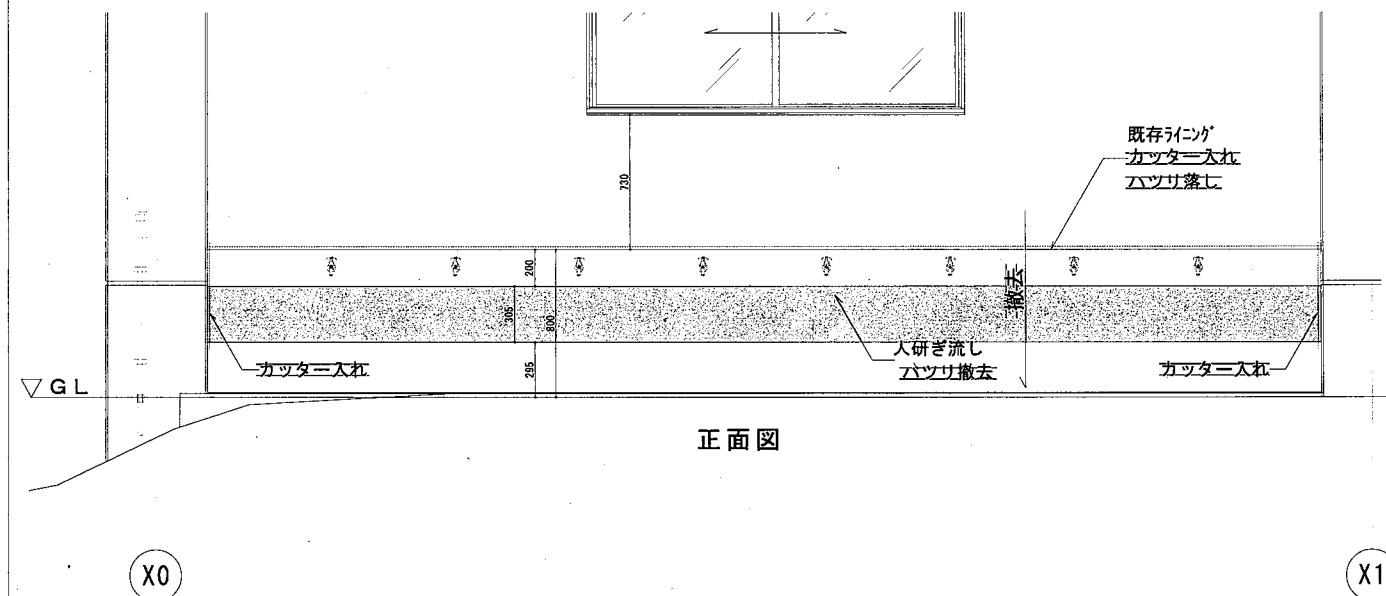




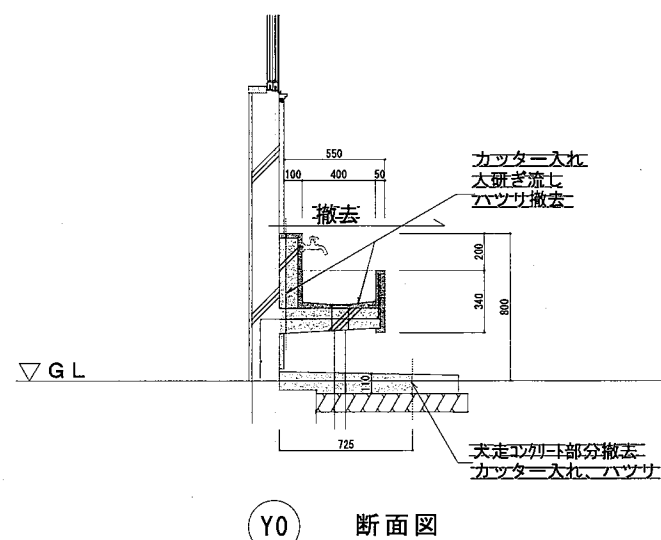




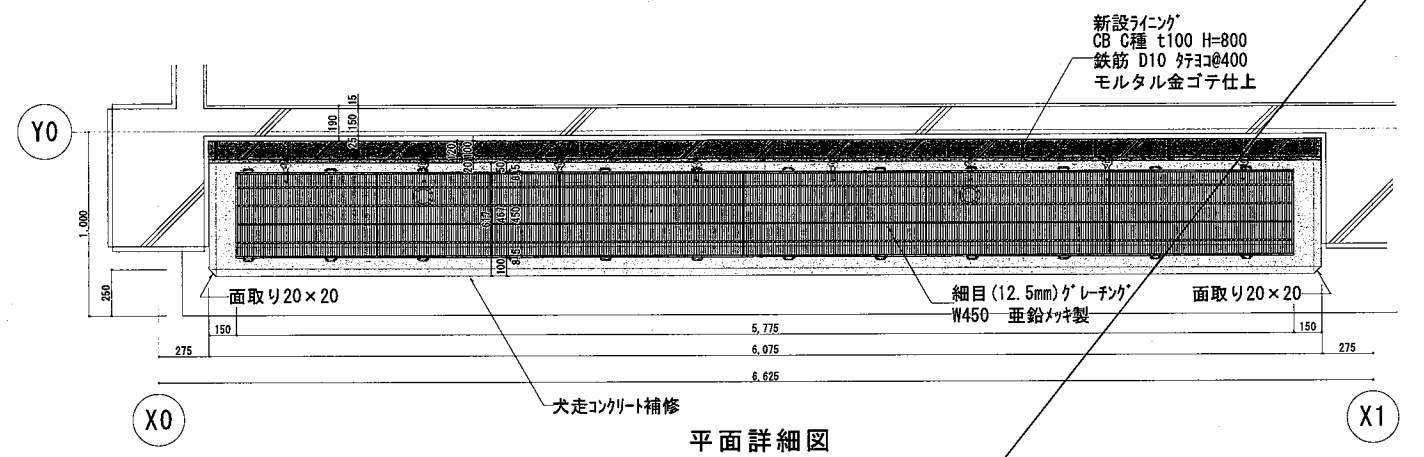
平面詳細図



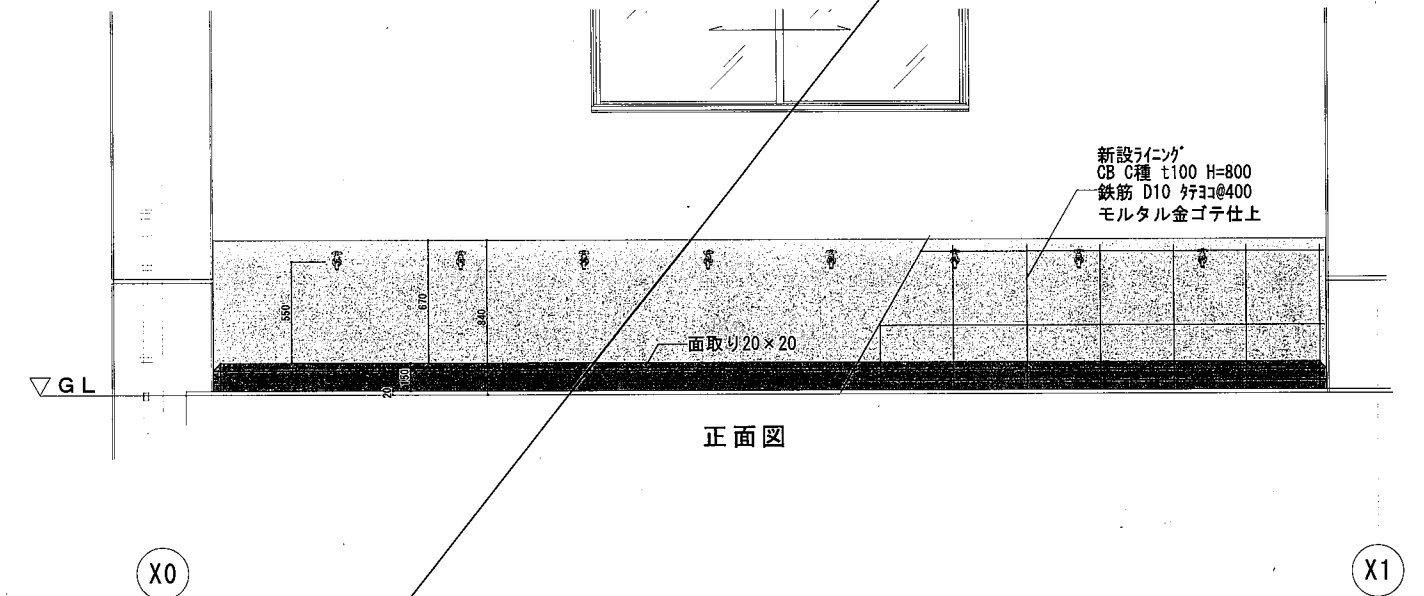
正面図



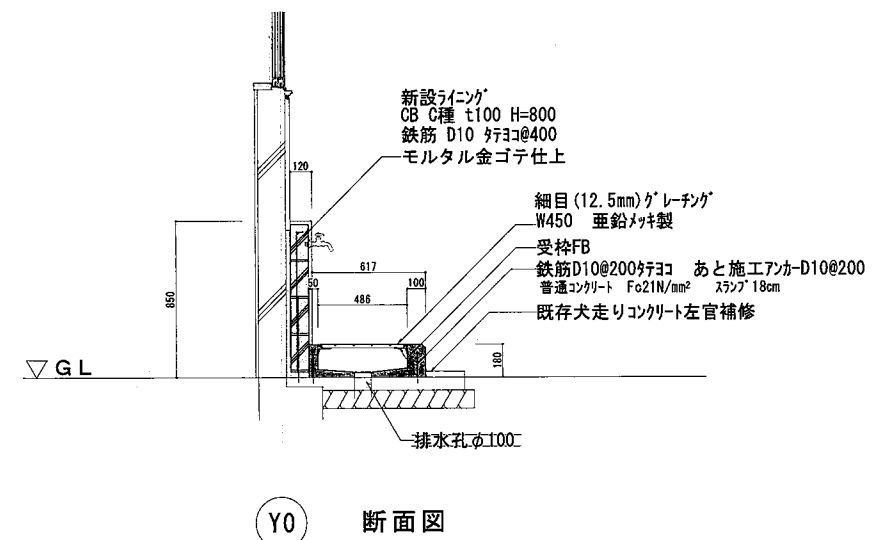
断面図



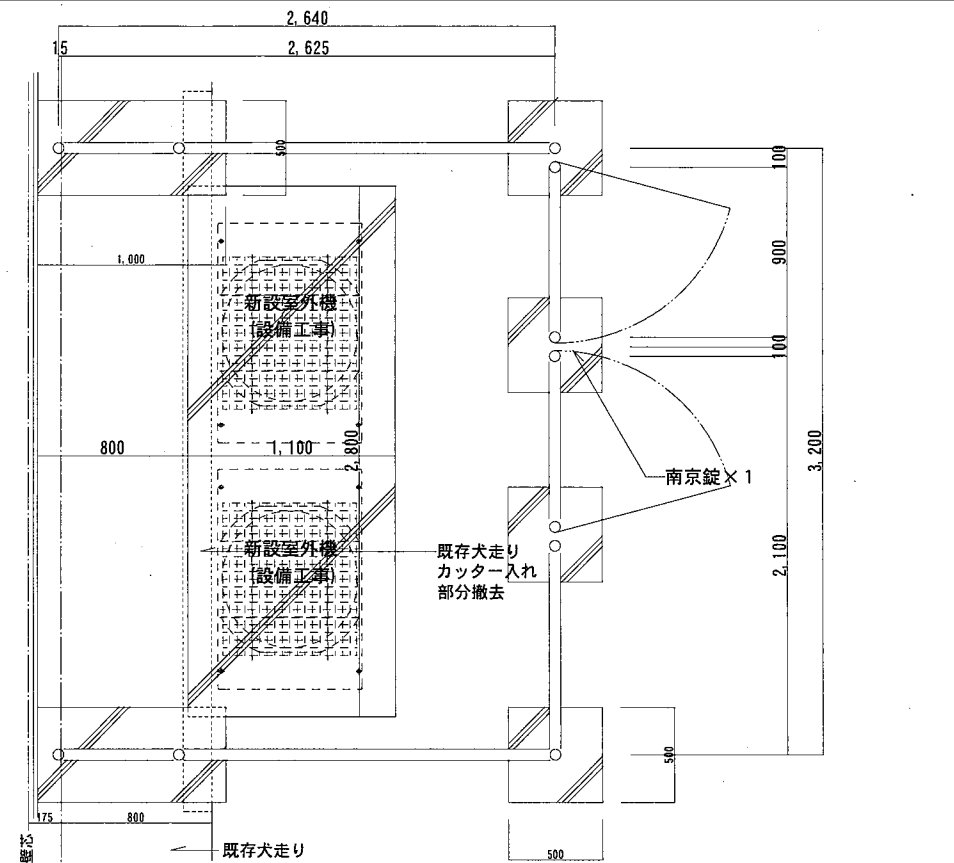
平面詳細図



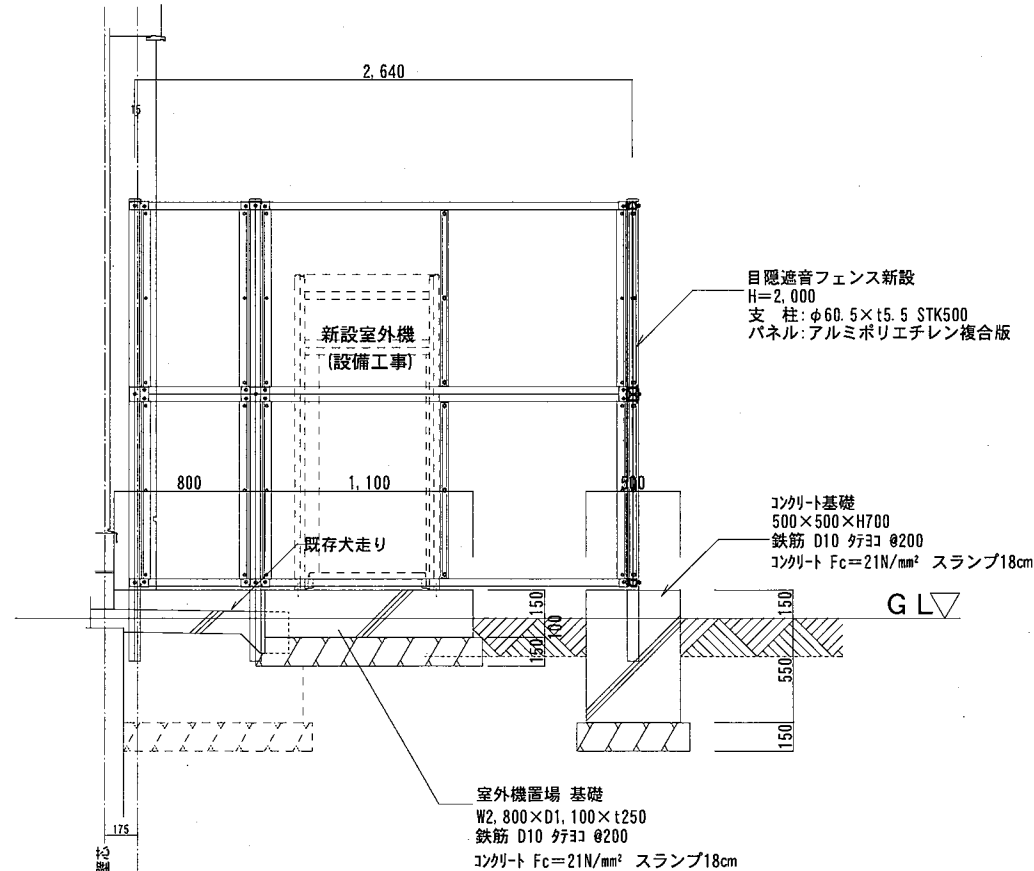
正面図



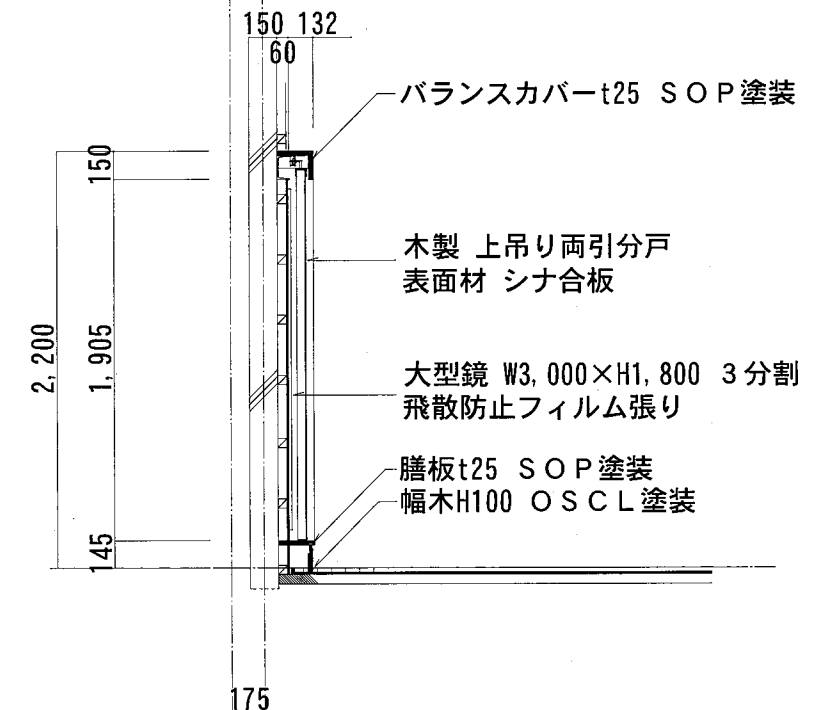
断面図



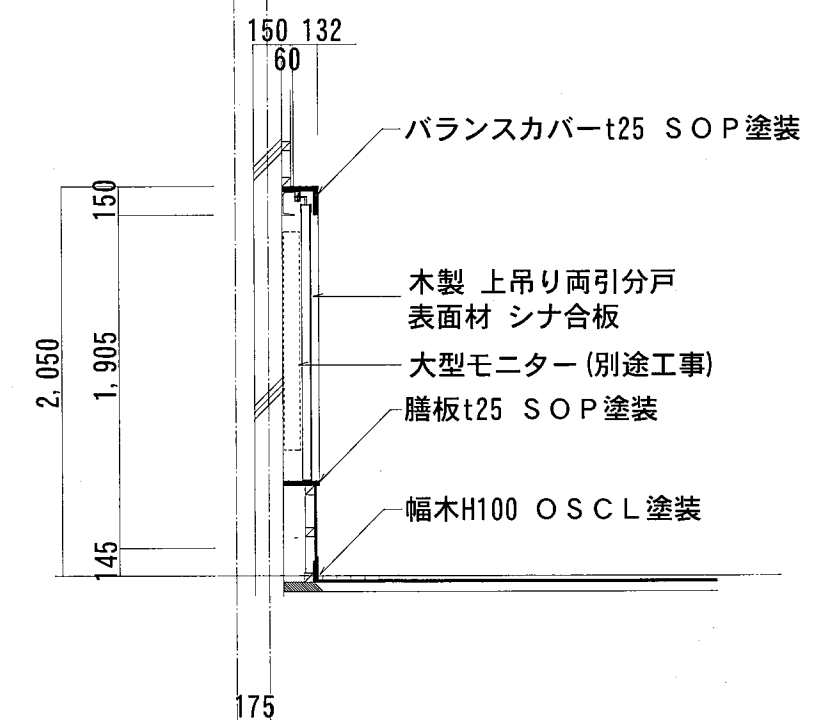
X6



X6

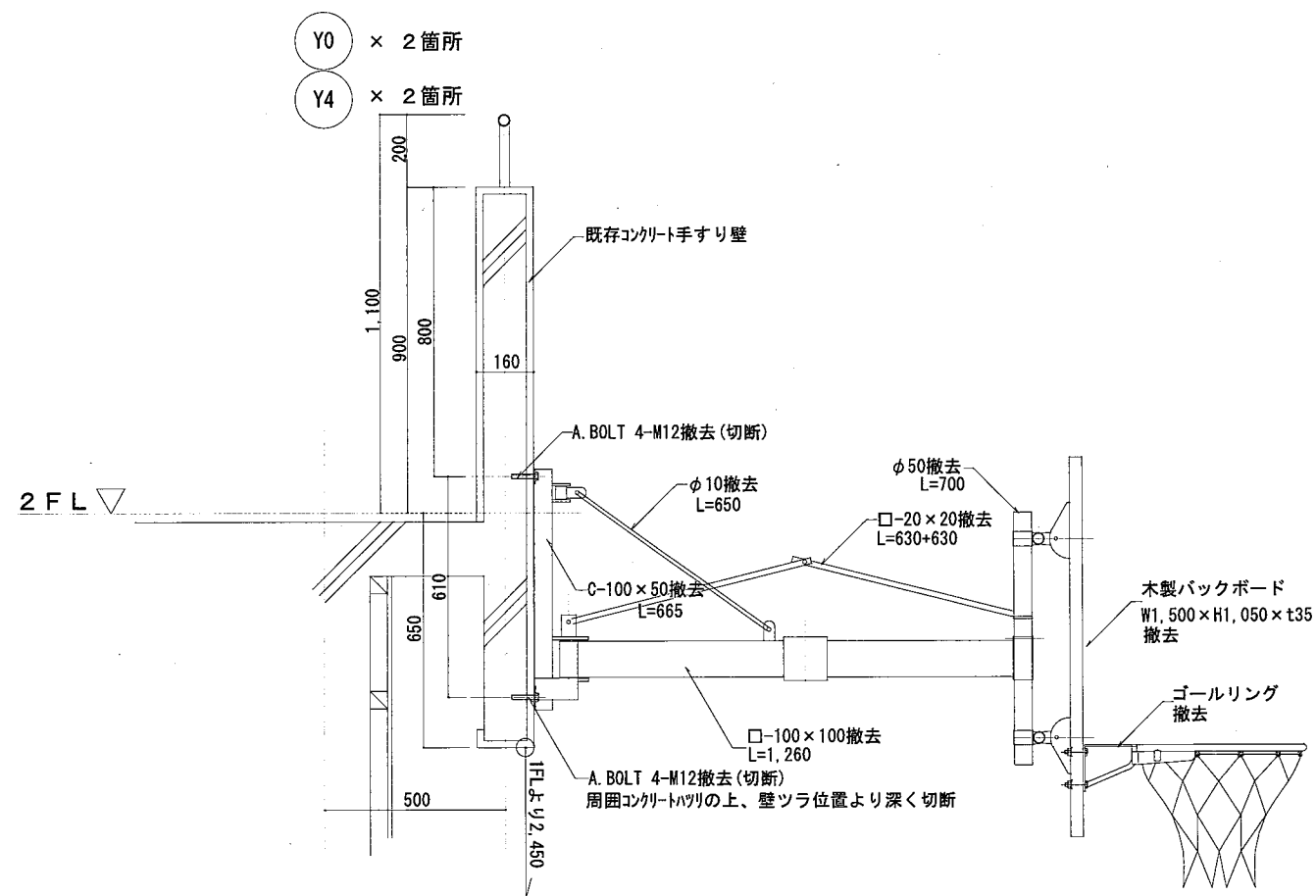
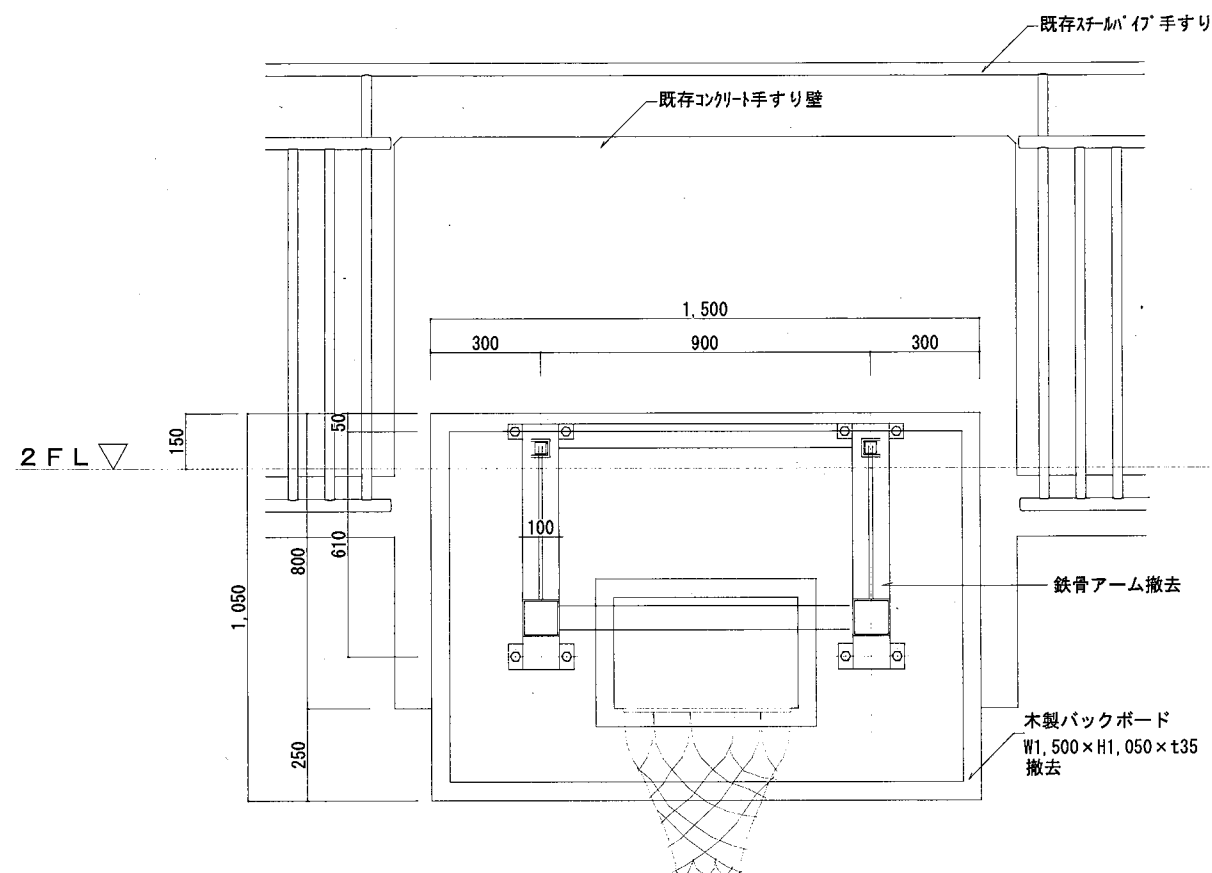


X1



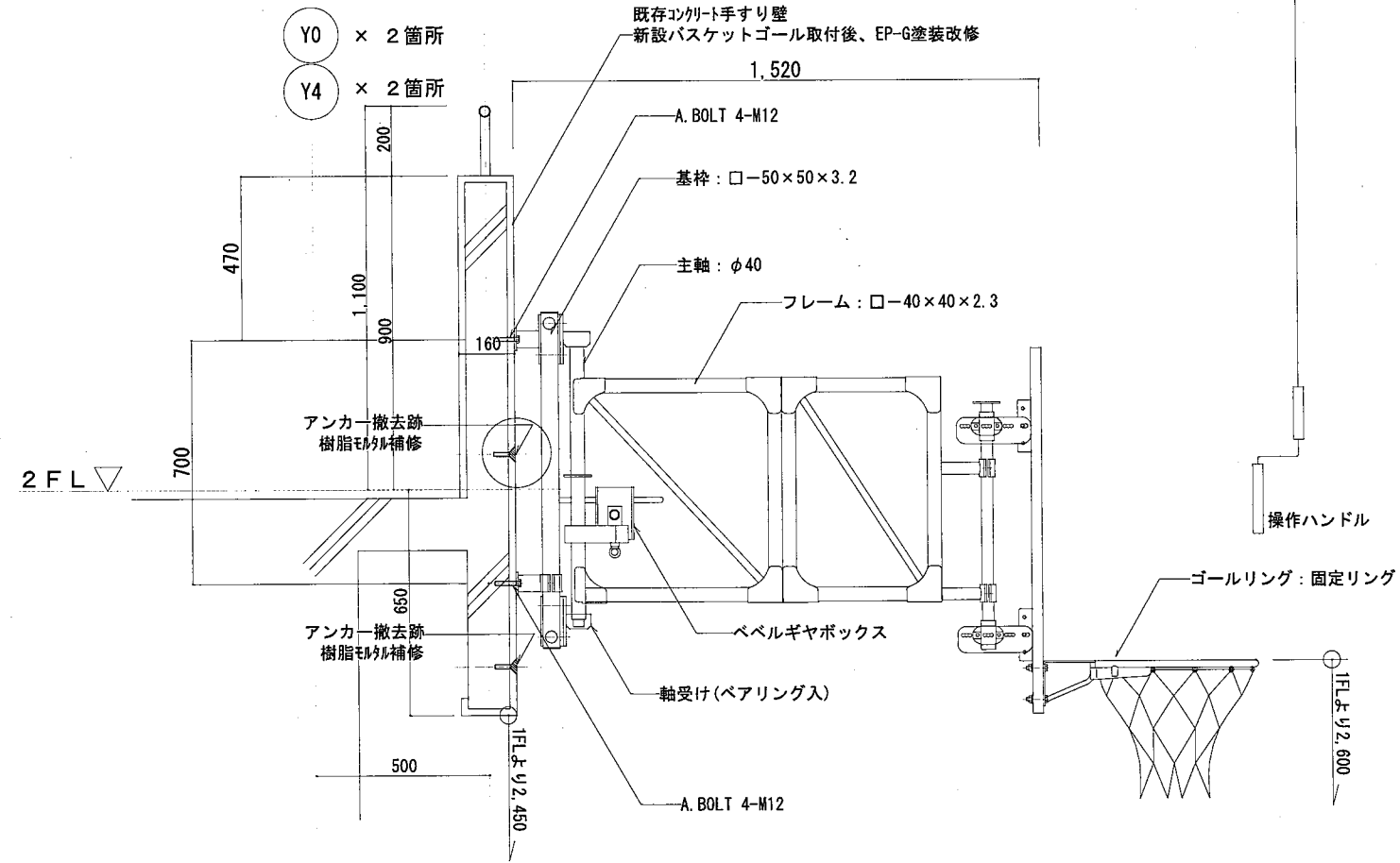
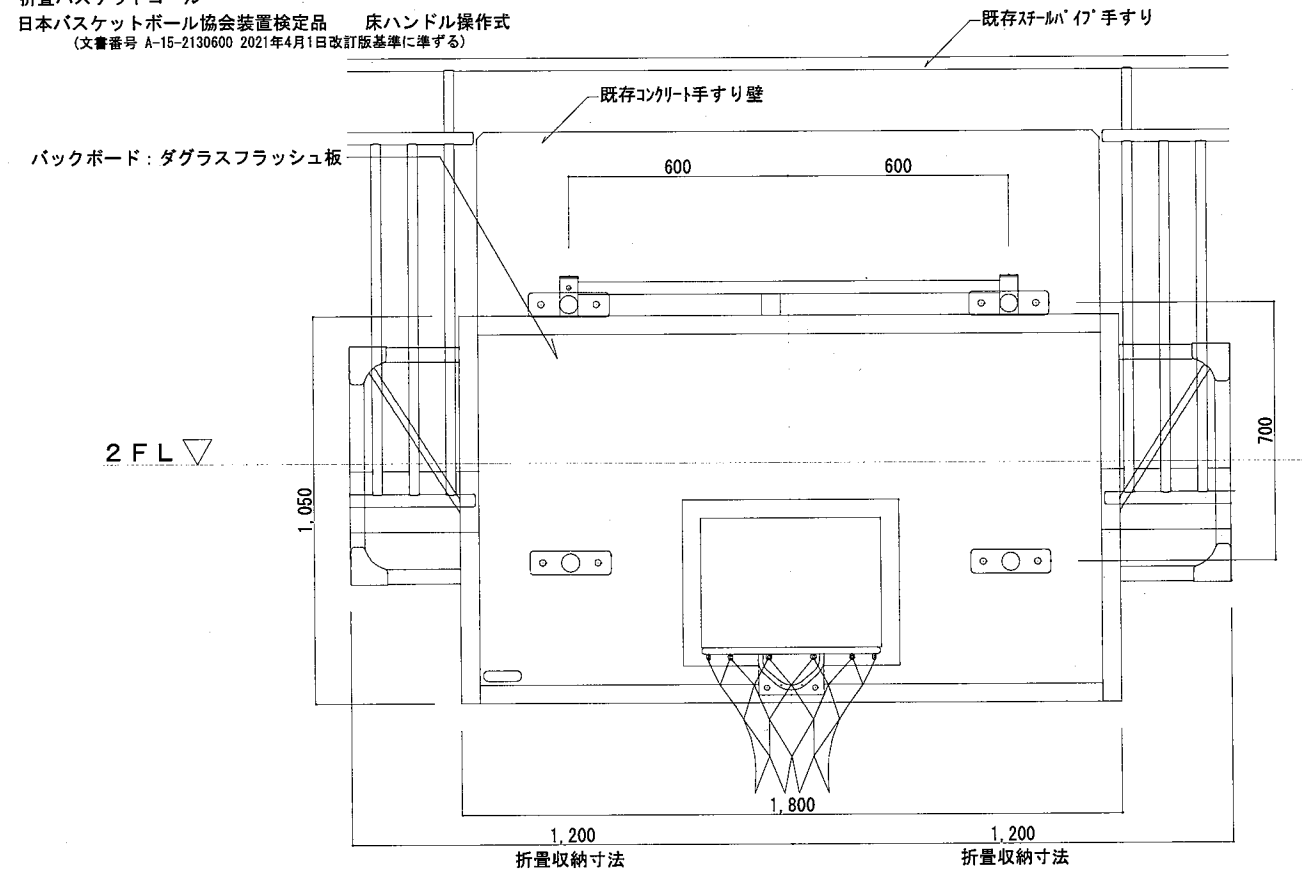
Y4

既存ミニバスケットゴール 撤去詳細図 1/10



新設ミニバスケットゴール 詳細図 1/10

折畳バスケットゴール  
日本バスケットボール協会装置検定品 床ハンドル操作式  
(文書番号 A-15-2130600 2021年4月1日改訂版基準に準ずる)



記事

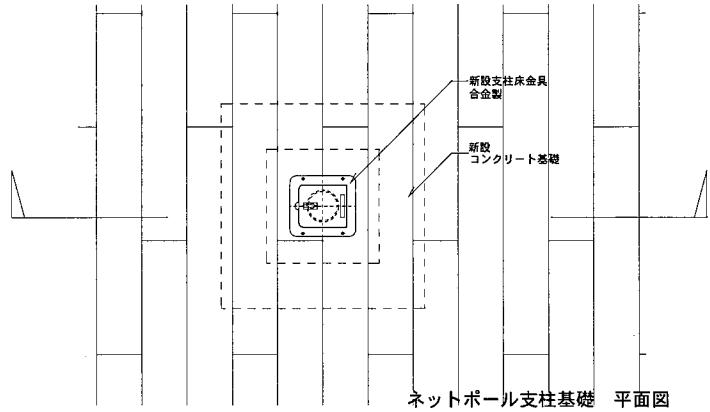
東京学芸大学  
財務・研究推進部  
施設課

業務名称  
東京学芸大学(深沢小)附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務  
株式会社 矢ヶ崎総合計画

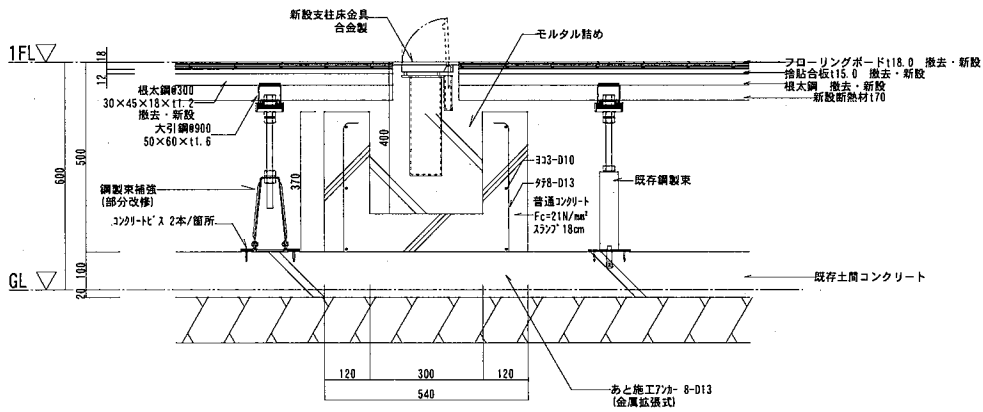
工事名称  
東京学芸大学(深沢小)附属世田谷小学校体育館改修工事  
図面名称  
部分詳細図-05

縮尺  
(A1) 1/20  
(A3) 1/40

設計年月  
令和6年6月  
図面番号  
A-28



ネットポール支柱基礎 平面図

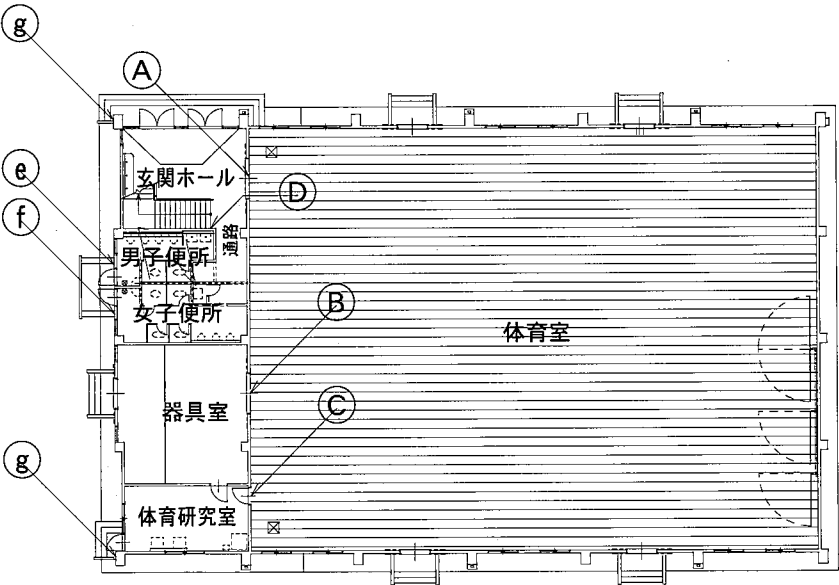


新設ネットポール支柱基礎 断面図  
体育室（アリーナ）床改修詳細図

※原則として床下地は既存再使用とするが  
部分的に劣化が見られる箇所は上図の様に  
改修する、

新規競技用ネットポール一覧

競技名	ネットポール 支柱基礎数	ポール径
ミニバスケットボール	---	---
バドミントン	12	φ40mm
フルバスケットボール	---	---
9人制バレーボール	2	φ76.3mm
6人制バレーボール	4	φ76.3mm



サインキープラン  
(1階平面図)

記号	場所・室名	姿図 S=1/10	数量	寸法・規格・仕様
(A)	玄関ホール側 体育室入口		1	アクリル樹脂製 インクジェットダイレクト印刷 変成シリコン接着剤止め(木・樹脂・コンクリート・金属用)
(B)	体育室側 器具室入口		1	アクリル樹脂製 インクジェットダイレクト印刷 変成シリコン接着剤止め(木・樹脂・コンクリート・金属用)
(C)	体育室側 体育研究室入口		1	アクリル樹脂製 インクジェットダイレクト印刷 変成シリコン接着剤止め(木・樹脂・コンクリート・金属用)
(D)	玄関ホール 階段・通路壁		1	アクリル樹脂製 インクジェットダイレクト印刷 変成シリコン接着剤止め(木・樹脂・コンクリート・金属用)
(e)	屋外 西妻側 男子トイレ入口		1	アクリル樹脂製 インクジェットダイレクト印刷 変成シリコン接着剤止め(木・樹脂・コンクリート・金属用)
(f)	屋外 西妻側 女子トイレ入口		1	アクリル樹脂製 インクジェットダイレクト印刷 変成シリコン接着剤止め(木・樹脂・コンクリート・金属用)
(g)	屋外 西妻側 玄関脇 柱面 体育研究室脇 柱面		2	アクリル樹脂製 インクジェットダイレクト印刷 変成シリコン接着剤止め(木・樹脂・コンクリート・金属用)

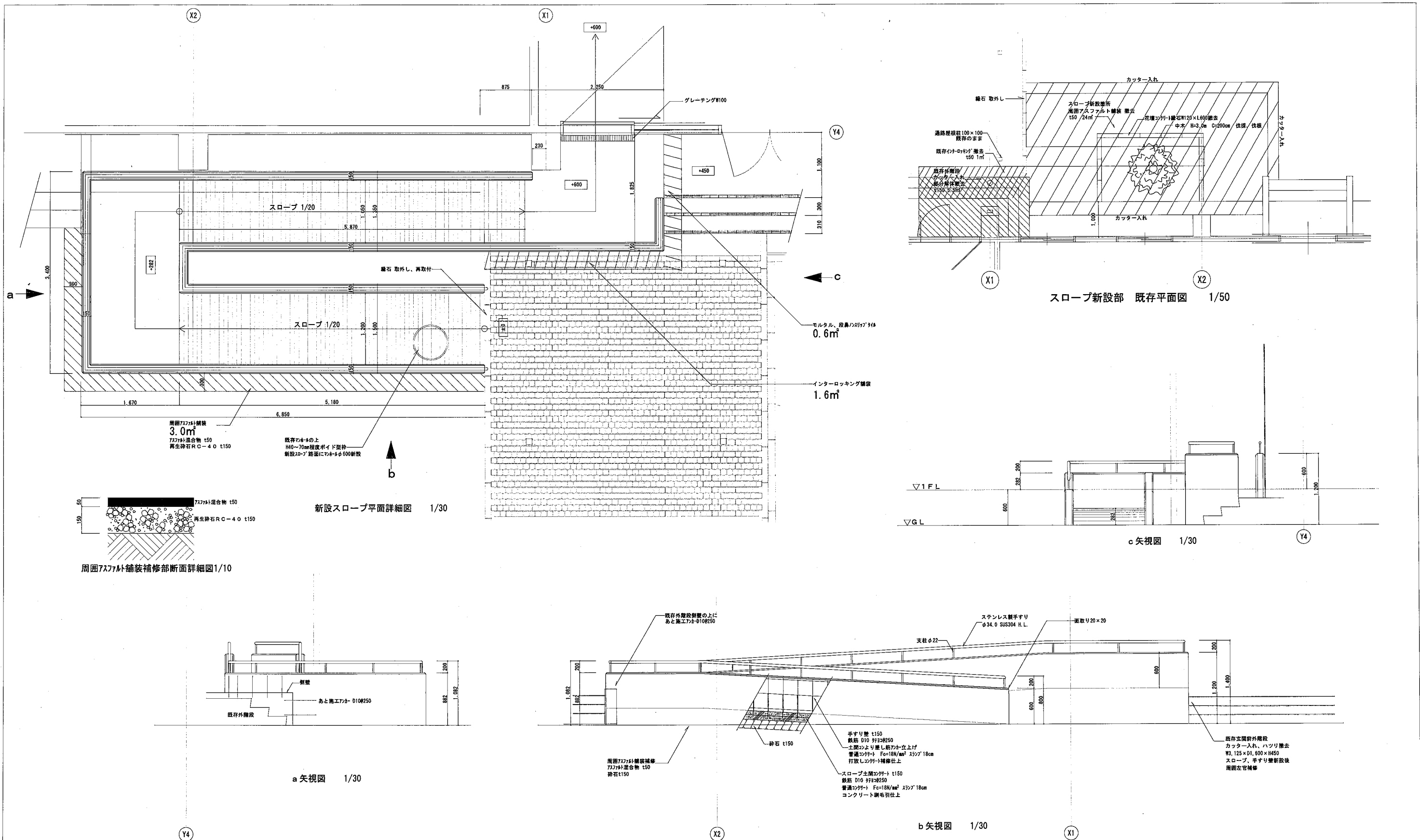
記 号	AW-1 アルミ製2段18連引違窓									
	※カバー工法改修 可動部、障子撤去									
寸 法 (W×H)	36,500 × 2,500									
仕 上 見 込	アルマイト									
ガラス 金 物	フロートクリア 3mm クレセント、アルミアングル(四方)、附属金物一式									
付帯金物	外壁取合水切 四方									
位 置 備 考	2階ギャラリー 南北面 2ヶ所 サッシ手動集中開閉オーバーレータ(チェーン滑車駆動ワイヤー運動) 付き									
記 号	AW-2 アルミ製4段引違窓+AG-2アルミ製ガラリ		AW-3 アルミ製2段引違窓		AW-4 アルミ製引違窓		AW-5 アルミ製2段引違窓(換気扇付き)		AW-6 アルミ製2段突出し窓	
姿 図										
寸 法 (W×H)	1,500 × 3,900		1,500 × 1,900		1,500 × 600		2,000 × 1,310		750 × 1,510	
仕 上 見 込	アルマイト		アルマイト		アルマイト		アルマイト		アルマイト	
ガラス 金 物	フロートクリア 3mm クレセント、アルミアングル(四方)、附属金物一式		フロートクリア 3mm クレセント、アルミアングル(四方)、附属金物一式		フロートクリア 3mm クレセント、アルミアングル(四方)、附属金物一式		フロートクリア 3mm クレセント、アルミアングル(四方)、附属金物一式		フロートクリア 3mm×1 型板 4mm×4 附属金物一式	
付帯金物	外壁取合水切 四方、アルミ製ガラリ、室内側防虫網戸付き		外壁取合水切 四方		外壁取合水切 四方、室内側 スチール防球横格子		1階 体育研究室(準備室) 1ヶ所		アルミ水切 網戸 アルミアングル(四方) 3ヶ所・アルミ縦線 2ヶ所・外部アルミたて格子	
位 置 備 考	2階ギャラリー 西面 2ヶ所		2階ギャラリー 西面 2ヶ所		1階アリーナ 12ヶ所		1階 体育研究室(準備室) 1ヶ所		1階 玄関、トイレ、器具室 5ヶ所	
記 号	AD-1 アルミ製片開き框戸		AD-2 アルミ製引違窓付き片開き框戸		STD-1 ステンレス製欄間付2連FIX窓付両開き戸		AG-1 アルミ製ガラリ			
姿 図										
寸 法 (W×H)	850 × 1,900		2,420 × 2,310		6,045 × 2,625		1,500 × 700			
仕 上 見 込	アルマイト		アルマイト		ステンレス ヘアライン		アルマイト			
ガラス 金 物	型板線入り 6.8mm 附属金物一式・SUS製丁番×3		型板線入り 6.8mm 附属金物一式・SUS製丁番×3		線入りクリアt6.8 欄間フロートクリアt3.0 附属金物一式		---			
付帯金物	アルミ縦線(三方 断熱)・SUS巻網 水切・ドアチェック(stop付)・消火栓		アルミアングル(四方)・SUS巻網 水切・ドアチェック(stop付)・消火栓		SUS押棒L=600×8ヶ所・フロアヒンジ×4セット・シリンダー本錠×2セット・フランス差し×2セット		外壁取合水切 四方、室内側 スチール防球格子			
位 置 備 考	1階 トイレ 2ヶ所		1階 体育研究室(準備室) 1ヶ所		1階玄関ホール 1ヶ所		1階アリーナ 東側壁面 高所 2ヶ所			
記 号	SD-1 スチール製引分け吊り戸(三方枠)		SD-2 スチール製引分け吊り戸(三方枠)		SD-3 スチール製引分け吊り戸		SD-4 スチール製引分け吊り横格子戸		WD-1 木製ガラリ付片開き戸	
姿 図										
寸 法 (W×H)	2,150 × 2,030		1,650 × 2,130		2,080 × 2,000		2,150 × 2,000		850 × 2,000	
仕 上 見 込	鋼板・SOP塗装		鋼板・SOP塗装		鋼板・SOP塗装		鋼板・SOP塗装		合板 SOP	
ガラス 金 物	---		---		---		---		36	
付帯金物	樹脂製押棒L=450×4ヶ所・シリンダー錠×1セット・ADバネ・ADバネ×4		樹脂製押棒L=450×4ヶ所・シリンダー錠×1セット・ADバネ・ADバネ×4		樹脂製押棒L=450×4ヶ所・シリンダー錠×1セット・ADバネ・ADバネ×4・SUSバネ		SUSバネ・シリンダー錠×1セット・ADバネ・ADバネ×4		SUS丁番×3・ドアチェック(stop無) 附属金物一式	
位 置 備 考	バネ・バネ×4・重量用ADバネ×4 1階アリーナ 4ヶ所		バネ・バネ×4・重量用ADバネ×4 1階 器具庫(外壁側) 1ヶ所		バネ・バネ×4・重量用ADバネ×4 1階玄関ホール・器具室 2ヶ所		バネ・バネ×4・重量用ADバネ×4 1階アリーナ 4ヶ所		1階 体育研究室(準備室) 1ヶ所	
記 号	WD-2 木製片開き戸									
姿 図										
寸 法 (W×H)	850 × 2,000									
仕 上 見 込	合板 SOP									
ガラス 金 物	---									
付帯金物	---									
位 置 備 考	---									
東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課			業務名称 東京学芸大学(深沢小)附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務		工事名称 東京学芸大学(深沢小)附属世田谷小学校体育館改修工事		縮尺 (A1) 1/50 (A3) 1/100		設計年月 令和 6年 6月 図番 A-30	
株式会社 矢ヶ崎総合計画					図面名称 建具表(改修前)					

改 修 建 具 表 <カバ ー 工 法> 編													
※改修サッシ性能 耐風圧性能 S-4以上・気密性 A-3以上・水密性W-4以上・断熱性能 等級 5 以上													
記 号		AW-1n アルミ製 上段FIX 下段 両袖引き+FIX 18連引違窓											
姿 図	※上段 FIX ※下段 転落防止のため 2FL+1,900の位置にクレセント、開閉部外側に固定網戸												
	▽2 F.L												
寸 法 (W×H)		36,500 × 2,500											
仕 上	見 込	アルマイト											
ガラス	金 物	遮熱型 室内Low E 3mm + Air 6mm + FL 3mm クレセント、アルミアングル (四方)、カバー工法附属金物一式											
付帯金物		外壁取合水切 四方											
位 置	備 考	2階ギャラリー 南北面 2ヶ所											
記 号		AW-5n アルミ製 2段引違窓 (換気扇付き)		AW-6n アルミ製 2段突出し窓		AG-1n アルミパネル		AG-2n アルミパネル		AD-1n アルミ製片開き框戸		AD-2n アルミ製引違窓付き片開き框戸	
姿 図													
	▽1 F.L		▽1 F.L		▽1 F.L		▽1 F.L		▽1 F.L		▽1 F.L		▽1 F.L
寸 法 (W×H)		2,000 × 1,310		750 × 1,510		1,500 × 700		1,500 × 900		850 × 1,900		2,420 × 2,310	
仕 上	見 込	アルマイト		アルマイト		アルマイト		アルマイト		アルマイト		アルマイト	
ガラス	金 物	遮熱型 室内LowE3+AG+FL3 外側、7&35mmガラス (四方)、JIS-工業規格金物一式		遮熱型 室内LowE3+AG+FL3 室内側、7&35mmガラス (四方)、JIS-工業規格金物一式		カバー工法 7&35mmガラス (四方)		カバー工法 7&35mmガラス (四方)		学校強化14 附属金物一式・SUS製丁番×3		学校強化14 附属金物一式・SUS製丁番×3	
付帯金物		空調換気配管貫通用 アルミパネル		7&35mmガラス (四方) アルミアングル (四方) 3ヶ所・アルミ製欄 2ヶ所・外側7&35mmガラス (四方)		7&35mmガラス (四方)		7&35mmガラス (四方)		7&35mmガラス (四方) 学校強化14 附属金物一式・SUS製丁番×3		7&35mmガラス (四方) 学校強化14 附属金物一式・SUS製丁番×3	
位 置	備 考	1階 体育研究室 (準備室) 1ヶ所		1階 玄関、トイレ、器具室 5ヶ所		東側廊 (16通) 高所ガラスAG-1改修 2箇所		西側廊 (16通) 高所ガラスAG-1改修 2箇所		1階 トイレ 2ヶ所		1階 体育研究室 (準備室) 1ヶ所	

新設 アルミ製建具	AD-3 アルミ製欄間付 2連FIX窓付両開き戸+ハンガー引戸	
	※既存STD-1撤去後のカバー工法によらない新設建具	
	6,045 × 2,625	
	アルミ製・ハンガー・ドア アルミ製化粧フィルム貼	100
学校強化14 欄間共		ストッパー付半自動ハンガー・ドア、バランス、附属金物一式
SUS押棒L=1,200×8ヶ所・フロアベンジ×4セット・シリンドー本締錠×2セット・フランス差し×2セット		
1階玄関ホール		1ヶ所

改 修 建 具 表 < 塗 装 改 修 > 編 寸 法 ・ 塗 装 面 積 一 覧													
記 号		SD-1 スチール製引分け吊り戸 (三方枠)		SD-2 スチール製引分け吊り戸 (三方枠)		SD-3 スチール製引分け吊り戸		SD-4 スチール製引分け吊り横格子戸		WD-1 木製ガラリ付片開き戸		WD-2 木製片開き戸	
姿 図													
		2,150 × 2,030		1,650 × 2,130		2,080 × 2,000		2,150 × 2,000 枠部分 4,200 × 2,200		850 × 2,000		850 × 2,000	
		鋼板・SOP塗装		鋼板・SOP塗装		鋼板・SOP塗装		鋼板・SOP塗装		合板 SOP		合板 SOP	
		扉 40・枠 205		扉 40・枠 195		扉 40		扉 35		36		36	
		ガラス 金物		---		---		---		---		---	
付帯金物 更新		シリンドー係錠×1セット、ドアフィッパ (四方) 交換		シリンドー係錠×1セット、ドアフィッパ (四方) 交換		シリンドー係錠×1セット 交換		シリンドー係錠×1セット 交換		シリンドー係錠×1台、ドアフィッパ (stop無) 交換		シリンドー係錠×1台、ドアフィッパ (stop無) 交換	
位置 備考		1階アリーナ 4ヶ所		1階 器具庫 (外壁側) 1ヶ所		1階 玄関ホール・器具室 2ヶ所		1階アリーナ 4ヶ所		1階 体育研究室 (準備室) 1ヶ所		1階 器具室 1ヶ所	

記 事	東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課		業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事	縮尺 (A1) 1/50 (A3) 1/100	設計年月 令和 6年 6月
			株式会社 矢ヶ崎総合計画	図面名称 建具表(改修後)		図面番号 A-31



記事	東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課	業務名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事設計業務 株式会社 矢ヶ崎総合計画	工事名称 東京学芸大学（深沢小）附属世田谷小学校体育館改修工事 図面名称 新設スロープ詳細図	縮尺 (A1) 1/30 (A3) 1/60	設計年月 令和 6年 6月 図面番号 A-32



工事区分表

1. ●印の付いたものを適用する。  
2. ●が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

区 分		建	電	機	土	備 考
項 目	名 称	業	氣	械	木	
	コンクリート穴あけ					墨出し、補修除く
	壁スリ づ入れ					墨出し、補修除く
	床スラブ木製型枠入					ボイド等
	床スラブスリ づ入れ					モルタル充填等
	同上開口部補強					
	配管ダクト類の防水					
	貫通部補修					
	A L Cパネルの穴あけ、補修					
	P-C版の穴あけ					
	同上補修					
	インサート					
	インサート					
	天井点検口					
	軽量鉄骨下地開口部墨出し					
	軽量鉄骨下地開口部補強					
	開口補強を必要としない					
	ボード等の切開					
	特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工					
	盤等重量物の下地補強					
	床点検口					
	防火区画貫通部補修					
	機器・配管取付後の壁、床等の補修					
	流し台、ミニキッチン					
	本体、水切					
	同上用配管接続					
	流し台					
	洗面器等取付化粧板					
	ルーフドレン					
	竪樋					
	雨水排水管					
	生活排水、実験排水管					
	大型機械基礎					
	同上基礎上鉄骨架台					
	機器用アンカーボルト					
	一般機器類の基礎					
	屋外自立壁の基礎					
	屋外貯油槽					
	共同溝					
	建物、共同溝接続トレンチ					
	各種槽類					
	換気扇取付					
	同上用スイッチ					
	同上用電源配線					
	同上用枠、取付板等					
	全熱交換器					
	同上用スイッチ					
	外壁取付ガラリ					
	内壁取付ガラリ					
	ガラリへの給排気ダクト接続					
	煙感知器連動防火戸					
	同上用レリーズ					
	同上用煙感知器					
	排煙防火ダンパ					
	煙感知器連動シャッター					
	煙感知器連動防煙垂れ壁					
	上記①～③用煙感知器					

区 分		建	電	機	土	備 考
項 目	名 称	業	氣	械	木	
	遮断側溝用排水					
	制御盤					
	同上用電源配線					
	屋内消火栓					
	屋内消火栓起動リレ					
	同上表示灯及び起動装置					
	自動火災報知器					
	連結送水口					
	独立煙突					
	同上煙道					
	同上密保護設備					
	配管配線用ビット					
	盤、配管、ダクト、					
	配線用の三重床開口					
	コンクリートシャフト					
	点検口					
	天井フック					
	機械室、電気室の					
	防音遮音処理					
	特殊サイズ鏡					
	化粧用洗面器、鏡					
	化粧カウンタは除く					
	警保護設備					
	保守管理用タラップ、					
	はしご					
	室内テレビ用吊金物					
	テレビアンテナ					
	同上用基礎					
	グリストラップ及び					
	ガソリントラップ					
	電動シャッターの配管配線					
	同上用電源配線					
	自動扉の配管配線					
	同上用電源配線					
	電気錠操作盤					
	同上配管配線					
	電気錠					
	同上配管配線					
	中央監視装置本体					
	同上用電源配線					
	同上用信号線					
	ユニットバス本体					
	同上用電源配線					
	同上用配管					
	冷蔵・冷凍、恒温恒湿、					
	シールド、防音、					
	無響室等の内装					
	同上用電源配線					
	同上用照明・コンセント					
	同上用配管					
	冷蔵・冷凍、恒温恒湿、					
	シールド、防音、					
	無響室等の内装					
	同上用電源配線					
	同上用照明・コンセント					
	同上用配管					
	芝生、種子吹付け					
	法持、モルタル吹付け					
	コンクリート擁壁					
	植栽					

区 分		建	電	機	エレベーター	備 考
項 目	名 称	業	氣	械	木	
	昇降機設備本体					
	同上用機械室					
	同上用監視盤					
	同上換気扇取付					
	機械室換気扇取付					
	各種信号用制御線					
	三方栓周囲の壁仕上					
	各階出入口用開口					
	昇降路内中間ビーム設置					
	ビット内防水					
	動力、照明要電源、					
	接地引き込み					
	コンセント設置					
	インターホン配線					
	非常放送用スピーカー					
	同上用配線					
	監視カメラ					
	同上用配線					
	点検用タラップ					

区 分		建	電	機	エスカレーター	備 考
項 目	名 称	業	氣	械	木	
	搬入口、据え付け用穴明け、同復旧					
	フレーム受け用枠					
	吊込穴、フック、復旧工事					
	転落防止柵、網、仕切り板					
	三角ガード					
	天井目地、床、回り仕上げ					
	スプリンクラー等					
	防火シャッター					
	床部照明工事					
	下部機械室耐火構造及び防水工事					
	機械室受電盤までの動力線、電灯線、接地線の配管配線					
	点検用電源の機械室までの引き込み配管配線					
	シャッター及びエスカレーター電気インターロック用					
	接点の供給及び配管配線工事（必要な場合）					
	監視盤との信号用配管配線工事					

区 分		建	電	機	クレーン	備 考
項 目	名 称	業	氣	械	木	
	走行レール、ストッパー					
	クレーン点検台及びはしご					
	走行用給電装置					
	電気工事（電源盤以降2次側）					